

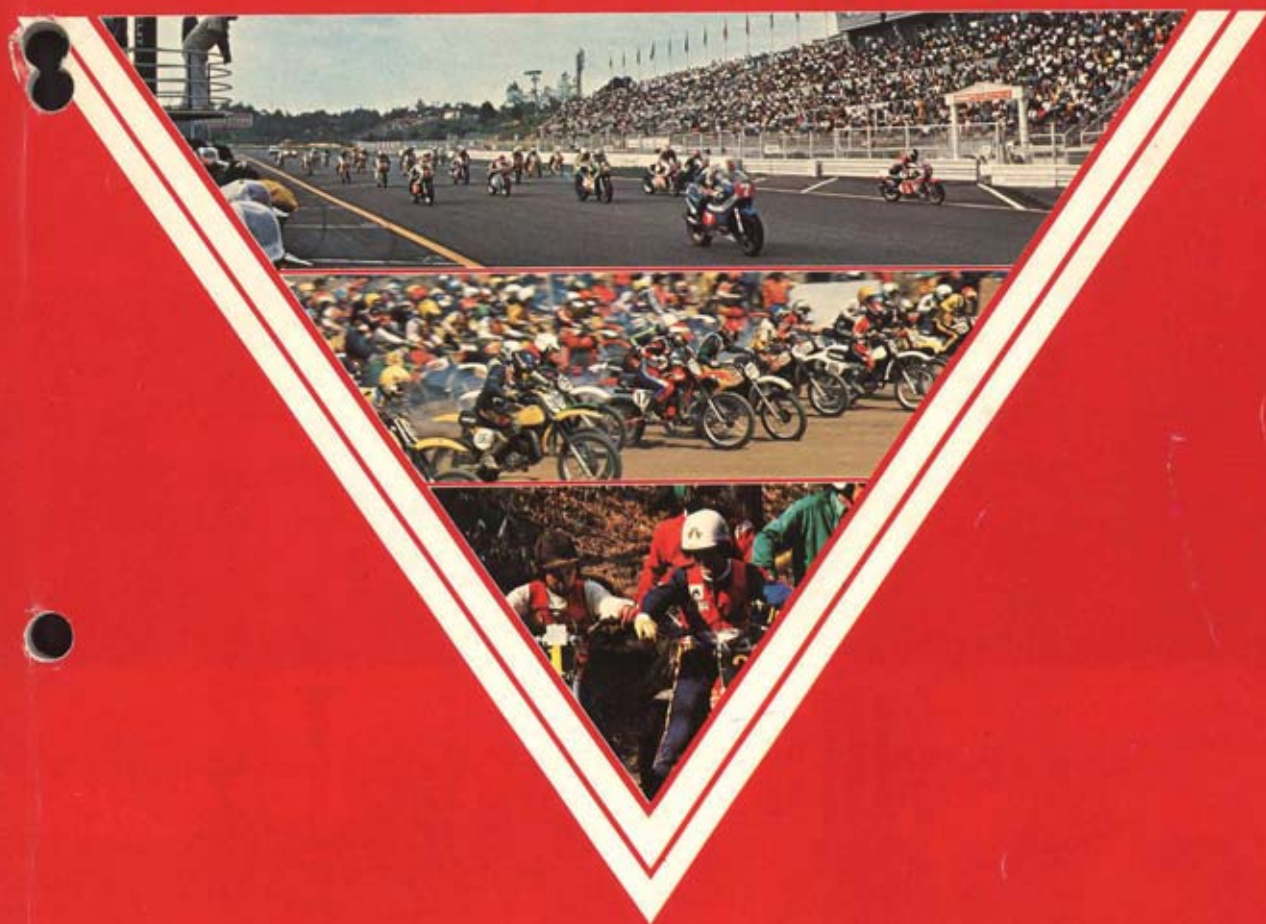
昭和58年3月20日発行（通巻112号）臨時増刊号（昭和54年3月20日第3種郵便物認可）

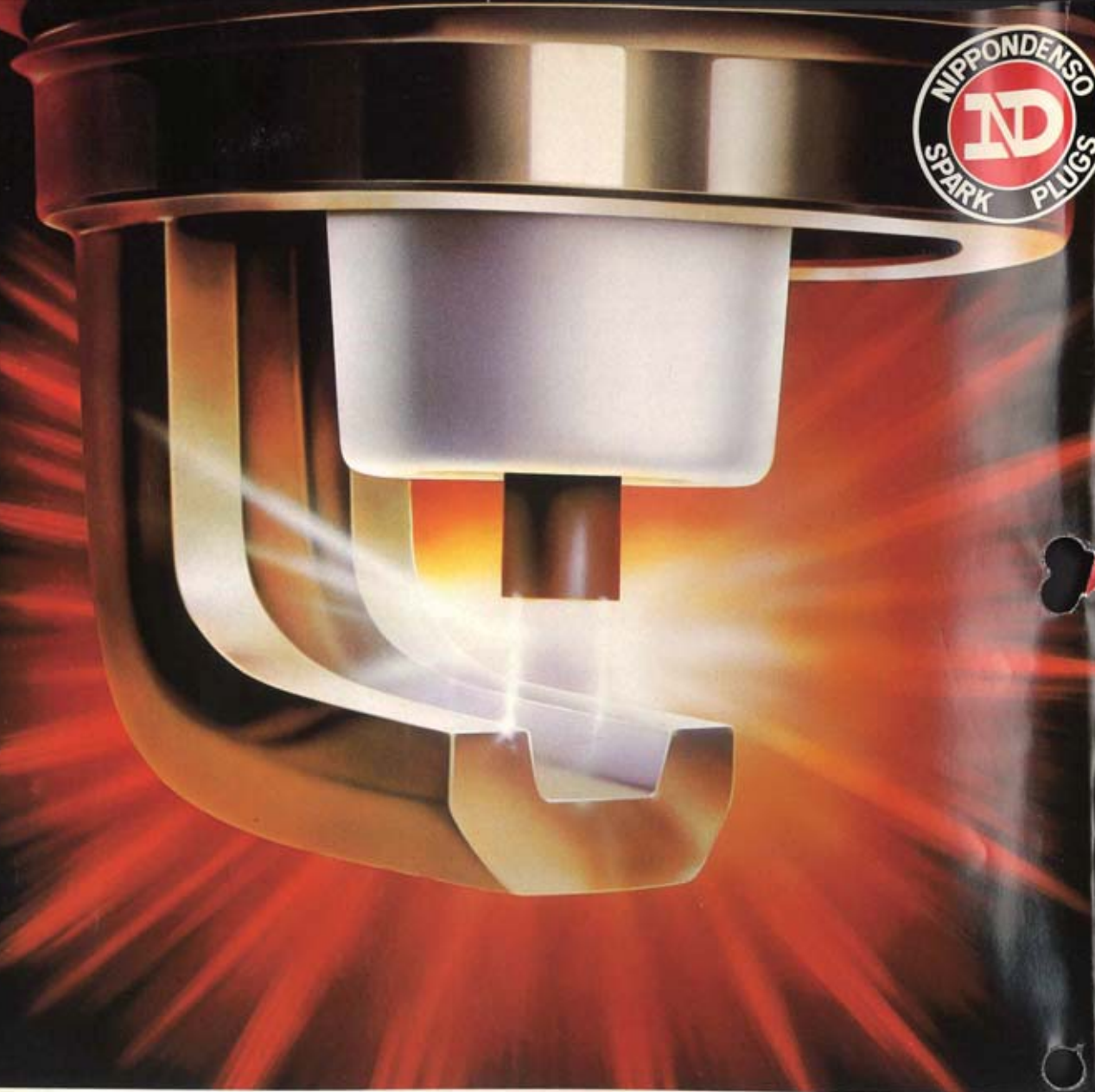
タイムタイム

MAGAZINE FOR REAL MOTORCYCLISTS

臨時増刊

特集:1980年版 MFJ国内競技規則





細い中心電極とUカット!

細い中心電極で力強いスパーク!

世界特許のUカット接地電極で確実にファイア!

確かな火花には確かな技術!

米・英・独・仏・伊、世界5ヶ国に特許をもつUカット接地電極。



黒いベルトの...

デンソープラグ GU

DUNLOP



タオリティに限界はない。

トップライダーの過酷な要求に応える——**ダンロップ**。

砂塵をあげフルスロットルでバンクを抜ける…。アップヒルからダウンヒルへ豪快なカウンタージャンプ、激しいデッドヒートは、文字どおりマシンもタイヤも極限状態の中で競われます。高度なテクニックとマシンの力を最大限に引き出すダンロップモトクロス用タイヤ。



一戦ごとにトライし、蓄えたノウハウと限りない性能の追求は、トップライダーの過酷な要求に見事応えています。

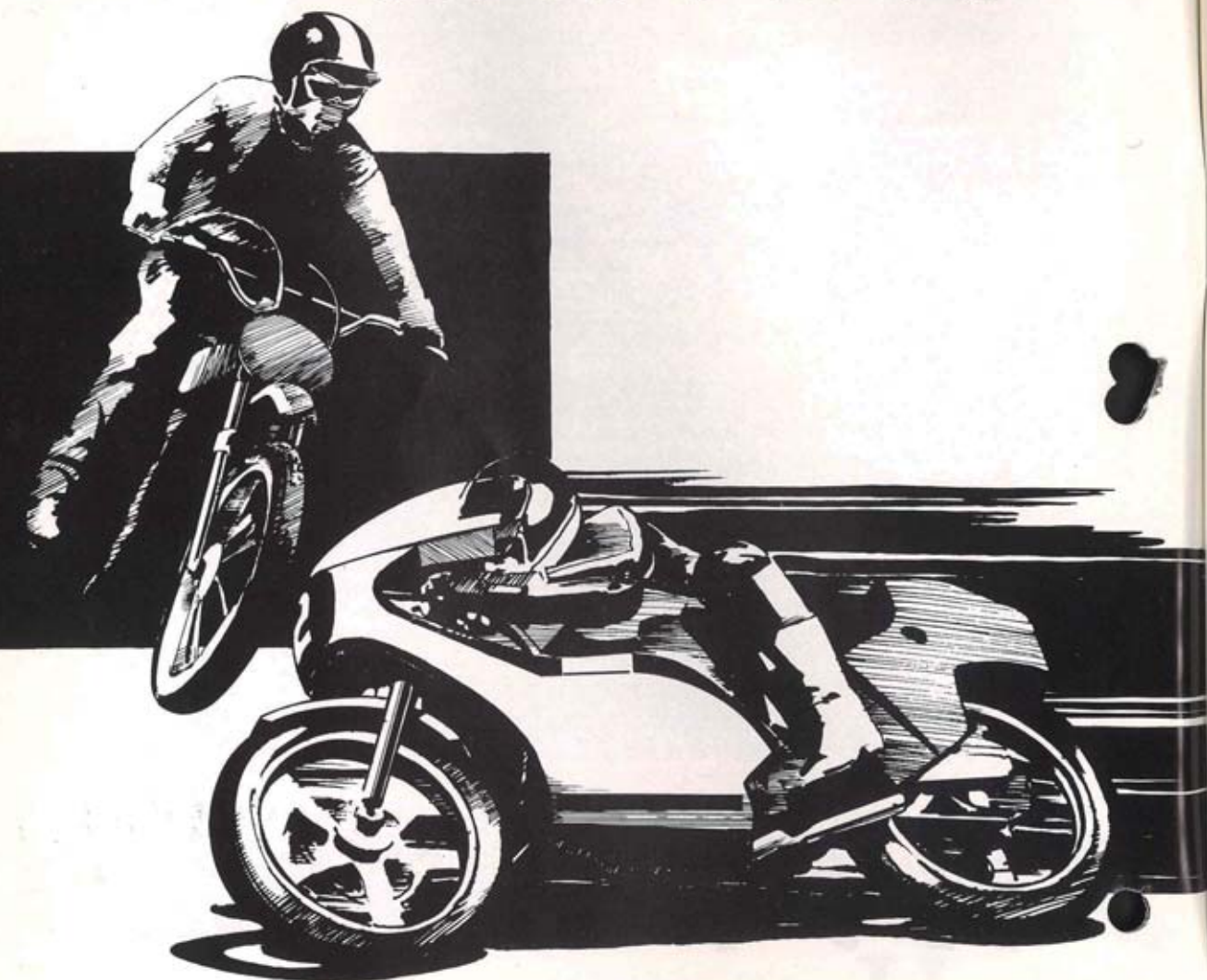
モトクロス用タイヤ



K290 K190 K88

住友ゴム工業株式会社 株式会社日本ダンロップ

風は、いつだってアゲインストだ。



ロードレーシングの主流!

モトクロスの主役! 〈スーパーディガー〉

欧米では評判のMXタイヤ、スーパーディガー。



Y-920 / 前輪用

Y-920 / 前輪用	
2.50-18	3.00-18



Y-921 / 後輪用

Y-921 / 後輪用	
2.50-18	3.25-18
3.00-18	3.50-18



SUPER DIGGER Y-900

SUPER DIGGER Y-900	
2.75-21 4PR	
3.00-21 4PR	
3.00-23 4PR	



SUPER DIGGER Y-902

SUPER DIGGER Y-902	
3.00-21 4PR	



SUPER DIGGER Y-901

SUPER DIGGER Y-901	
4.10-18 4PR	
4.60-18 4PR	



SUPER DIGGER Y-907

SUPER DIGGER Y-907	
4.60-18 4PR	
5.00-18 4PR	

※このタイヤは、サーキットレース専用のタイヤで、一般公道での使用はできません。

横浜ゴム株式会社

M F J 協賛サークル加盟店

★鈴鹿サーキット	三重県鈴鹿市福生町7992	0593(78)1111	二輪又は四輪レース入場料の10%割引 前売券(大会1週間前まで)は30%割引
★スポーツランド菅生	宮城県柴田郡村田町大字菅生字籍石6-1	(022483)3111	入園料10%割引
★筑波サーキット	茨城県結城郡千代川村村岡字西原	(029644)3146	MFJ公認競技会20%割引
★天元台スキー場ホテル	山形県米沢市白布温泉天元台	(023855)2231	ホテル7500円→6000円 本館4400円→4000円 ロッジ新館3600円→3000円
★蔵王パラダイスロッジ	山形県蔵王温泉片貝沼畔	0236(94)9311	平日20%割引 休日10%割引
★鶴頂山スキー場ホテル	栃木県塩谷郡藤原町	0288(8)0430	平日20%割引 日曜・祭日10%割引
★信州野沢温泉長八荘(民宿)	長野県下高井郡野沢温泉	(026985)2520	平日20%割引 日曜・祭日10%割引
★木島ゴム工業㈱ショールーム	東京都北区田端新町1丁目24北進ビル101	03(893)7521	定価の15~20%割引
★多摩テック	東京都日野市程久保1	0425(91)0820	入場料の10%引き
★北志賀高原ロッジMIKI	長野県下高井郡山ノ内町	02693(3)7002	平日20%、土・日 祝日10%引き、レンタルスノー モビルとレンタルスキーセット各20%引き
★術大月ヤマハ本店	東京都江戸川区東小松川4-40-8	03(656)5415	用品・部品 定価10%引き
●(術) 墨田店	東京都墨田区両国3-5-6	03(631)5403	用品・部品 定価10%引き
●(術) 行徳店	千葉県市川市新浜1-1-4	0473(96)5402	用品・部品 定価10%引き
●(術) 高根店	千葉県船橋市習志野台1-12-1	0474(64)5223	用品・部品 定価10%引き
★ウエダオートショップ	兵庫県西宮市上甲子園5-5-24	0798(23)7272	用品・部品 定価10%引き
★株式会社ヨシモト	東京都北区王子4-23-8	03(913)4674	レーシングパーツ以外のオリジナル製品の10%引き
★山本レーシングサービス	兵庫県加古川市野口町良野261-3	0794(23)2335	用品・部品 定価10%引き
★樹カスノモーターサイクル	京都市伏見区下鳥羽円通町95	075(622)0225	用品・部品 定価15%引き
★Zパーツ大阪店	大阪市福島区福島5-6-31	06(451)0099	用品・部品 定価10%引き
● 芦屋店	芦屋市東芦屋町165	0797(32)8848	用品・部品 定価10%引き
★樹コミネオートセンター本社	東京都台東区小島2-18-18	03(862)9811	用品・部品 定価10~20%引き
● 多摩(営)	東京都福生市熊川1115-7	0425(51)9623	用品・部品 定価10~20%引き
● 御徒町(営)	東京都台東区台東4-31-6	03(833)2471	用品・部品 定価10~20%引き
● 相模原(営)	神奈川県相模原市横山2-15-8	0427(52)3686	用品・部品 定価10~20%引き
● 川崎(営)	神奈川県川崎市高津区千歳541	044(777)2610	用品・部品 定価10~20%引き
● 藤沢(営)	神奈川県藤沢市亀井野3263-4	0466(81)2757	用品・部品 定価10~20%引き
● 千葉(営)	千葉県千葉市都町3-22-5	0472(32)1884	用品・部品 定価10~20%引き
● 習志野(営)	千葉県習志野市津田沼6-2-25	0474(75)9046	用品・部品 定価10~20%引き
● 柏(営)	千葉県柏市富里3-3-10	0471(44)3071	用品・部品 定価10~20%引き
● 東松山(営)	埼玉県東松山市今泉東町277	04932(3)0335	用品・部品 定価10~20%引き
● 鳩ヶ谷(営)	埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11	0472(32)1884	用品・部品 定価10~20%引き
● 久喜コミネ	埼玉県久喜市上町9-6	0480(22)3728	用品・部品 定価10~20%引き
● 太田(営)	群馬県太田市新道町59-1	0276(32)0438	用品・部品 定価10~20%引き
● 鹿島コミネ	茨城県鹿島郡旭村榎山315	0291(7)0969	用品・部品 定価10~20%引き
● 水戸コミネ	茨城県水戸市袴塚1-7-4	0292(31)2536	用品・部品 定価10~20%引き
● 土浦コミネ	茨城県土浦市菅名字古道3515	0298(22)5419	用品・部品 定価10~20%引き
● 日立コミネ	茨城県日立市平和町2-6-5	0294(22)1126	用品・部品 定価10~20%引き
● 一宮コミネ	愛知県一宮市中島通り2-34-1	0586(71)3129	用品・部品 定価10~20%引き
● 高崎(営)	群馬県藤岡市立石1221	0274(42)3215	用品・部品 定価10~20%引き
● 小田原(営)	神奈川県小田原市浜町2-6-19	0465(24)1773	用品・部品 定価10~20%引き
● 小山(営)	栃木県小山市神飛鳥谷686	02852(3)0566	用品・部品 定価10~20%引き
★樹東京ドライブ	東京都品川区上大崎3丁目14番35号	03(447)3791	用品・定価の10%引き
★ライダーズ・ルーム・キャブトン	東京都立川市若葉町4-12-5	0425(35)3090	定価の20~30%引き
★大洋モーターズ	東京都杉並区天沼1-3-10	03(399)4324	用品・部品 定価の10~15%引き
★樹プロショップユタカ	青森県八戸市柏崎四丁目15-7	0178(45)9175	用品・部品 サービス価格の10%引き
★三谷モーターズスポーツ	三重県多気郡多気町324	05983(8)2222	用品・部品 定価の10%引き
★ヤマモトサイクル	下関市秋根南町2-1-15	0832(56)1406	用品・部品 定価の10%引き
★山下モーターズ	千葉県八千代市古橋1825-10	0474(50)9628	用品・部品 定価の10~15%引き
★スポーツショップ猪名川	大阪府池田市神田3丁目513-1	0727(53)2993	用品・部品 定価の10%引き
★(術)ベルオートズスキー販売	埼玉県上福岡市清見4-1-27	0492(64)8340	用品・部品 定価の10%引き
★タケダヤマハ販売松山店	愛媛県松山市松前町2丁目1-4	0899(47)1360	用品・部品 定価の5~20%引き
● タケダヤマハ販売北条店	愛媛県北条市片山甲175-1	08999(3)1577	用品・部品 定価の5~20%引き
★フリーランス・サーキットサービス	埼玉県川口市本田航空内セーフティパーク埼玉	0492(97)2044	用品・部品の10~20%引き
★(術)宮原商会	東京都新宿区須賀町14番地	03(351)7447	用品類 定価の15%引き
★AUTOSHOP モリトリアル	亀岡市本梅町西加舎大畑14	07712(6)3377	用品・部品 定価の10%引き
★ホンダ札幌販売	札幌市中央区北6条西26丁目70番地	011(641)5067	用品類 定価の10%引き
★(術)アマモーターサイクル	北海道札幌市豊平区豊平2条5丁目	011(823)1980	純正部品5%引き、用品10%引き、工賃20%引き
★オオツキサイクルショップ	北海道旭川市旭町1条4丁目	0166(51)2300	用品・部品 定価の10~20%引き
★(術)青木輪業本店	神奈川県平塚市西八幡1-1-6	0463(21)3523	用品・部品 定価の10~15%引き
●(術)青木輪業厚木店	神奈川県厚木市受甲1240	0462(22)2949	用品・部品 定価の10~15%引き
★(術)オートショップトヨタ	愛知県豊田市曙町1の18	0565(29)1267	用品・部品 定価の10%引き
★(術)中田屋モーターズ	埼玉県川口市芝2丁目14番28号	0482(66)1236	用品・部品 修理代の割引
★昭和モーターズ	京都市南区吉祥院前田町20-27	075(691)9493	用品・部品 定価の15%引き

1980年版

MFJ国内競技規則

総 則

付則1 **ロードレース**

'80全日本選手権大会特別規則

付則2 **モトクロス**

'80全日本選手権大会特別規則

付則3 **トライアル**

'80全日本選手権大会特別規則

付録：MFJ公認車輛・公認部品・承認部品・
公認ヘルメット・'80ゼッケンナンバーetc.

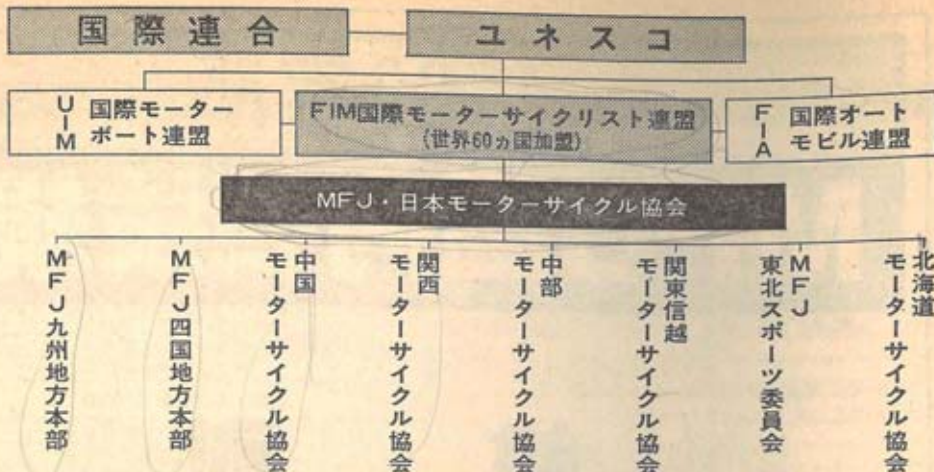
昭和55年1月1日発行

日本モーターサイクル協会 (MFJ)

The Motorcycling Federation of Japan

〒104 東京都中央区銀座1-9-12 西山興業東銀座ビル ☎03(561)8566

'80 躍
M 進
F !!
J



MFJ全国スポーツ組織

北海道モーターサイクル協会 会長 副会長 常任理事 事務局長 スポーツ委員長 トライアル委員長	横井七之助 和本庄 庄太郎 本阿部 行雄 阿部 俊夫 山本 行雄 佐藤 三力 佐藤 吉行 佐藤 行彦	0665 0663 0663 0665 0665 0663 0662	札幌市東区東条町52 札幌地区軽自動車協会内 札幌市西区24軒1条7-3-13 北海道ヤマハ内 札幌市東区北30条東1丁目 関スズキ自販北海道 札幌市白石区本通り4丁目北99 カワサキ東日本販売所 札幌市東区東条町52 札幌地区軽自動車協会内 札幌市西区24軒1条7-3-13 北海道ヤマハ内 札幌市豊平区豊平2条5丁目 AME内	011-781-7498 011-641-2711 011-721-8311 011-871-3170 011-781-7498 011-641-2711 011-823-1980
札幌支部 支部長 副支部長 スポーツ委員長 スポーツ委員	田庄 庄太郎 和多 行雄 本佐 藤村 一軍 本佐 長谷川 三郎	0665 0663 0665 0665 0662	札幌市東区東条町52 札幌地区軽自動車協会内 札幌市西区24軒1条7-3-13 北海道ヤマハ内 札幌市東区北30条東1丁目 関スズキ自販北海道 札幌市東区東条町52 札幌地区軽自動車協会内 札幌市白石区本通り4丁目北99 カワサキ東日本販売所	011-781-7498 011-641-2711 011-721-8311 011-781-7498 011-871-3170
旭川支部 支部長 副支部長 スポーツ委員長	細川 悦郎 徳野 良彦	0770 0770 0770	旭川市1条通り5丁目7号 細川商会内 旭川市4条西7 北海道ヤマハ旭川営業所	0166-22-7301 0166-23-8151
函館支部 支部長 副支部長 スポーツ委員長	右藤 勇司 田中 正昭 佐々木 昭	0440 0440 0440	函館市市場町20-20 函館軽自動車協会内 函館市赤川通235の137 函館市高道街9-18 函館スズキ販売所内	0138-51-1404 0138-46-1466 0138-53-0555
釧路支部 支部長 事務局長 スポーツ委員長	岡部 勲 阿三 哲也	0884 0884 0885	釧路市島取大通8丁目8の13 本田技研工業釧路出張所 釧路市島取大通6-1-1 釧路軽自動車協会内 釧路市栄町6-2 北海道ヤマハ釧路営業所	0154-51-1475 0154-51-0745 0154-23-3345
北見支部 支部長 副支部長 スポーツ委員長	小野 勉 島 富利 相 富利	0990 0990 0990	北見市大町42 道東ホンダ販売所内 北見市西宮町112-1 北見スズキ西 北見市	0157-23-7551 0157-24-1866
帯広支部 支部長 副支部長 スポーツ委員長	石原 正徳 山崎 光三 川 健三	0880 0880 0880	帯広市東1条南4丁目 帯広ホンダモーター内 帯広市二条南1丁目20 関川軽自動車店 帯広市西5条北1-4 北海道ヤマハ帯広営業所内	0155-23-8151 0155-24-5054 0155-24-4495
MFJ東北スポーツ委員会 委員長 副委員長 副委員長 副委員長 コミッショナー 特別顧問 顧問 監査役 監査役 事務局長 トライアル部会長 部会長 ロードレース委員会委員長	塚本 隆一 本坂 道夫 高橋 道夫 大角 金三 青田 俊三 佐々木 久松 大池 友彦 大池 友彦 佐々木 久松 佐々木 久松	963 980 030 982 031 980 030-01 980 985 980 982 980 980	郡山市横町10-8 塚本輪業商会 仙台市二日町11-14 青森市松原2-7-10 山本モータース内 仙台市長町3丁目3-95 八戸市赤市70 仙台市北橋1の19の41 西 アイビーモータース内 青森市金沢字伊吹69-4 仙台市通町2-17-17 尾花沢市大字横内84-1 福島県安達郡本宮町字馬場83 池原ホンダ内 仙台市北橋1の19の41 西アイビーモータース内 仙台市長町3丁目3-95 福島県安達郡本宮町字馬場83 池原ホンダ内 仙台市通町2-17-17	0249-22-1784 0222-24-0214 0177-35-1781 0222-47-0123 0178-43-5497 0222-73-0475 0177-39-2125 0222-34-4832 02372-2-4223 02433-3-2455 0222-73-0475 0222-47-0123 02433-3-2455 0222-34-4832
宮城県スポーツ委員会 委員長 事務局長 宮城県トライアル部会長・事務局長	佐々木 隆一 佐々木 隆一 大 友彦	980 980 982	仙台市二日町15-7 仙台市通町2-17-17 仙台市長町3丁目3-95	0222-24-0214 0222-34-4832 0222-47-0123
福島県スポーツ委員会 委員長 副委員長 事務局長 福島県トライアル委員会 委員長 事務局長 福島県実業上車スポーツ部会長	佐々木 隆一 増子 行雄 菅野 明一 菅野 明一 池原 本一 池原 本一	964 963 963 963 965-11 960	二本松市松岡216-2 郡山市若菜町 郡山市横町10-8 塚本輪業商会内 郡山市東野1-20-10 福島県安達郡本宮町字馬場83 福島市天神町12-24	02432-2-3541 0249-32-1546 0249-22-1784 0249-33-6771 02433-3-2455 0245-34-3330
秋田県スポーツ委員会 委員長 事務局長 秋田県モトクロス部 会長 秋田県トライアル部 会長	新三 木道 大佐 幸七 佐々木 幸七	010-05 010-01 010-16 010-10	男鹿市船川港船川字船川15-2 秋田県南秋田郡天正町天王字上北野139の2 秋田市豊巻豊巻字上野174の1 秋田市広園字谷内佐渡38	0185-24-2725 0188-73-3271 0188-28-2986 0188-34-0695
山形県スポーツ委員会 委員長 副委員長 副委員長 山形県内陸モトクロス部 会長	小松 久雄 小林 幸七 小万 幸七	995 999-61 998 999-33	尾花沢市大字横内94-1 山形県最上郡最上町大字向町614 酒田市浜田1-7-6 天童市荒谷	02372-2-4223 02334-3-2912 02365-3-8828

MFJ総会

理事会

財務委員会

運営委員会

中央スポーツ委員会



日本モーターサイクル協会
会長・石塚秀男

雪上車部会

スポーツ普及企画委員会

資格審査委員会

技術委員会

ヘルメット委員会

安全公害対策委員会

プロダクション委員会(準備中)
(ミニバイク含む)

トライアル委員会

モトクロス委員会

ロードレース委員会

山形県庄内モトクロス部会長 山形県スポーツ委員会事務局長 山形県トライアル部会事務局長	関金阿	保五利	正助行	〒998 酒田市本町1-2-27 〒990 山形市大字妙見寺74 〒990 山形市鎮町1-15 三島モータース内	0236-31-7891 0236-33-0361
岩手県スポーツ委員会委員長 副委員長 事務局長 事務局長	岩川崎	博美清	美清男	〒028-57 二戸市金田一駅前 〒025 花巻市桜町 〒028-57 二戸市金田一字下山井9-2	01952-7-3028 01982-4-7356 01952-7-3508 01952-7-3028 0198-22-7448
岩手県トライアル委員会委員長	田中清也			〒020 盛岡市長岡町4-14 田中ホング内	
青森県スポーツ委員会委員長 副委員長 事務局長	瀬田高田	高水義代	峰代美義	〒038-27 青森県西津軽郡鶴ヶ沢字小夜230の7 〒030-01 青森市金沢字伊勢63-4 〒030 青森市小瀬字唐橋124市営10の17 〒030 青森市松原2-7-10 山本モータース内	01737-2-4910 0177-39-2125 0177-22-5511 0177-35-1781
関東信越モーターサイクル協会会長 事務局長 委員会委員長 副委員長 顧問 企画委員会委員長 審査委員会委員長 ロードレース委員会委員長 副委員長 モトクロス委員会委員長 副委員長 トライアル委員会委員長 副委員長 スノーモービル委員会委員長	石大高久保	秀雄光	男吉一	〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内	03-472-6241
東京都支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長 副委員長 副委員長 トライアル委員会委員長	岩宮村鶴香馬	定久正秀	雄大司行氏雄	〒108 東京都港区港南3-3-10 東京都軽自動車協会内 〒123 東京都足立区江北6-9-6 餅村上製作所内 〒114 東京都北区滝野川7-10-2 香川モータース 〒354 富士見市勝瀬940-10	03-472-6241 03-896-5865 03-915-8209 0492-64-8461
神奈川県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	大鈴加	庭木克清	純典丸	〒226 横浜市緑区池辺町中里前3575 神奈川県軽自動車協会内	045-931-4290
埼玉県支部長 事務局長	山崎好文	野村野	文一	〒330 大宮市中町2082 埼玉県軽自動車協会内	0486-24-1221
群馬県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	河原井滝宮	源次又之	源又之	〒379-21 前橋市野中町榴下518 群馬県軽自動車協会内 〒370 高崎市八代町3-8-7 宮森ビル	0272-61-0505 0273-22-2659
千葉県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	秋小八	穂川敬明	作雄美	〒280 千葉市新港207 千葉県軽自動車協会内	0472-42-3321
茨城県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	鬼佐小室	野野一男	喜一郎	〒310 水戸市住吉町307 茨城県軽自動車協会内 〒310 水戸市住吉町123 小室モータース内	0292-47-5832 0292-47-5215
栃木県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長 モトクロス委員会委員長 副委員長	阿子島伊松	俊一善代	善代善太郎	〒320 宇都宮市西川田町宇東原1664-3 栃木県軽自動車協会内 〒321-31 宇都宮市石井町2731 〒324 大田原市戸野内417	0286-45-0958 0286-61-3560 02872-3-0812
山梨県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	荻古北	原俊栄	賀男三	〒406 山梨県八代郡石和町磨輪791-1 山梨県軽自動車協会内	05526-2-7548
新潟県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	高加山丸	修俊良	一明男	〒950 新潟県大形本町117-3 新潟県軽自動車協会大形事務所内 〒950 新潟県出雲島259 新潟県軽自動車協会内	0252-75-5704 0252-47-6286
長野県支部長 事務局長 スポーツ委員会委員長	山田青西	田木余友	幸太郎	〒380 長野市大字西和田字東和田境438-3 長野県軽自動車協会内 〒390 松本市出川町1643 モトショップヒロ内	0262-43-1967 0263-25-6539

中部モーターサイクル協会 事務局長 MFJ中部モーターサイクル トライアル委員会 スポーツ委員長	宮松 隆 伊藤 伸	坂初 一 水唯 一 峰光 一	●422 静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内 ●470-01 愛知県豊田郡豊田町鏡輪字東55-99 ●433 浜松市上島町173-1 (自宅)	0542-61-4455 0516-8-0736
富山支部	支部長 藤田 正 事務局長 藤田 正 スポーツ委員長 藤田 正	藤田 正 藤田 正 藤田 正	●930 富山市藤ノ木21-1 富山県軽自動車協会内 ●930 富山市藤ノ木3-23-5 (自宅)	0764-24-6420
石川支部	支部長 藤井 和夫 事務局長 藤井 和夫 スポーツ委員長 藤井 和夫	藤井 和夫 藤井 和夫 藤井 和夫	●920 金沢市芳野1-15-20 石川県軽自動車協会内 ●921 金沢市奥本町1-133 (自宅)	0762-22-5151
福井支部	支部長 井上 善一 事務局長 井上 善一 スポーツ委員長 井上 善一	井上 善一 井上 善一 井上 善一	●910-37 福井市没水町138字植木11-2 福井県軽自動車協会内	0776-38-0558
岐阜支部	支部長 仲上 桂武 事務局長 仲上 桂武 スポーツ委員長 仲上 桂武	仲上 桂武 仲上 桂武 仲上 桂武	●501-02 岐阜県本巣郡穂積町大字別府花塚三ノ町2226-5 岐阜県軽自動車協会内 ●463 名古屋市守山区守山字関屋71-1 カワサキ中日本販売所名古屋営業所	05832-6-5882
静岡支部	支部長 戸田 芳明 事務局長 戸田 芳明 スポーツ委員長 戸田 芳明	戸田 芳明 戸田 芳明 戸田 芳明	●422 静岡市国吉田32-7 静岡県軽自動車協会内	0542-61-4455
愛知支部	支部長 仲島 大 事務局長 仲島 大 スポーツ委員長 仲島 大	仲島 大 仲島 大 仲島 大	●468 名古屋市昭和区天白町大字八草字富士見ヶ丘110の6 愛知県軽自動車協会内 ●455 名古屋市守山区稲葉地町3-8	052-832-2575 052-412-5154
三重支部	支部長 野打 伸 事務局長 野打 伸 スポーツ委員長 野打 伸	野打 伸 野打 伸 野打 伸	●514 津市港町19-12 三重県軽自動車協会内 ●463 名古屋市守山区守山字関屋71-1 カワサキ中日本販売所名古屋営業所	0592-27-5589
関西モーターサイクル協会 事務局長 スポーツ委員長 トライアル委員長	橋本 隆 西田 海	橋本 隆 西田 海	●673 神戸市灘区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内 ●675 加古川市野口町良野261-3 山本レーシングサービス内	078-927-7701 0794-23-2335
滋賀支部	支部長 今福 孝治 事務局長 今福 孝治 スポーツ委員長 今福 孝治	今福 孝治 今福 孝治 今福 孝治	●520-01 大津市坂本大町27-36 滋賀県軽自動車協会内	0775-78-0290
京都支部	支部長 桜井 伊蔵 事務局長 桜井 伊蔵 スポーツ委員長 桜井 伊蔵	桜井 伊蔵 桜井 伊蔵 桜井 伊蔵	●612 京都市伏見区竹向代町51-5 京都自動車協会内京都府軽自動車協会二輪部会	075-691-9121
大阪支部	支部長 野田 道男 事務局長 野田 道男 スポーツ委員長 野田 道男	野田 道男 野田 道男 野田 道男	●550 大阪市西区立売堀1丁目7-14 大阪府軽自動車協会内 ●673 神戸市灘区玉津町居住67-1 兵庫県軽自動車協会内	06-54-5631 078-927-7701
奈良支部	支部長 小島 木太郎 事務局長 小島 木太郎 スポーツ委員長 小島 木太郎	小島 木太郎 小島 木太郎 小島 木太郎	●630 奈良市南宮町2-321-1 奈良県軽自動車協会内 ●641 和歌山県西牟婁郡白旗町1660-389 和歌山県軽自動車協会内	0742-24-5593 0734-31-6133
和歌山支部	支部長 原 隆 事務局長 原 隆 スポーツ委員長 原 隆	原 隆 原 隆 原 隆	●730 広島市大野町3-1-29 瀬戸内ホリダ内 ●730 広島市松川町3-1-19 瀬戸内ホリダ内 ●730 広島市己斐町17-5 ●683 米子市天神町2-49 立船モータース内	0822-41-4274 0822-61-8386 -38-3072 08592-2-4583
中国モーターサイクル協会 事務局長 委員 山陰スポーツ委員会 委員	吉大 井 野松 井 原立 井 立 井	井 井 井 井 井 井 井 井	●680 鳥取市丸山町248 鳥取県自動車協会内鳥取県軽自動車協会内 ●690 松江市八幡町725 鳥取県二輪車協会内	0857-23-3271 0852-38-1685
岡山支部	支部長 吉福 雅 事務局長 吉福 雅 スポーツ委員長 吉福 雅	吉福 雅 吉福 雅 吉福 雅	●710 倉敷市沖8番地1 東中国スズキ販売内	0864-24-1211
広島モトクロス委員会 委員長 広島支部	支部長 石川 実 事務局長 石川 実 スポーツ委員長 石川 実	石川 実 石川 実 石川 実	●733 広島市舟入中町3-9 石川商会内 ●755 宇部市南浜町2-7-21 佐々木モータース内 ●740 岩国市平田町4-21-30	0822-93-4721 0836-21-8181 0827-32-1555
MFJ四国地方本部 事務局長 四国スポーツ委員会 委員長 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員会 委員長 事務局長 顧問	前田 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀	前田 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀 岡村 秀	●760 高松市三条町113 瀬スズキオート香川 ●760 高松市西宝町3-11-7 ●763 丸亀市西本町326 ●763 丸亀市今津町886 ●770 徳島市西新町4丁目7 ●763 丸亀市今津町886 ●760 高松市三条町113 瀬スズキオート香川 ●673-01 明石市二見町福屋506-18 ●105 東京都港区新橋1-1 日比谷ビル8階 カワサキオートバイ販売所	0878-66-8411 0878-34-1634 08772-2-2921 08772-2-9512 0866-22-5545 08772-2-9512 0878-66-8411 07894-2-8297 03-503-2581
徳島支部	支部長 宮内 恒 事務局長 宮内 恒 スポーツ委員長 宮内 恒 事務局長 宮内 恒 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員長	宮内 恒 宮内 恒 宮内 恒 宮内 恒 宮内 恒 宮内 恒 宮内 恒	●770 徳島市南矢三町2-1-58 徳島県二輪自動車協会内 ●770 徳島市佐吉1番町5-9 ●774 阿南市西島見町元村30-3 ●770 徳島市徳島本町3丁目8	0886-53-8513 0886-52-0038 0884-22-0710 0886-54-2233
香川支部	支部長 前田 秀 副支部長 前田 秀 スポーツ委員長 前田 秀 事務局長 前田 秀 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員長	前田 秀 前田 秀 前田 秀 前田 秀 前田 秀 前田 秀 前田 秀	●760 高松市三条町113 瀬スズキオート香川 ●763 丸亀市今津町886 ●763 丸亀市西本町326 ●762 坂出市旭町3丁目1-11 ●760 高松市木太町2343-6 ●760 高松市幸丸町3678-82	0878-66-8411 08772-2-9512 08772-2-2921 08774-6-3385 0878-33-9625 0878-45-9570
愛媛支部	支部長 曾我 光 事務局長 曾我 光 スポーツ委員長 曾我 光 事務局長 曾我 光 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員長	曾我 光 曾我 光 曾我 光 曾我 光 曾我 光 曾我 光 曾我 光	●791-11 松山市南高井町1812-3 愛媛県軽自動車協会内 ●790 松山市三番町7丁目13-11 ●791-41 松山市高岡町61 ●790 松山市本町	0899-75-7310 0899-32-6151 0899-73-0467 0899-45-7130
高知支部	支部長 岡並 井 事務局長 岡並 井 スポーツ委員長 岡並 井 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員会 委員長	岡並 井 岡並 井 岡並 井 岡並 井 岡並 井 岡並 井 岡並 井	●781-02 高知市横浜1657 高知県軽自動車協会内 ●780 高知市南御堂22 ●781-02 高知市環伊町2-285 ●783 南国市大通南1615 ●780 高知市稲荷町3-22 ウテナ美容室内 ●780 高知市中央宝町3-11 ●780 高知市浅橋通り1-5-16	0888-32-0178 0889-83-7272 0889-42-2997 0886-4-3348 0888-83-2539 0888-83-7736 0888-31-4260
MFJ九州地方本部 事務局長 モトクロス委員会 委員長 トライアル委員会 委員長	内野 庄 野村 庄 池内 庄 池内 庄	内野 庄 野村 庄 池内 庄 池内 庄	●812 福岡市東区福岡小浜2-5-16 福岡県軽自動車協会内 ●810 福岡市中央区港2-5-32 サポートハイソ101 ●812 福岡市東区福岡小浜2-5-16 福岡県軽自動車協会内	092-641-0431 092-771-5508 092-641-0431
福岡支部	支部長 野村 庄 事務局長 野村 庄 スポーツ委員長 野村 庄	野村 庄 野村 庄 野村 庄	●812 福岡市東区福岡小浜2-5-16 福岡県軽自動車協会内	092-641-0431
佐賀支部	支部長 松尾 繁 事務局長 松尾 繁 スポーツ委員長 松尾 繁	松尾 繁 松尾 繁 松尾 繁	●840-01 佐賀市高木瀬町大字高木五本杉1240-9 佐賀県軽自動車協会内	09522-2-8442
長崎支部	支部長 竹内 義 事務局長 竹内 義 スポーツ委員長 竹内 義	竹内 義 竹内 義 竹内 義	●850 長崎市平間町383-2 長崎県軽自動車協会内 ●862 熊本市東町4-26 熊本県軽自動車協会内	0958-38-3245 0963-69-7920
大分支部	支部長 廣 浩 事務局長 廣 浩 スポーツ委員長 廣 浩	廣 浩 廣 浩 廣 浩	●870-01 大分市大字三ノ小字光畑79-1 大分県軽自動車協会内	0975-58-4861
宮崎支部	支部長 小 浜 事務局長 小 浜 スポーツ委員長 小 浜	小 浜 小 浜 小 浜	●880 宮崎市田代町7-1 宮崎県軽自動車協会内 ●891-01 鹿児島市中山町2876-4 鹿児島県軽自動車協会内	0985-27-1471 0972-69-5561

勝利は、目の前。

待望の、水冷125ロードレーサー新登場。

RS 125R-W



■主要諸元

く内は空冷

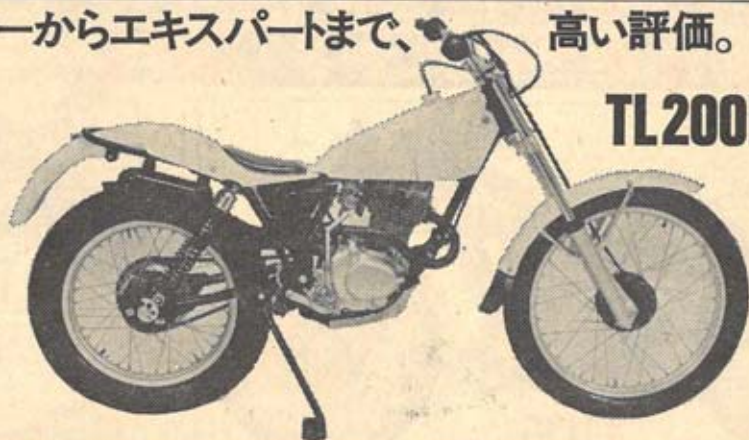
●水冷(空冷)2サイクル単気筒ピストンリードバルブ ●排気量122.6cm³ ●内径×行程55.5×50.7(mm) ●点火方式CDI ●最高出力31(28)PS/11,500rpm
●最大トルク1.94(1.75)kg-m/11,300rpm ●潤滑方式 混合30:1 ●燃料タンク容量10.3ℓ ●1次減速比3.158 ●2次減速比2.118 ●6段リターン変速 ●車両重量72.5(71)kg ●キャスト25" ●トレール85mm ●前・後輪油圧ディスクブレーキ ●タイヤサイズ 前=2.50-18 後=2.50-18

■オプションパーツ

●ピストン(0.25) ●ピストンリング(0.25) ●スパークプラグB-11EGV ●ドライブsprocket15T、16T ●ドリブンスprocket34T~38T ●メインジェット#150~#190 ●ジェットニードル31A、31D、31E、31G、31L ●スロットルバルブ#2.0、#3.0 ●フロントクッションスプリングB ●リアクッションスプリング ●カシメチェーンジョイント ●リンク式チェーンベタルASSY

ビギナーからエキスパートまで、高い評価。

TL200R II



■主要諸元

●空冷4サイクル単気筒 ●排気量197.7cm³ ●内径×行程66.0×57.8(mm) ●圧縮比8.2:1 ●点火方式CDI ●最高出力12.1PS/6,000rpm ●最大トルク1.59kg-m/4,000rpm ●潤滑方式トロイドウェットサンプ ●燃料タンク容量3.0ℓ ●キャブレター型式PC20 ●1次減速比 70/21(ギア)3.333 ●2次減速比 53/13(チェーン)4.077 ●6段リターン変速 ●車両重量84.5kg ●フレーム形式 ダイヤモンド ●キャスト25" ●トレール78mm

■オプションパーツ

●スパークプラグD-5ES ●ドライブsprocket12T ●ドリブンスprocket51T、55T ●メインジェット#90~#110

●本仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

HONDA
RSC

●製品についてのお問い合わせは下記へどうぞ。

(株)ホンダ・アール・エス・シー

三重県鈴鹿市稲生町7992 〒510-02 TEL(0593)78-1231

ファクトリーレプリカと呼ぶにふさわしく戦闘力アップ。 '80年代を拓く New YZ

パワーアップと軽量コンパクトというテーマに挑み、'80年モトクロスマシンとして世に問う New YZ250 YZ125。

窒素ガス室別体式モノクロスサスペンションをはじめ

Newエンジン、Newフレームなどすべてを一新。走破性、耐久性も一段と向上。



YZ125

26.5ps/11,000r.p.m ● 1.80kg・m/9,500r.p.m



YZ250

40ps/8,000r.p.m ● 3.77kg・m/6,500r.p.m

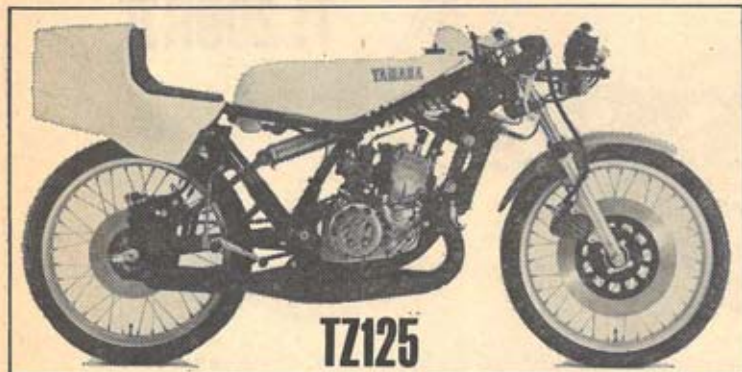
ミニ・モトクロスレースを圧倒的力量でリード

17ps/11,500r.p.m
1.05kg・m/11,500r.p.m

YZ80/YZ50

9.0ps/10,500r.p.m
0.62kg・m/10,000r.p.m

圧倒的“強さ”を世界に誇る



TZ125

原動機種類…2サイクル水冷ガンソリンピストンバルブ
気筒数配列……………単気筒、前傾
総排気量……………123cc
内径×行程……………56mm×50mm
圧縮比……………7.9
最高出力……………30PS以上/12,000r.p.m以上
最大トルク……………1.85kg・m以上/11,500r.p.m以上



TZ350

58PS以上/10,000rpm
4.37kg・m以上/9,500rpm



TZ250

46PS以上/10,000rpm
3.29kg・m以上/10,000rpm

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県静岡市新貝2500 TEL.05383(2)1111

RM125



●空冷・2ストローク・単気筒●最高出力27ps/
10,500rpm●最大トルク1.90kg-m/9,500rpm
●6段リターン変速●標準現金価格¥255,000



世界MXGP(125c.c.クラス)
5年連続制覇の技術が生きる、
高性能なスズキのモトクロスーRMシリーズ。



RM250 ●空冷・2ストローク・単気筒●最高出力40.5ps/
8,000rpm●最大トルク3.75kg-m/6,500rpm
●5段リターン変速●標準現金価格¥345,000



RM50 ●空冷・2ストローク・単気筒●最高出力8.0ps/
10,000rpm●最大トルク0.58kg-m/9,500rpm
●5段リターン変速●標準現金価格¥113,000



RM80 ●空冷・2ストローク・単気筒●最高出力17ps/
11,500rpm●最大トルク1.08kg-m/10,000rpm
●6段リターン変速●標準現金価格¥14,000

SUZUKI

ヘルメットをかぶろう!

- ★定期点検をうけよう
- ★安全運転をしよう
- ★変形ハンドルはやめよう

ワークスレーサー の戦闘力

カワサキの情熱を伝える精悍なスタイリング

- フレキシブルなライディングポジション
- 十分な容量を確保するダイナミックなフューエルタンク
- リアサスペンションをおおうスリムなサイドカバー
- 走行バランスの向上を配慮したセンターアップマフラー

パワーユニットは強靱/かつ俊敏にしてあざやかなハイレスポンス

- CDI点火によりメンテナンスフリーを約束
- シリンダー、マフラー、キャブレターは改良を重ね中低速性能が一段とアップ
- 線繰りシリンダーを採用し、連続走行でも抜群のパワーを発揮
- ブースターポートを採用した新しいシリンダー機構

軽量かつ優れた耐久性を備える完全レース仕様

- 軽量かつ剛性に富む高張管ダブルクレードルフレームを採用
- 角型断面スウィングアームを採用
- 前後にはマグネシウム合金の片ハブブレーキ

走破性・操縦安定性は抜群、優れた戦闘能力を発揮

- 連続するギャップでのリアの横流れを抑えハイパワーを確実に伝える深くレイダウンされたリアサスペンション
- 窒素ガス密封のフリーピストン付きリザーブタンク
- エアとコイルスプリングを併用したリーディングアックスルのフロントサスペンション
- クッションストロークは共にウルトラロング



KX80

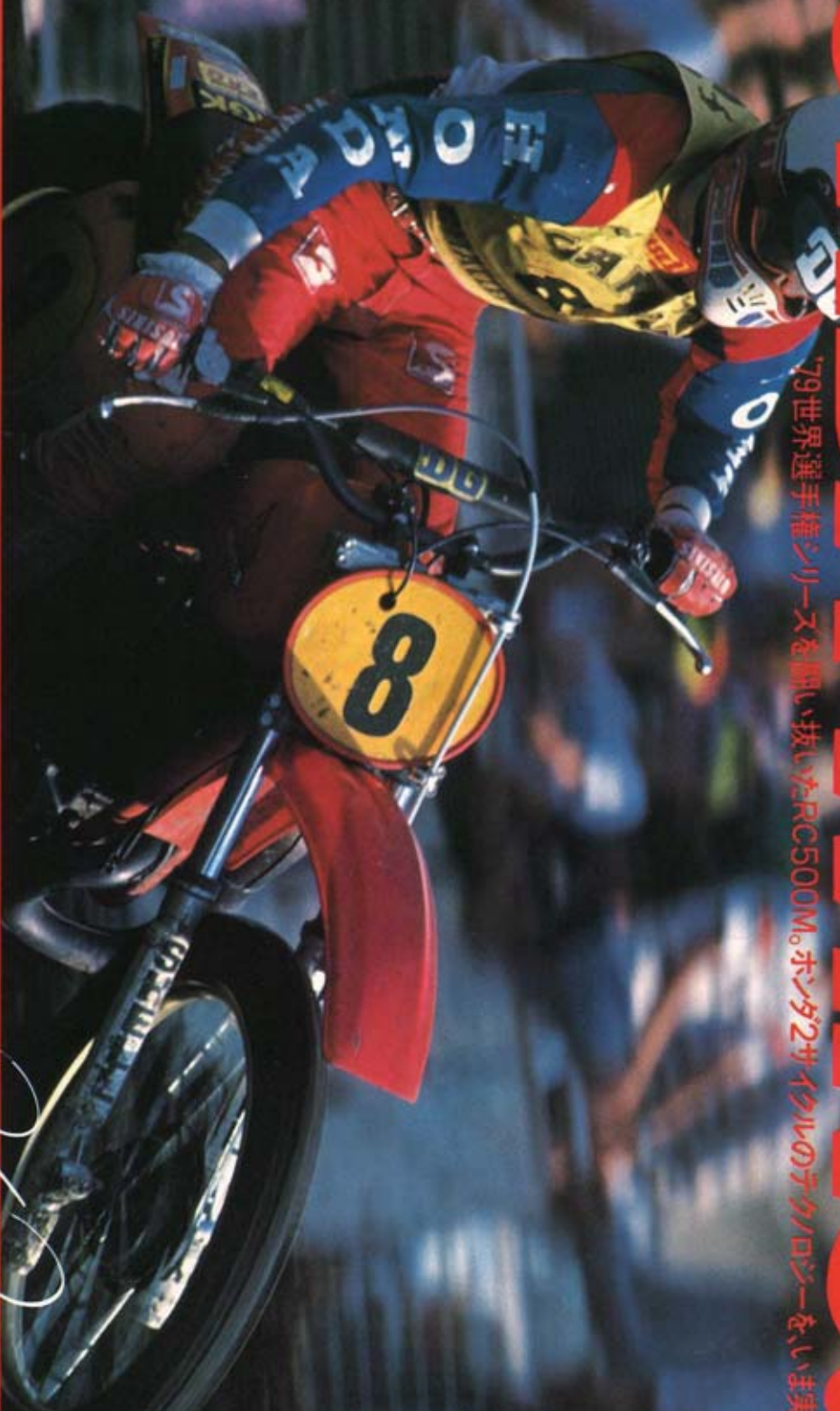
●2サイクル単気筒・ピストンリードバルブエンジン ●79cc ●最高出力16ps / 11,500rpm ●最大トルク1.03kg-m/10,500rpm ●5段リターン ●CDI点火 ●カラー…ライムグリーン ●¥148,000

Kawasaki

川崎重工業株式会社・カワサキオートバイ販売株式会社/〒673 堺市川崎町1-1

HONDA WINNER!

79世界選手権シリーズを制し、抜いたRC500M。ホンダ2サクルのテクノロジーを、いま実証。



79F1クラス 500GP

メーカー&ライダーチャンピオン



モトクロスGPの最高峰500ccクラスで、ホンダはメーカーチャンピオンを獲得。グラハム・ノイズ選手もワールドチャンピオンに決定。メーカー、個人ともに制覇するという偉業をなした。また、アンドレア・マレーもシリーズ第3位に入賞。ホンダの技術力を世界に示した。そして、そのメカニズムを量産車にノイズバイク。ホンダならではの高性能マシンを出現させている。

John D. Ayer

PHOTO: HONDA/MMA + STYLING: T. KAWA

(C) 1984 HONDA

HONDA

SHIMANO
BRAKE SYSTEM
DISC BRAKE

ズにはズ

はびりない、鋭い合点、こころゆたかに結ばれるもの——それがライバル
カワサキに乗る 世代にふさわしいものは、
いま 宿管を耳 感覚が冴える 語らせる 仲間
ライバルのライバル……ソウオリアナをカニズが冴める心を満たす
個性で決める 今年のカワサキ

ライバルはカワサキ。

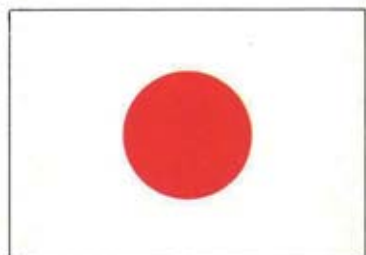


Z400FX

●4サイクル4気筒・DOHCエンジン●399cc●最高出力45ps/9,500rpm●最大トルク3.5kg-m/7,500rpm●5段ワーム●前後輪ディスクブレーキ
●制動距離12.5m (50km/h)●空車重量189kg●カラー……ライフラグカールート・ミッドナイトブルー●標準現金価格 ¥398,000

 **Kawasaki**
KAWASAKI MOTOR CO., LTD.
1-1-1, SHIBUYA-KU, TOKYO 160, JAPAN

信号旗



スタート

国旗またはシグナル緑



黄色縦縞の赤旗

コース上にオイルあり注意



緑旗

先に示した合図解除



赤旗

全ライダーはただちに停まれ!!



青旗

追越車あり進路をゆずれ!!



黄旗

危険あり注意。振られた場合は大いに危険!! スピードダウン徐行せよ!!



白旗または赤十字旗

コース上に救急車あり!!



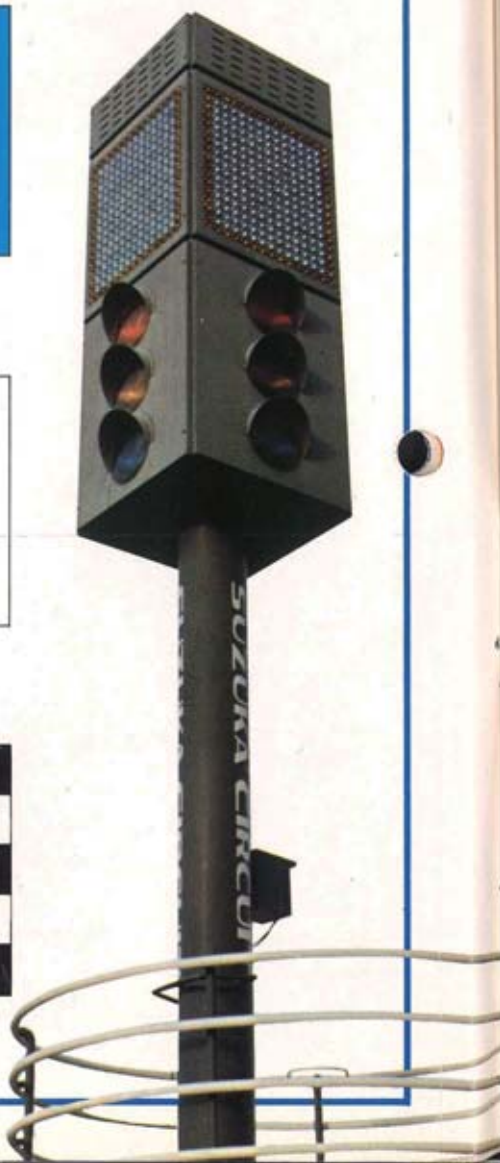
黒旗

指示されたライダーは走行停止せよ!!



チェッカー旗

レース終了!! キミはゴールした



1980 年度

MFJ 国内競技規則〔総則〕

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟(Fédération Internationale Motocycliste—略称 FIM) の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいて作成され、日本国内のモーターサイクルスポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と付則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は付則に示される。



— 総 則 目 次 —

MF J 国内競技規則

総 則

〔1〕 MF J 国内競技規則について

MF J 国内競技規則は、日本国内のモーターサイクルスポーツのための規則であり、国際モーターサイクリスト連盟 (Fédération Internationale Motocycliste — 略称 FIM) の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則にもとづいたものである。

日本モーターサイクル協会(略称 MF J) は FIM の日本における代表機関として、モーターサイクルスポーツの国内管理、一般的モータリゼーションの振興等の目的のために本国内競技規則を制定、施行する。

I. 適用の範囲

本国内競技規則は日本国内のすべてのモーターサイクルスポーツ国内競技会に適用され、各種目の共通事項は総則に、競技種目によって、内容に差異のある事項はそれぞれの付則に記載する。

II. 競技規則の解釈

競技会開催期間中の判定および競技規則全般の解釈は、本国内競技規則にもとづいて、競技会審査委員会(以下大会審査委員会という)だけがおこない、大会審査委員会の判定および解釈を最終的なものとする。

〔2〕 公示、特別規則および公式通知

- (1) 競技会は、この国内競技規則にもとづいておこなわれ、競技会の運営上、競技の細部の規則並びに指示は公示、特別規則、および公式通知によって示される。
- (2) 公示、特別規則、および公式通知は、競技会主催者(以下主催者という)が発行する。
- (3) 特別規則には次の各項が示される。
 - 1) 競技会の名称
 - 2) 主催者の名称、所在地および連絡先
 - 3) 開催日時
 - 4) 開催場所(コース)
 - 5) 競技の内容と参加者、ライダーの資格
 - 6) 出場申込み受付場所
 - 7) 出場申込み期間
 - 8) 出場料と保険料金
 - 9) クラス区分
 - 10) 出走者の定員
 - 11) 賞およびその詳細
 - 12) 運営組織
 - 13) その他、国内競技規則に定められた事項
- (4) 競技会運営の細部にわたる規則、指示等については公示、または特別規則に記載し得なかった事項は、公式通知によって示される。

〔3〕 ライセンス

ライセンスとは国際モーターサイクリスト連盟の国際スポーツ憲章、FIM 競技規則に準拠して、MF J が会員に対して発行する競技者認定証であり、国内のモーターサイクル競技会に参加するに必要な証書である。

I. ライセンス区分

ライセンスには下記のライセンス資格区分がある。
ライセンスには下記のライセンス資格区分がある。

II. ライセンス新規取得者の資格

新たにライセンス取得申請をおこなう者は下記の条件をみたしていなければならない。

- (1) 日本にスポーツ国籍を有する者であること。
- (2) 運転免許証所持者であること。
- (3) 職業選手でないこと。また過去に職業選手として登録されたことのある者は、登録取消し1年以上経過した者でなければならない。
- (4) ロードレース・ノービスライセンス取得申請の場合は、サーキットの3時間走行証明またはMFJ公認ロードレーシングスクール修了証を必要とする。
- (5) ロードレースBライセンス取得申請の場合は、サーキットのライセンス講習会受講証明を必要とする。

注1) 日本国内に3ヵ月以上継続的に居住した外国人がその期間を証明できる書類を提出すれば、スポーツ国籍は日本にあるものとみなされる。ただし、当人が所属するFMNRの書面による承諾を必要とする。

注2) 職業選手とは、日本小型自動車振興会所管のレースのために登録し、または登録された者、およびスタントカー、サーカス等に所属している者をいう。

III. ライセンスの停止

下記の場合ライセンスは停止される。

- (1) 日本にスポーツ国籍がなくなった場合。
- (2) 運転免許証取消処分または停止処分を受けた場合。(停止の場合はその期間満了の日まで)
- (3) 職業選手として登録された場合。
- (4) MFJの認めない競技会に出場した場合。
- (5) MFJ資格審査委員会の裁定により停止処分を受けた場合。(資格審査委員会の定める期間)

IV. ライセンス資格の昇格および降格

① 自動昇格者の決定

ライセンス資格自動昇格者は、MFJ資格審査委員会の定める基準にもとづいて決定される。

② 特別昇格および降格

特別昇格および降格の申請に対しては地方協会またはスポーツ委員会、MFJ資格審査委員会が審査決定する。

〔4〕 参加者およびライダー

I. 参加者(エントラント)

- (1) MFJに所属していて、「参加の申請」をおこなった個人およびクラブ。
- (2) コマーシャル・ライセンスを所有している車輛メーカー、その部品およびその関連産業メーカーおよびディーラーで、「参加者の申請」をおこなったもの。

II. ライダー

ライダーとはMFJ会員で、当該競技会に「出場申し込み」をおこなったもの。

III. ライダーの資格

- (1) 当該競技会出場申込みのときに、日本にスポーツ国籍を有する者で、運転免許証およびMFJの競技者ライセンスを所有する者に限る。ただし、満20歳未満の者は親権者の承諾書を必要とする。
- (2) 主催者は競技会当日、運転免許証とMFJ競技者ライセンスと健康保険証の提示を求め、当日の資格を判定する。
- (3) ライダーは過去6ヵ月以降重大な刑法上又は道路交通法違反によって処罰された者であってはならない。
- (4) ライダーは、医師によってレース出場可能な健康体であると診断された場合、レース出場資格者、もしくはレース継続資格者としてみとめられる。

主催者は、どのライダーに対しても、指定した医師による健康診断を要求することができる。またこの診断をもって最終とする。

- (5) 開催期間中、転倒事故等により負傷したライダーは指定医師の承認を得なければ再び出走することはできない。

IV. メカニック

メカニックとは、MFJ会員で、当該競技会に「参加の

●健康第一、違反はゼロで



MFJ 国内競技規則

申請」をおこなった者とする。

V. ヘルパー

ヘルパーとは、ライダーまたはメカニックを援助する者で、当該競技会に「参加の申請」をおこなった者。

VI. 参加者、ライダー、メカニックの遵守事項

参加者等は次の事項を守らなければならない。

- (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に則って行動し、参加者はすべての行動に対して責任を持たなければならない。
- (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員からの指示に従い、かつレース場以外では交通法規を守るものとする。
- (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、野卑な言動は厳に慎むこと。
- (4) 競技に関する業務についているときは飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろうことを禁ずる。
- (5) 競技会中は参加の身分証を必ず携帯する。(運転免許証・ライセンス等)

[5] 出場申込み

I. 申込み方法

- (1) 申込み期間、申込み場所、その他の詳細については当該特別規則に示される。
- (2) 主催者より支給された用紙の記載事項のすべてに指示どおり記入し、この競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
- (3) 主催者は、参加者、ライダーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申込みを拒否、または無効とする権限を有する。

II. 定員

- (1) レース出走者数または出場申込み者数の定員は特別規則に示される。
- (2) 出場申込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスのレース開催を中止することがある。

III. 出場車輛の登録

出場申し込み者は、「出場申込み書」により競技会に使用する出場車輛(以下車輛という)を主催者に登録しなければならない。

[6] 出場料および保険料

I. 出場料

参加者またはライダーは、出場申込みのときに出場料を(金額は特別規則に明示)払込まなければならない。

II. 保険料

各ライダーは出場申し込みのときにMFJ指定保険料の実費を主催者に払込まなければならない。保険の内容の詳細は特別規則に示される。

III. 出場料等の払戻し

一旦、主催者に受理された出場料等は払戻しされない。

[7] 配布物品

参加費および配布物品は主催者(大会事務局)から交付される。時期および詳細は特別規則に示される。

[8] 賞およびポイント

I. 賞およびその詳細は特別規則に示される。

II. 競技会シリーズのポイントは次の通りである。

- 1位=15点, 2位=12点, 3位=10点, 4位=8点,
5位=6点, 6位=5点, 7位=4点, 8位=3点,
9位=2点, 10位=1点。

III. 出走台数が20台に満たない場合、次の通り賞およびポイント制限する。但し賞は原則として6位迄とする。

出走台数	ポイント	出走台数	ポイント
18~19台	9位迄	10~11台	5位迄
16~17台	8位迄	8~9台	4位迄
14~15台	7位迄	6~7台	3位迄
12~13台	6位迄	5台	2位迄

(注) 出走台数とは、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数をいう。ただし予選がある場合は、その総出場台数をいう。

[9] 出場車輛

I. クラスの区分

車輛は排気量によって原則として次のように分けられ、付則に示される。

(1) ロードレース

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
90cc	51cc	~ 90cc
125cc	91cc	~ 125cc
250cc	126cc	~ 250cc
350cc	251cc	~ 350cc
500cc	351cc	~ 500cc
750cc	501cc	~ 750cc

(2) モトクロス

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
90cc	51cc	~ 90cc
125cc	91cc	~ 125cc
250cc	126cc	~ 250cc
500cc	251cc	~ 500cc

(3) トライアル オープン

II. 総排気量の算出基準

総排気量は下記の計算式により算出する。ただしシリンダー内径・ピストン行程(m/m)は小数点以下1位まで四五入し、小数点以下を切り捨てて表示する。この際内径はクランク軸方向とその直角方向を測定し平均する。
 総排気量(cc) = $0.7854 \times \text{内径}^2 \times \text{行程} \times 10^{-3} \times \text{気筒数}$

III. 仕様

車輛は付則に示す「改造の限度」と「仕様」に合致し、かつ特別規則の条件をみたし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

IV. 危険な車

大会審査委員会より車体の強度など安全上の理由によって危険であると判断された車輛は、理由のいかんをとわずレースに使用することはできない。

[10] 公道での走行禁止

I. 公道の走行禁止

主催者に登録された、またはそれに近い構造の車によって一般公道を走行することは一切禁止する。

II. 走行禁止の例外

主催者に登録された車輛であっても、車輛保安基準に適合した安全な車はその限りではない。

III. レース用

車輛保安基準に適合した安全な車でも、レース・ナンバープレートを装着して一般公道を走行することは一切禁止する。

[11] 器具および装備品

I. レースナンバープレート

(1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートの大きさは、付則に示される。

(2) 取り付け方法

- 1) 付則に示される枚数のナンバープレートをライダー等によりかくれることなく、明瞭に見えるように取り付けなければならない。
- 2) 取り付けは安全な方法により確実にとりつけられ、ハリガネなど安易な方法によってはならない。

II. ヘルメット

- (1) ライダーは予選、レース中を問わず、走行中は必ずヘルメットを着用しなければならない。
- (2) ヘルメットは付則に定められた性能を有するもので主催者の検査に合格したものでなければならない。

注) MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。

III. ライダーの服装

- (1) ライダーの服装は競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。



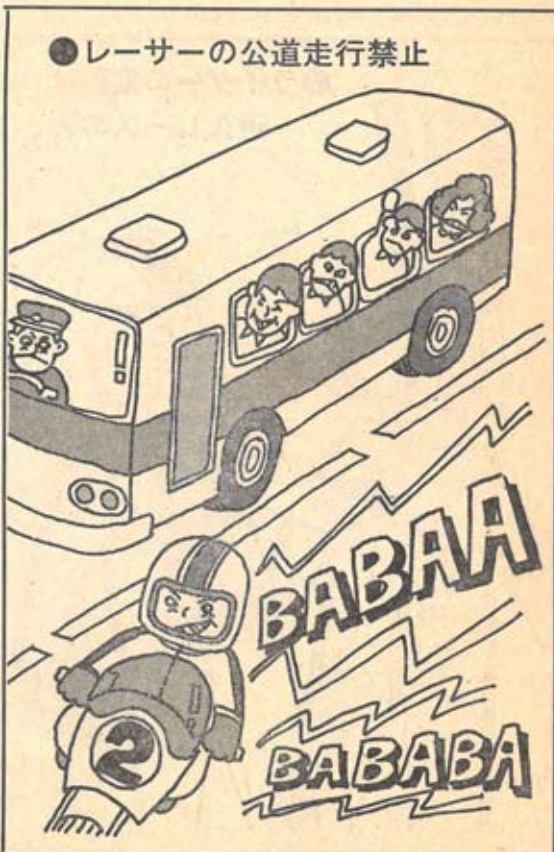
種々の検査を受けて公認されるヘルメット

- (2) 指示されたゼッケンは着用しなければならない。ただし、ナンバー固定者でライダーズーツの上着にゼッケンを縫い込んだものは認可する。
- (3) その他、付則による。

[12] 燃料およびオイル

I. 燃料

レースに使用する燃料は、一般市販ガソリンでなければならない。また主催者が指定しレース場内にて供給する場合、ガソリンの銘柄およびその他の詳細は特別規則に示される。



MFJ 国内競技規則

II. オイル

オイルの銘柄は指定しない。

III. その他の規定

- (1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃料効率を高めるような添加剤あるいは起爆剤を加えてはならない。
- (2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。ただし主催者より作業場所の指定がある場合はその指示に従う。

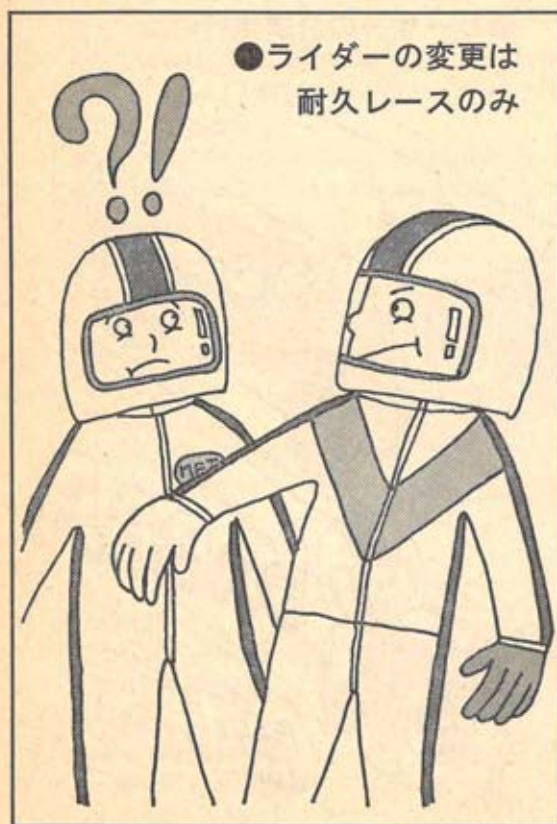
[13] 車輛検査

I. 車輛検査

- (1) 車輛は、出場規則にもとづいた車輛検査を受けなければならない。車輛検査の時刻、および場所は特別規則に示される。
- (2) 車輛は、レース直前に車輛検査の状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない。チェックの時刻および場所は特別規則に示される。

II. 使用部品の登録（車輛改造申告書）

ライダーは車輛検査の時に大会事務局より支給された車輛改造申告書を提出し、使用する車輛・部品等の銘柄、型式の登録をしなければならない。



[14] ライダーおよび車輛の変更

I. ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。
ただし、耐久レースの場合はこの限りではない。

II. 車輛の変更

- 出場登録した車輛を変更してはならない。
- (1) ただし、破損またはその他の理由によって使用する車輛を変更する必要がある場合は、きめられた書式にしたがって車輛の変更申請をおこない、競技総監督がこれを認めた場合に限り車輛の変更が認められる。
 - (2) 紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
 - (3) その他、特別規則に示される。

III. ライダーと車輛の双方を変更することはできない。

[15] 走行中の遵守事項

- (1) 走行中、必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離したり、外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
- (2) 走行中、故意に他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
- (3) 走行中、車輛はそれ自身が持つ動力、およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
- (4) 走行中、他の人の援助を一切受けてはならない。他の人による援助とは、そのレースに参加しているライダー、きめられた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の役員以外の人が車輛に触れることをいう。
- (5) 走行中、車輛にいかなる他人も同乗させてはならない。
- (6) ライダーはレース中、酒気をおびたり、または医薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくらせてはならない。

[16] レース

I. 予選

出場申し込み者数が多い場合等は、予選によって決勝レース出場者を決定することがある。その詳細については付則および特別規則に示される。

II. スタート

付則および特別規則に示される。

III. 合図

- (1) レース中、大会役員が次の合図用旗を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
 - (1) シグナル緑または国旗…スタート

総則

(2) 赤旗……全ライダーの走行停止

(3) 黄旗

①静止……危険予告

②振る……コース上に危険あり徐行安全確認、追越し禁止

(注) 重大な危険とは、コース上に事故車輛またはライダーの存在および役員等による事故等の処理作業中のため、コースの全面または部分的閉鎖を意味する。

(4) 緑旗……先に示された合図の解除

(5) 3本の黄色縦縞のある赤旗……コース上オイルあり

(6) 青旗……追越し車あり、進路をゆずれ

(7) 白旗または赤十字旗……コース上に救急車またはサービス車あり、またはコース上にて救急作業がおこなわれている。

(8) ライダーのナンバーを付した黒旗……当該ライダー走行停止

(9) 白と黒のイチマツ模様 (チェッカー・フラッグ) ……レース終了 (ゴールイン)

この合図用旗の使用は、役員にのみ許され、他のいかなる合図旗またはそれとまぎらわしいもの使用はいっさい認められない。

IV. 停止

(1) レース中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車輛をコースの脇によせ、他のライダーの邪魔にならないように十分注意しなければならない。

(2) レース中、車輛をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし大会役員の指示、監督のある場合はこの限りではない。

(3) 事故、または車輛故障などの理由によってリタイア (中途退場) する場合は、その地点からもっとも近い大会役員 (コース審判) に報告し、用意してある用紙によってリタイア届けを提出しなければならない。

(4) ライダーは、リタイア届けを提出した大会役員に車輛をあずけて退場しなければならない。

(5) ライダーは停止車輛をそのレースが終了するまで大会役員の管理下におかななければならない。

ただし、そのレースに支障のない地点まで車輛を移動させることをコース審判 (大会役員) から指示された場合はこれに従わなければならない。

V. レースの終了

レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち付則および特別規則に示す時間を経過した時点である。

[17] 優勝者、入賞者および完走者

付則に示す。

[18] 入賞車の検査

レース終了後各クラスの1位から6位までの車輛は、暫定結果発表後30分以上保管され、必要に応じて検査される。

[19] レース結果および記録の公表

(1) 大会審査委員会はレース終了直後、暫定結果の公表をおこなう。

(2) レース正式結果は、レース終了後3時間以内に、大会審査委員会から公表される。

(3) 参加者、ライダーは公表されたレース正式結果に対して抗議することはできない。

[20] レースの延期、中止および打ち切り

(1) レースは特別な理由のない限り、うち切ったり、中止されたりされない。

(2) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースのいずれかを延期、または放棄しなければならないと判断したときに限り、レースを延期または中止することができる。

(3) すべての関係者は大会審査委員会の決定にしたがわ

●走行妨害はもってのほか



総則

なければならない。

- (4) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースにきめられた周回数、または時間の3分の2を完走しないうちにレースを打切った場合は、そのレースは無効となる。
- (5) トップ走者がきめられた周回数または時間の3分の2以上を完走した場合でレースを打切った時は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- (6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料を返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[21] 抗議

- (1) 参加者、ライダーおよびメカニックのみが抗議申し立てができる。
- (2) 抗議しようとするときは、定められた手続によって大会事務局に申し入れをしなければならない。
抗議手続きは、大会事務局に備付の抗議申し立て書に記載し、1項目につき、抗議保証金5,000円をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- (3) 暫定結果に対する抗議は発表後30分以内に限り受付られる。
- (4) 正式の手続きをふんで提出された抗議申し立て書だけが受けつけられ、大会審査委員会において審議される。
- (5) 大会審査委員会は、証人を必要とめた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定をくだすものとする。
- (6) 審査委員会が下した裁定に対しては一切抗議することはできない。
- (7) 抗議が成立した場合のみ抗議保証金が返還される。

[22] 損害の補償

I. 車輛の破損

- (1) 車輛が大会審査委員会によって保管されている期間をのぞき、車輛およびその附属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。
- (2) 大会審査委員会は、車輛を保管している期間中に、これらの車輛がなんらかの理由によって破損した場合には、一台当り10万円を最高限度額としてその所有者に補償する。

II. 損傷の責任

競技会開催期間中、またはその前後に起きた損傷は自らが責任を負うものとする。

III. 大会役員の責任

ライダーおよびメカニック等の参加者は大会役員が一切

の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち大会役員はその職務に最善を尽くすが、仮りに大会役員の行為によって起きた参加者、ライダー、メカニックおよび車輛等の損傷に対しても、大会役員は一切の補償責任のないことをいう。

[23] 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中(競技会)における違反行為に対しては、大会審査委員会ならびに競技総監督の権限で下記の罰則を課すことができる。

- (1) 注意処分(口頭による注意または注意処分通告書)
- (2) 厳重戒告(戒告通知を受けたものは始末書提出)
- (3) 罰金(1万円以上5万円以下)
- (4) 競技結果に対する1分加算
- (5) 競技結果に対する3分加算または1周減算
- (6) 失格

違反の判定は競技総監督の判断を先優するが、罰則の裁量や適用は大会審査委員会の決定を優先するものとする。

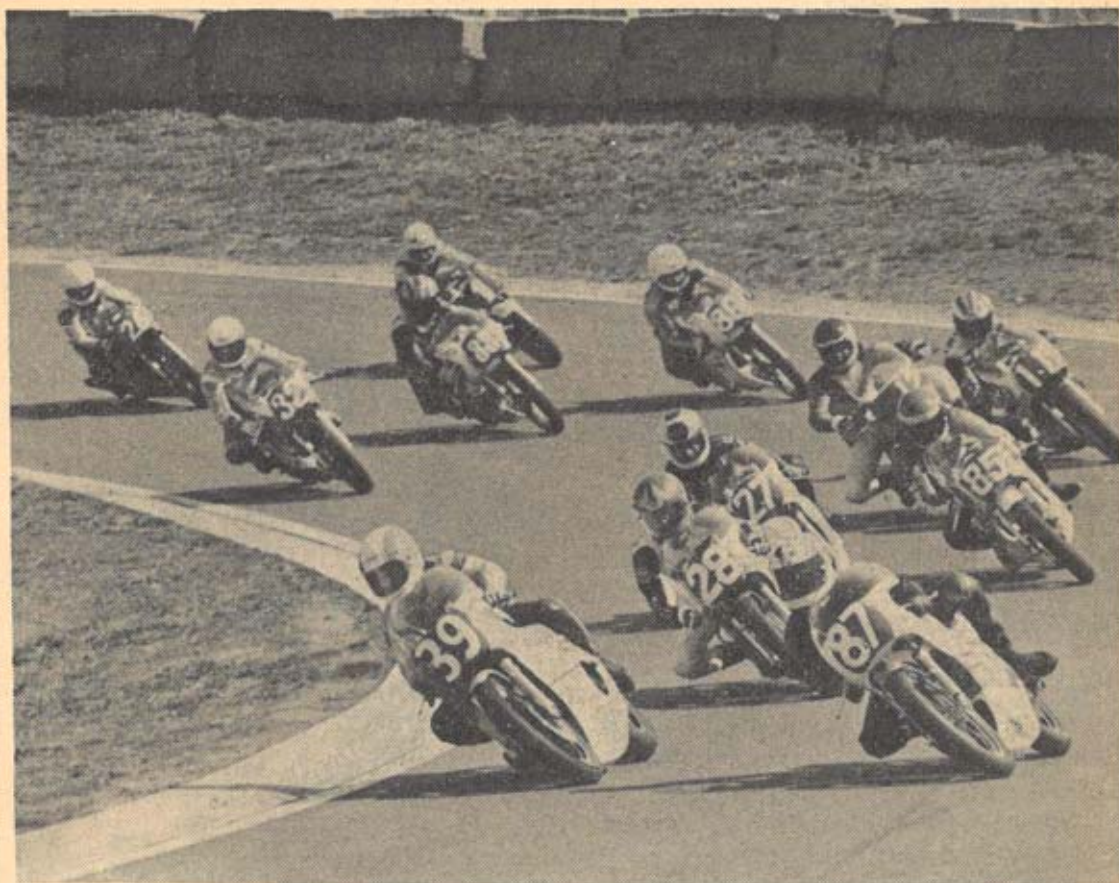
罰則は審査委員会の報告にもとづき、MFJ資格審査委員会によってさらに事後の出場停止、資格停止にまでおよぶかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

●キミは旗の意味を知っているか?



付則 1

ロードレース規則



ロードレース規則・目次

- [1] 適用の範囲.....26
- [2] ロードレース.....26
- [3] レース出場車輛.....26
- [4] プロダクション出場車輛.....31
- [5] ライダーの装備.....33
- [6] 公式予選.....33
- [7] レース.....33
- [8] 優勝者, 入賞者, 完走者および順位...34

MFJ国内競技規則 付則1

ロードレース規則

〔1〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべてのロードレース競技会に適用される。

〔2〕 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットでおこなわれるレースであり、総則およびこの付則により管理される。

〔3〕 レース出場車輛

出場車輛（以下車輛という）は、下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

I. 車輛の排気量区分

車輛のクラス区分は原則として次のようにわけられ、開催種目および運用は特別規則に示される。

クラス	最小総排気量	最大総排気量
50cc	—	50cc
90cc	51cc	~ 90cc
125cc	91cc	~ 125cc
250cc	126cc	~ 250cc
350cc	251cc	~ 350cc
500cc	351cc	~ 500cc
750cc	501cc	~ 750cc

II. 改造の限度

§1 国際A級部門

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJ公認車輛

またはFIMフォーミュラ750レース用公認車輛でなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 下記の諸点について車輛は公認仕様と異なっていない。

ただし、公認車輛の部品および公認部品の組合わせはこの限りではない。

- 1) エンジン型式
気筒数、ストローク
- 2) シリンダーのボアアップは公認された車輛の排気量区分をオーバーしてはならない。
- 3) 4ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質
- 4) 2ストロークの場合のシリンダーパレルの鋳造および材質とポート数
- 5) シリンダーヘッドの鋳造および材質
- 6) クランクケースの鋳造および材質
- 7) ギヤボックスの鋳造および材質
- 8) プライマリードライブ方式
- 9) トランスミッションの変速段数
- 10) 吸気および排気方式
- 11) 気化方式

(2) 燃料タンク容量は最少限6ℓ、最大限24ℓとする。

(3) 半乾燥重量は下記の最低重量をみだしていなければならない。

半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

125cc (単気筒) ……	70kg
125cc (2気筒) ……	75kg
250cc ……	90kg
350cc ……	95kg
500cc ……	100kg
750cc ……	110kg

なお、上記重量をみだすために、ダミーウエイトを装着してはならない。

(4) 騒音は下記の条件をみだしていなければならない。

1) 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

2) 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

3) FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合

13m/s でエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

- (5) 下記の部品および構造にチタニウムを使用してはならない。

フレーム、フロントフォーク、フロントフォーク・ブラケット、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、ハンドルバー、ホイールスピンドル、ステアリング、シャフト

§2 ジュニア部門、ノービス部門

車輛は一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示される。

機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に限定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

- (2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

なお、補強等はおこなってもよい。

- (3) 異なった機種エンジンのフレームの組合せをしてはならない。

ただし、250cc以下の車輛はこの限りではない。

- (4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。

1) クランクウェブのバランス穴の充填は認められる

2) ユニット・コンストラクション（単体構造エンジン）の場合のクランクケース本体とは変速機部分も含まれる。

- (5) 変速機の段数は6段を限度とする。

ただし、変速ギヤはクランクケースおよびミッションケース外に増設してはならない。

- (6) 冷却方式の変更は公認されたものでなければならない。

- (7) 弁形式を変更してはならない。

- (8) 燃料吸入方式を変更（フューエルインジェクターの取り付け等）してはならない。

- (9) 気化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。

（ダブルベンチュリーの場合は2個とみなす）

- (10) 半乾燥重量は下記最低重量をみだしてはならない。

1) 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

2) 車輛最低重量は次の通りである。

90cc（1気筒）……………65kg

90cc（2気筒以上）………72kg

125cc（1気筒）……………70kg

125cc（2気筒以上）………75kg

250cc（1気筒）……………90kg

250cc（2気筒以上）………105kg

350cc（1気筒）……………95kg

350cc（2気筒以上）………110kg

- 3) 最低重量より軽い場合には、ダミーウエイトを取付けなければならない。ただし、ダミーウエイトは5kgを越えてはならない。

- 4) ダミーウエイトは、ボルトまたは溶接によりフレームに完全に固着したもので、転倒などの際に危険でないものとし、車輛検査において封印を受けなければならない。

- (11) 騒音は下記の条件をみだしてはならない。

- 1) 有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。

- 2) 騒音はFIM方式による測定方法で、4ストローク車の場合=110+5db(A)、2ストローク車の場合=110db(A)以下でなければならない。

- 3) FIM方式とは排気管後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均のスピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転しているときの騒音を測定する方法をいう。

- (12) 構成部品

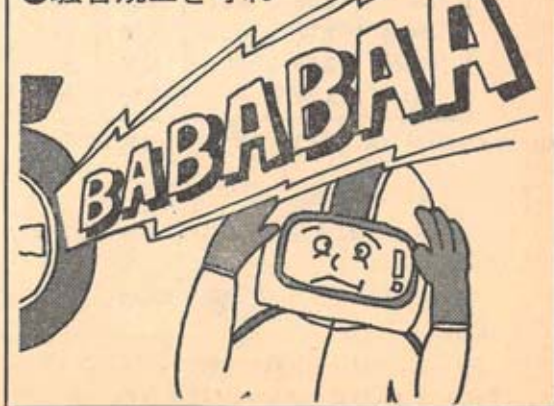
- 1) 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。（MFJ公認部品）

●ミッション ●シリンダー ●シリンダーヘッド

- 2) 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。（MFJ承認部品）

●フロントクッション ●リアクッション

●騒音規正を守れ



付則 1

- 3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

Ⅲ. 仕様

車輛は、安全のために下記各項のすべてをみたしていなければならない。

(1) 過給

過給機を取りついたり、また過給したりしてはならない。

(2) ブレーキ

車輛は前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。

(3) リムとタイヤ

車輛は下記に示す呼称寸法以上のリムおよびタイヤを装着しなければならない。

●前輪

クラス	リ ム		タ イ ヤ	
	最小寸法	幅	最小寸法	幅
	インチ	mm	インチ	mm
50cc 90cc			2.00	50.8
125cc	2.00	38	2.50	63
250cc	2.00	38	2.50	63
350cc	2.25	40.5	2.75	70
500cc	2.25	40.5	3.00	75
750cc	2.50	47	3.25	83

●後輪

クラス	リ ム		タ イ ヤ	
	最小寸法	幅	最小寸法	幅
	インチ	mm	インチ	mm
50cc 90cc			2.00	50.8
125cc	2.00	38	2.50	63
250cc	2.25	40.5	2.75	70
350cc	2.25	40.5	3.00	75
500cc	2.50	47	3.25	83
750cc	2.50	47	3.50	90

(注) タイヤのビードは、ワイヤ入りビードでなければならない。

(4) ハンドル・バー

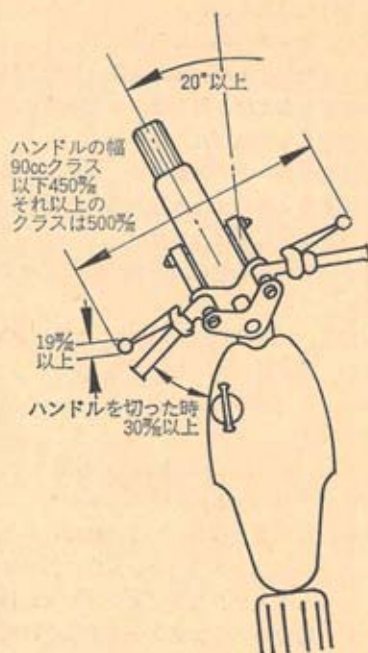
- 1) ハンドルの端から端までの幅は 500mm 以上でなければならない。

ただし、90ccクラス以下に限り 450mm 以上であればよい。

- 2) 中心線または中央位置の両側に対するハンドルの回転角度は20度以上でなければならない。

(5) ハンドル・バーのクリアランス

- 1) ハンドル・バーのいかなる位置においても、またいかなるその付属品をも含めて、ハンドル・バーの先端部と流線形覆い（カウリング）とのクリアランスは50mm以上でなければならない。
- 2) ハンドルの回転角度を左右いっばいに切ったとき、ライダーの指をはさまないように、ハンドル・バーと燃料タンクとの間に最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取りつけないといけない。〔第1図〕



〔第1図 ハンドルの回転角度、
ハンドルの幅、
ハンドルを切ったときのタンクとの間隔〕

(6) クラッチおよびブレーキ・レバー

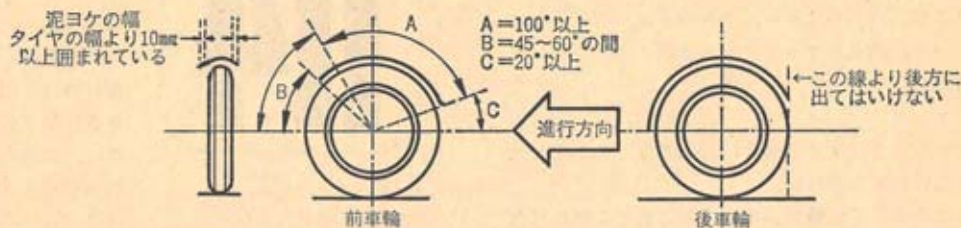
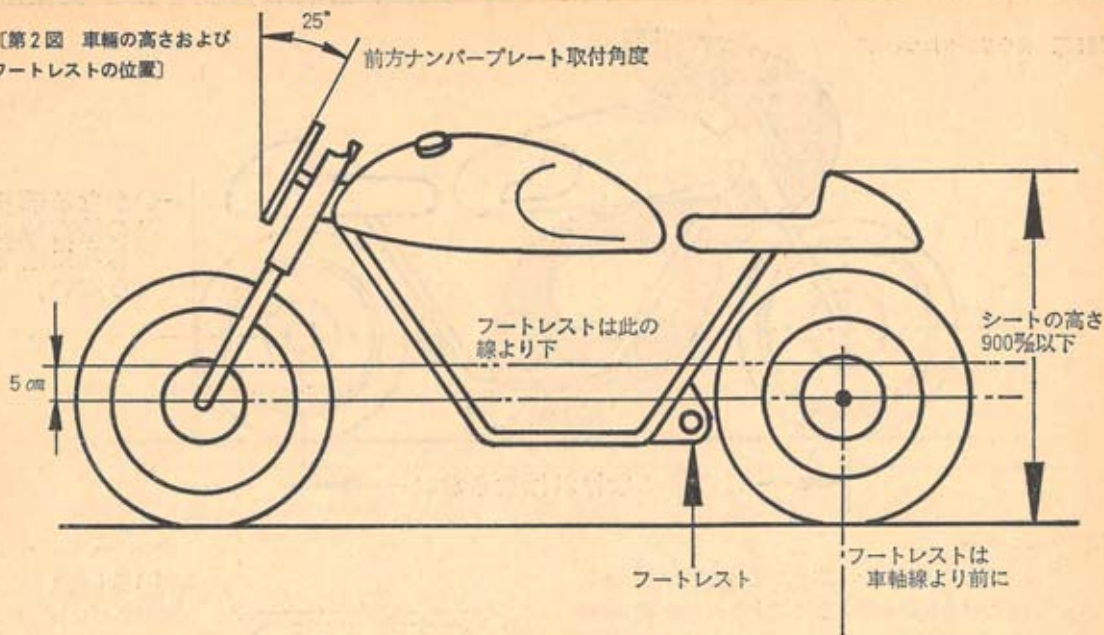
ハンドルに取りつけられるクラッチ・レバーおよびブレーキ・レバーは、その末端が球状に作られ、その球（レバーエンドボール）は直径19mm以上で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。

(7) フートレストおよびペダル

- 1) フートレストは、前後車輪の中心を通過する線の50mm上方より下側に、そして後輪の中心を通過する垂線の前側になるように取付けられ、どのコントロール・ペダルも容易に操作出来る位置になければならない。

- 2) フートレストおよびペダル類の先端の角は安全上丸められ、とがっていない。

〔第2図 車輻の高さおよびフートレストの位置〕



〔第3図 フェンダーの規正（角度）〕

(8) 車輻の高さ

車輻が無負荷の場合、シートあるいはこの後方の部分が地上900mm以上の高さであってはならない。

〔第2図参照〕

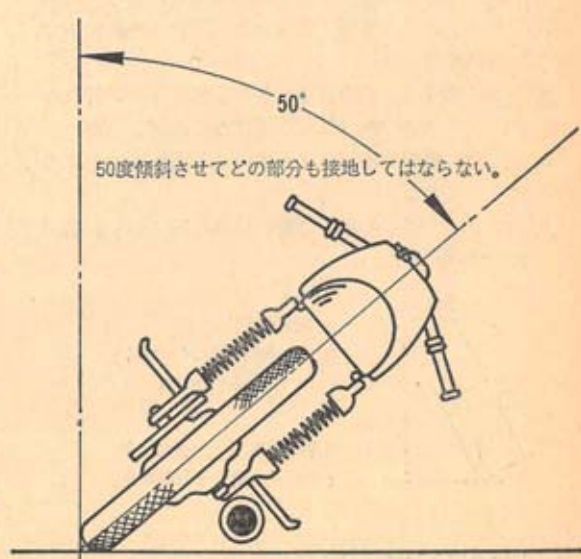
(9) 排気管

すべての排気は側方に開口のない管により後方に行なわれねばならない。その排気管は車輻の進行方向になるべく平行でなければならない。また後輪最後端垂線より突出してはならない。排気管はほこりを立てるように排出されたり、いかなる状態でも後続車のライダーに迷惑を与えるように排出されてはならない。

余剰オイルの排出装置は、排気ガス流の内に出たり後続ライダーに迷惑を与えたりしないように作られていなければならない。

(10) 車輻の傾斜角

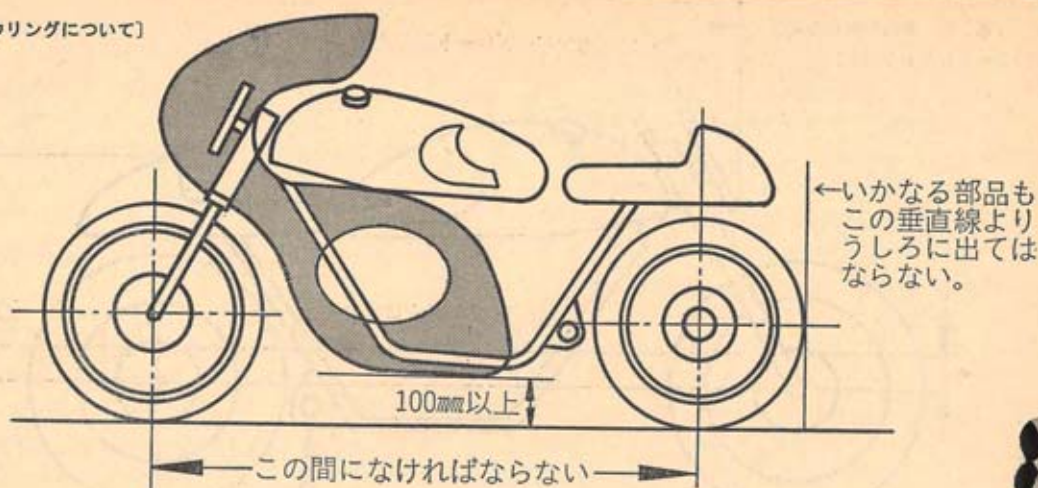
無負荷の場合、車輻はタイヤを除き、どの部分も接地することなく垂線に対して50°傾斜させることが可能でなければならない。〔第4図〕



〔第4図 車輻の傾斜角度〕

付則 1

〔第5図 カウリングについて〕



01 フェンダー

フェンダーは、前後とも取りのぞいてもかまわない。取りつける場合は第3図に示すとおり確実に装備しなければならない。

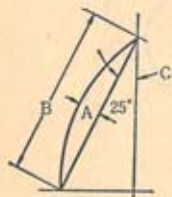
02 取りはずさなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、チェーンケース、およびキックアームは取りはずさなければならない。

03 カウリング

カウリングを使用する場合は以下の条件をそなえたものでなければならない。

- 1) タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。
- 2) 前後輪の車輪を通る垂線の間になければならない
- 3) カウリングの下端と地面との間隔は100mm以上でなければならない。
- 4) ライダーは、普通に乗車した状態で両前膊部以外は、上方、後方、両側面から見えないなければならない。
- 5) 上記の適用を避けるために透明な物質を使用することはできない。
- 6) カウリングの前端部の形状は第6図に示す範囲でなければならない。



A : 25mm以下
B : 230mm (ナンバーの高さ)
C : ナンバーの取付角度

〔第6図カウリングおよびその前面の丸みと傾斜角度〕

04 レースナンバープレート

- 1) ナンバープレートの大きさ

ナンバープレートは、左図に示す大きさのものでなければならない。



〔第7図 ナンバープレートの大きさ〕

2) 取り付け方法

ナンバープレートは1枚は車輻の前面に、前向きに、垂直から25度の角度をつけて取り付け(大きさは第7図の限りではない)、車輻の両側面にも各1枚垂直方向にとりつけなければならない。

3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

プロダクション——白地に黒文字

ノービス部門——白地の黒文字

ジュニア部門——黄地に黒文字

国際A級部門——赤地に白文字

4) ナンバーの字体および寸法

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

ナンバーの寸法は、高さ200mm、巾25mmとする。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

誤読されないよう書体には注意

わるい書体の例



陰つきの花文字なども不可



- 05 後輪の可視範囲
後輪のリムは後輪の垂直線の後部円周 180 度にわたって明瞭に見えなければならない。
- 06 部品の最後端
いかなる部品も後輪最後端垂線よりうしろに突出してはならない。
- 07 エンジンのドレーンボルト類はかならずワイヤーロックを施さなければならない。
- 08 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

〔4〕 プロダクション出場車輛

プロダクション出場車輛（以下車輛という）は市販レー

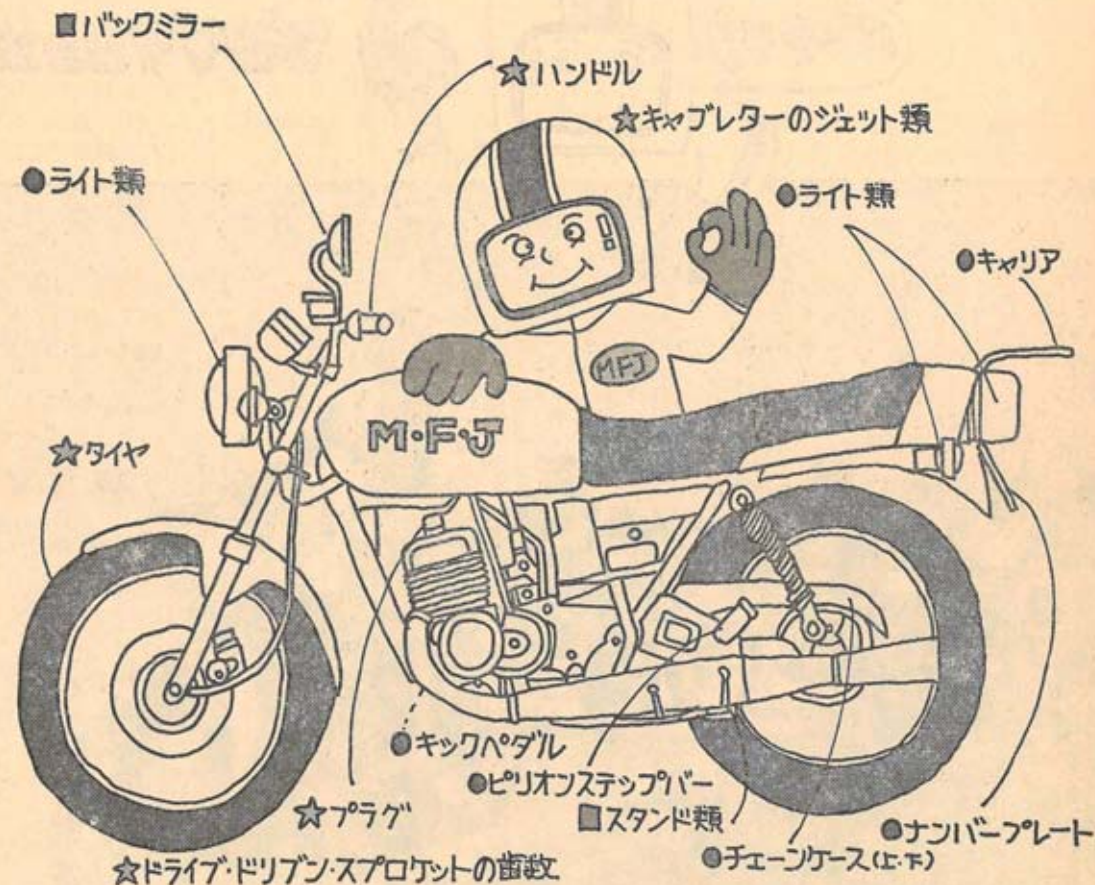
サーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJ が公認したものでなければならない。なお、車輛のクラス区分は〔3〕I に示す通りとし、開催種目および運用は特別規則に示される。

I. 改造の限度

(1) 変更してもよい部品

- 1) キャブレターのジェット類。ただしキャブレター本体の改造、変更は出来ない。
- 2) ハンドル。ハンドル幅は 500mm 以上とし、グリップおよび取り付け位置はトップブリッジより上とする。分割型であったり、危険な構造であってはならない。なおハンドルをいっばいに切ったとき、ライダーの指をはさまないようにハンドルおよびレバー

●一般市販車がレーサーになる。プロダクション部門車輛改造



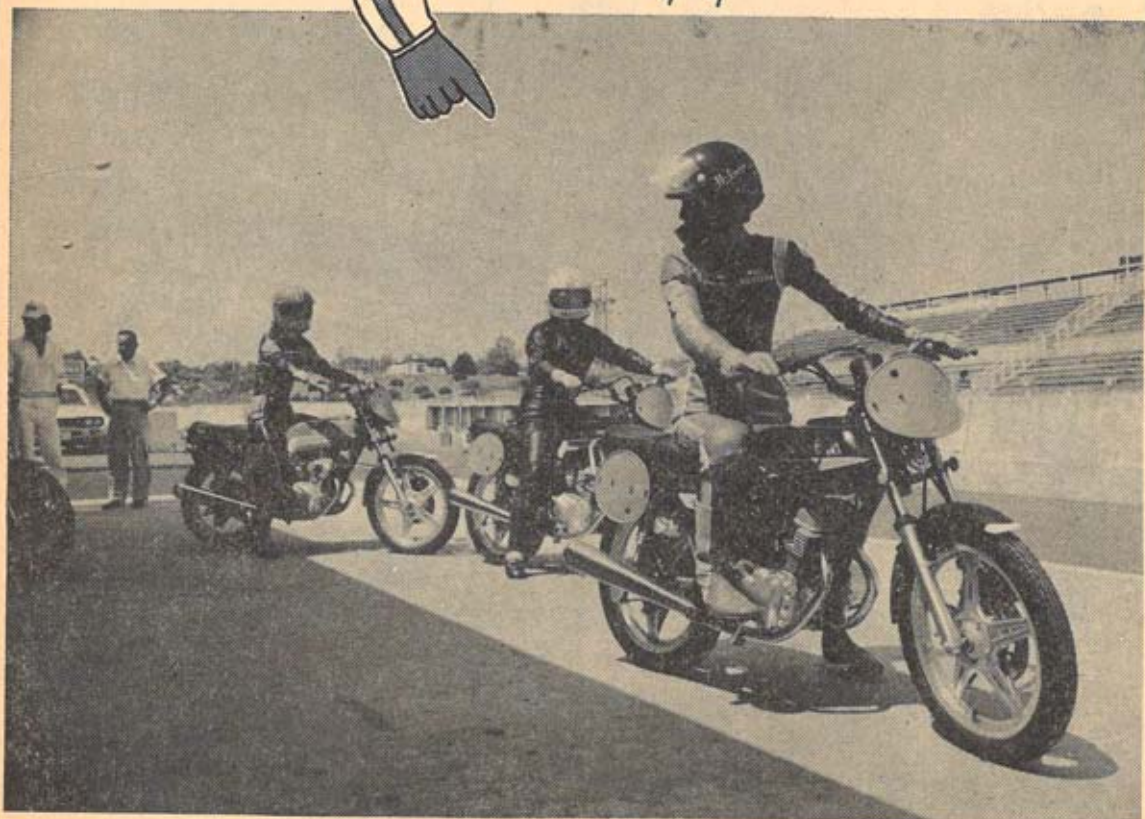
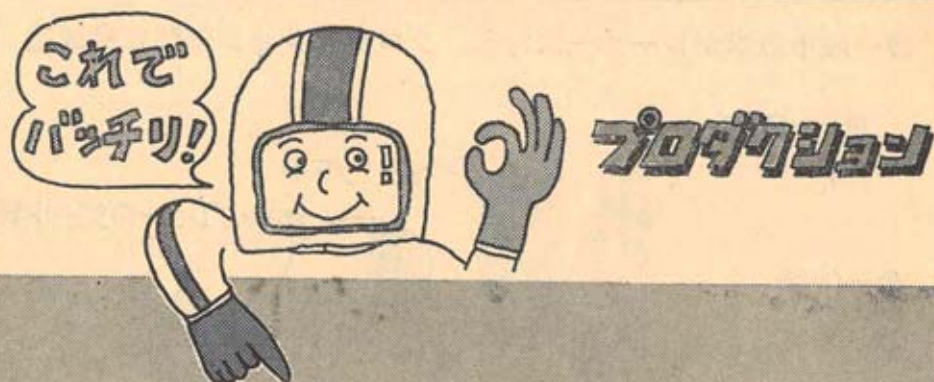
☆変更してもよい部品 ●取りはずしてもよい部品 ■取りはずさなければならぬ部品

と燃料タンクの間に最低30mmの間隔を確保するために、止め具か他の装置を必ず取り付けなければならない。(28ページ第1図参照)

- 3) スパークプラグ
 - 4) ドライブおよびドリブン・スプロケットの歯数。
ただしチェーンサイズの変更およびレーシングチェーンの装着は出来ない。
 - 5) タイヤ。タイヤは市販の公道走行用のタイヤに限り変更することが出来る。ただし、その車輛の諸元
に示されるサイズの変更は出来ない。
- (2) 取り外してもよい部品
ライト類およびヘッドライトケース、ヘッドライト
ステー、キャリア、チェーンケース上下、ピリオンス

テップバー、キックペダル、ナンバープレートおよび
支持ステー、メーター類。なおライト類を取り外さない
場合はテープを貼るなど、レンズ類の飛散防止処置
を施さなければならない。

- (3) 外さなければならない部分
バックミラー、スタンド類。
- (4) 取り付けなければならない部品
競技用ナンバープレート(ナンバープレートに関する
規定は〔3〕Ⅲ(4)に示す通りとする)。エンジンのド
レーンボルトのワイヤーロック。
- (5) 上記(1)~(4)の各項に示された部品以外は、いっさい
変更、改造をおこなってはならない。

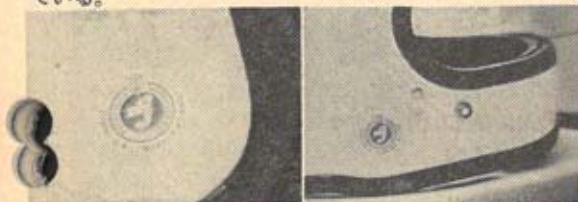


〔5〕 ライダーの装備

I. ヘルメット

ヘルメットは、日本工業規格 JIS T8133の2種、USA S. I. STANDARD Z 90-1-1966、またはそれ以上の性能を有するもので、MFJまたはFIMが公認し、主催者の検査に合格したものでなければならない。

MFJの公認したヘルメットには認証マークが貼付されている。



この認証マークがないとレースには出場できない

II. ゴoggles

ゴーグルは破損した場合ガラスが鋭く割れない安全なガラスが使用されたものでなければならない。枠は柔軟なもの、または危険でないものでなければならない。

III. ライダーの服装

- (1) ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。
- (2) 皮製のレーシングスーツ、皮製の手袋、あみあげ用具製止め具（外部に突出しているフック等）のないピッタリしたレザーブーツ（あるいは着脱容易な膝までおおわれた革製脚絆）を着用しなければならない。

〔6〕 公式予選（オフィシャル・プラクティス）

I. 公式予選の日程

- (1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- (2) 公式予選の日程および時間は特別規則に示される。

II. 公式予選の内容

- (1) レースに出場するすべてのライダーは、かならず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
- (2) 公式予選においては、競技役員による車輛の安全上のチェックがなされた後、一台ごとにスタートし、与えられた時間を任意に走行することができる。与えられた時間内であれば走行を中断し、または再スタートすることができる。
- (3) 公式予選では、走行中のライダーは常にラップタイムが測定されており、ベスト・ラップタイムがはなはだしくおとるものは、たとえ定員以内であっても出場資格を与えられない場合がある。
- (4) 公式予選において測定された各ライダーの最高ラップタイムにより、特別規則に示されるレース出場台数を

を限度としてスタート位置が決められる。最高ラップタイムが同じ場合は次のラップタイムによる。

- (5) 各クラスの公式予選義務周回数は、3周以上とする。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
- (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。

〔7〕 レース

I. スタート位置

- (1) 各クラスともレースのスタート位置は、各ライダーに与えられている車番とは関係なく最高ラップタイムによって決定される。
- (2) レースにおけるスタート位置の発表は、公式予選の終了後、審査委員会がおこなう。

II. チーム

チーム参加の場合のチーム編成、チーム競技の成立等は特別規則に示す。

III. スタートまでの行動

- (1) スタートまでの行動は原則として次の時間割によるスタート 約60分前 給油およびレース前車輛チェック開始、終了後ただちに待機区域に入る。待機区域コースへ誘導。

スタート	15分前	ウォーミングアップ開始
"	5分前	スタート位置整列
"	3分前	エンジン停止
"	2分前	表示 メカニック離れる
"	1分前	表示
"	30秒前	表示
"	10秒前	表示

スタート 緑色シグナルまたは国旗にて表示

- (2) 決められた時間以外にエンジンを始動させてはならない。

IV. スタート

- (1) スタートは、原則として、押しがけによる同時スタートとする。
- (2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- (3) スタートの合図は原則としてシグナル・ランプによっておこなわれる。ただし特別の理由により旗によっておこなわれることがある。

V. ビット

ビットとは車輛の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業をおこなう目的のためにライダーに与えられた区域のことである。

付則 1

VI. ビットイン

- (1) ビットインする時は、ビット前のコース上に区画された減速地帯、即ちイエローラインとホワイトラインの間を減速走行し、他の車が走行できる通行余地を残して車輻をビットに近づけて停車し、エンジンを必ず停止しなければならない。
- (2) 審判員の指示または危険回避以外の目的でイエローラインをカットして走ってはならない。
- (3) 自分のビットを通り越した時はエンジンを停止した後、ビット審判員の承認を得た上で戻ることができる。

VII. ビットアウト

ビットアウトする際は、必ず審判員の合図を確認し、車輻を自力で押しがけしてスタートさせ、減速地帯を走行し、コースの内側を走行しながら次のコーナーを通過しなければならない。

VIII. ビット作業

- (1) レース中における車輻の修理、調整、部品交換は、ビットに準備してある部品と工具によって行ない、必ずエンジンは停止しておこななければならない。
- (2) ビットに準備してある部品、工具による作業は、正規にビットインした車輻に対してのみおこなうことができる。
- (3) エンジンアッセンブリーおよびフレームアッセンブリーを交換してはならない。また当該アッセンブリーをビットに持込んではいない。
- (4) ビット区画内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、ただちにきれいに掃除しておかなければならない。

IX. ビット作業人員

- (1) ライダーはその車輻のメカニックを2名まで持つことができる。
- (2) レース中にビットインし、エンジンを停止した車輻に対しての作業は、2名のビット要員と、その車輻のライダー、計3名だけに限られる。
- (3) ライダーに対するビット要員のレース中の合図は、大会役員の使用する合図用旗にまぎらわしいものであってはならず、また「ビット区画」のみで合図を送ることができる。
- (4) ビット作業をおこなう者はすべて登録し、参加の申請がなされた者で、ビット保険に加入した者でなければならない。年齢は、16歳以上であること。
- (5) メカニックは開催期間中を通じてどの大会役員の指示にもしたがわなければならない。
- (6) メカニックが守らなければならないことに違反した時は、そのメカニックの担当のライダーが責任を問われ、ペナルティが課せられる。

X. レースの終了

各レースの終了はチェッカーフラッグによりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時(注1)であり、チェッカーフラッグ・マーシャルが指定位置より退場したことにより示される。

(注1) 原則的にコースの1周を1kmにつき1分として定められる。

〔8〕 優勝者、入賞者、完走者および順位

I. 優勝者

各レースにおける優勝者は、レースの総距離を最短時間で完走したライダー、または定められた時間内に最も長い距離を走破したライダーである。

II. 入賞者および順位の優先順序

- (1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- (2) レース終了時点でゴールラインに達しない走行中の完走者。
- (3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- (4) 上記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。

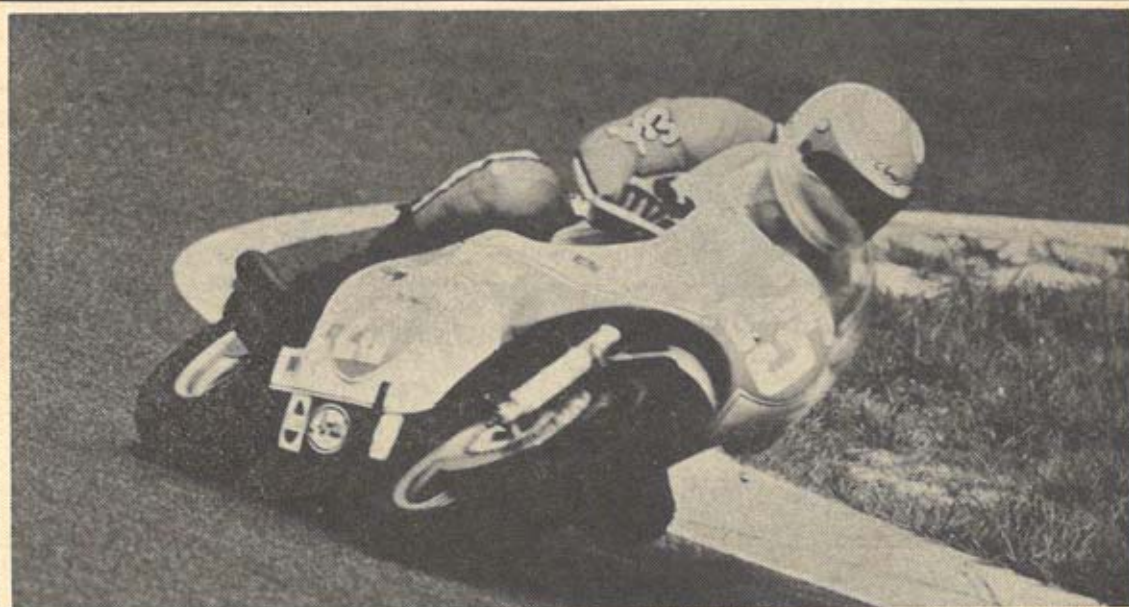
III. 完走者

- (1) 各クラスのレースとも、優勝者の80%以上の周回数を完了したライダーが完走者である。
- (2) レース途中でリタイア届を提出したライダーでも、完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。



ロードレース

'80全日本選手権大会特別規則



心機一転、350ccから750ccに乗り換え国際A級のチャンピオンを射止めた水谷勝選手

目 次

- | | |
|--|------------------------------|
| [1] 開催競技会の日程、名称、主催、
開催場所、出場申込み期間……………36 | [19] ライダーの変更……………42 |
| [2] 運営実行組織……………39 | [20] 出場車輛の変更……………42 |
| [3] 公式通知、タイムスケジュール……………39 | [21] 公式予選……………42 |
| [4] 開催種目……………39 | [22] 決勝レース出場台数……………42 |
| [5] 競技内容……………39 | [23] スタート……………42 |
| [6] 参加定員……………40 | [24] スタート反則……………43 |
| [7] 参加資格……………40 | [25] レース……………43 |
| [8] 出場申込み……………40 | [26] レース中の合図……………43 |
| [9] 出場料および保険料……………40 | [27] 停車指示……………43 |
| [10] 参加受理……………40 | [28] 棄権（リタイア）と停止……………44 |
| [11] 賞およびポイント……………40 | [29] レース終了……………44 |
| [12] レース出場車輛……………40 | [30] 優勝者、入賞者、完走者および順位……………44 |
| [13] 競技者番号（ナンバー）……………40 | [31] レース終了後の車輛の保管と再検査……………44 |
| [14] ライダーの装備……………41 | [32] レースおよび大会の延期中止等……………44 |
| [15] ガソリンおよびオイル……………41 | [33] 抗議……………44 |
| [16] ピット割当て……………41 | [34] 違反に対する罰則……………44 |
| [17] 出場受付……………41 | [35] 本規則の解釈……………44 |
| [18] 車輛検査……………42 | [36] 本規則の施行……………44 |

ロードレース

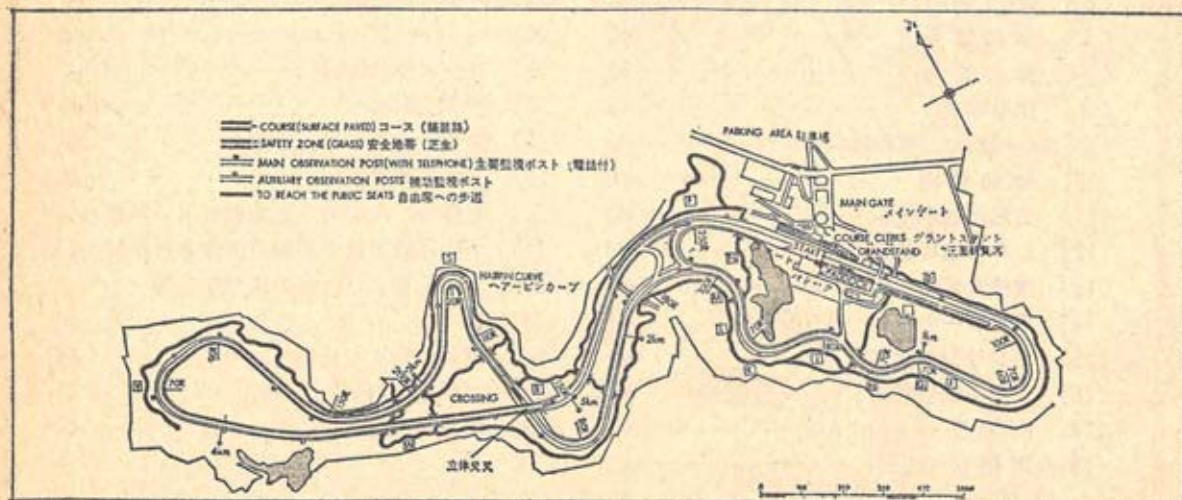
本競技会シリーズは、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則に従い開催される。本特別規則は、1980年度全日本選手権シリーズ全戦に適用される。

〔1〕 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

日 程	大会名称	主 催	開催場所	出場申込み期間
2月24日(日)	全日本選手権シリーズ第1戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑 波	1月11日(金) ? 1月24日(木) 消印有効
3月8日(土) 9日(日)	全日本選手権シリーズ第2戦 鈴鹿2&4	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ㈱ホンダワールド内 代表 藤井璋美 ☎ 0593(78)1455	鈴 鹿	1月26日(土) ? 2月9日(土) 消印有効
3月16日(日)	同 上 P25, P250, N125, N250, J125	同 上	鈴 鹿 西コース	同 上
4月16日(土) 6日(日)	全日本選手権シリーズ第3戦 菅生ロードレース大会	菅生スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランド菅生内 ☎ 022483-3111	菅 生	2月22日(金) ? 3月6日(木) 消印有効
4月19日(土) 20日(日)	全日本選手権シリーズ第4戦 鈴鹿ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎513 ㈱ホンダワールド内 代表 藤井璋美 ☎ 0593(78)1455	鈴 鹿	3月8日(土) ? 3月21日(金) 消印有効

開催場所

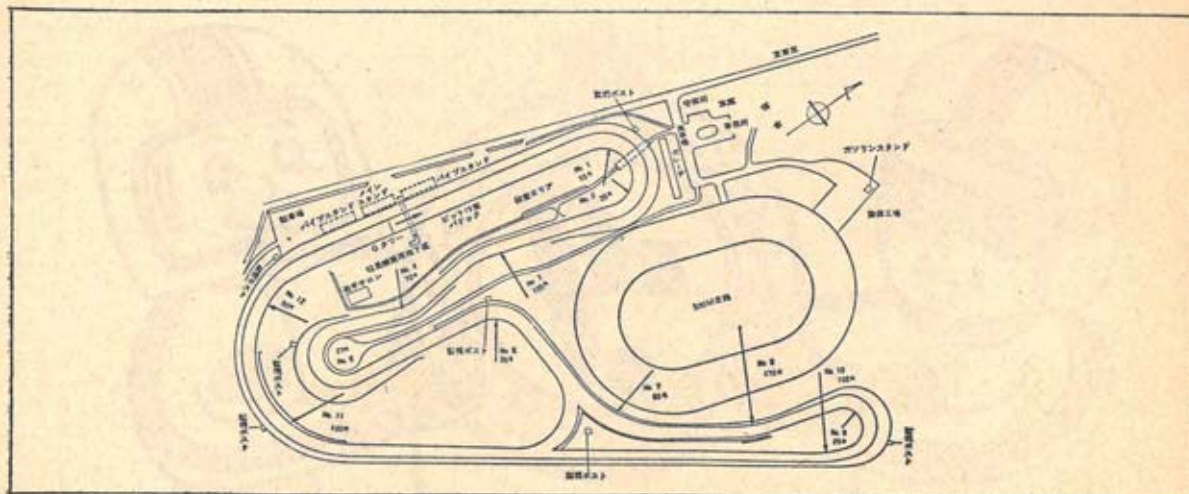
第2戦、第4戦、第6戦、第10戦（GP）鈴鹿サーキット（全長6,004mのクロードサーキット）



左ページよりつづく

5月18日(日)	全日本選手権シリーズ第5戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑波	4月5日(土) ? 4月18日(金) 消印有効
6月7日(土) 8日(日)	全日本選手権シリーズ第6戦 鈴鹿200マイル ロードレース大会	テクニカルスポーツ 三重県鈴鹿市住吉町6786 ☎512 特ホンダワールド内 代表 藤井球美 ☎ 0593(78)1455	鈴鹿	4月25日(金) ? 5月8日(木) 消印有効
6月29日(日)	全日本選手権シリーズ第7戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑波	5月16日(金) ? 5月29日(木) 消印有効
7月12日(土) 13日(日)	全日本選手権シリーズ第8戦 菅生ロードレース大会	菅生スポーツクラブ 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎989-14 スポーツランド菅生内 ☎ 022483-3111	菅生	5月31日(土) ? 6月13日(金) 消印有効
8月10日(日)	全日本選手権シリーズ第9戦 筑波ロードレース大会	日本オートスポーツセンター 東京都港区虎の門2-6-7 ☎105 和孝第10ビル8階3号 ☎ 03(591)6056	筑波	6月27日(金) ? 7月10日(木) 消印有効
9月13日(土) 14日(日)	全日本選手権シリーズ第10戦 第17回日本グランプリ ロードレース大会	日本モーターサイクル協会(MFJ) 東京都中央区銀座1-9-12 ☎104 西山興業東銀座ビル ☎ 03(561)8566	鈴鹿	7月22日(火) ? 8月4日(月) 消印有効

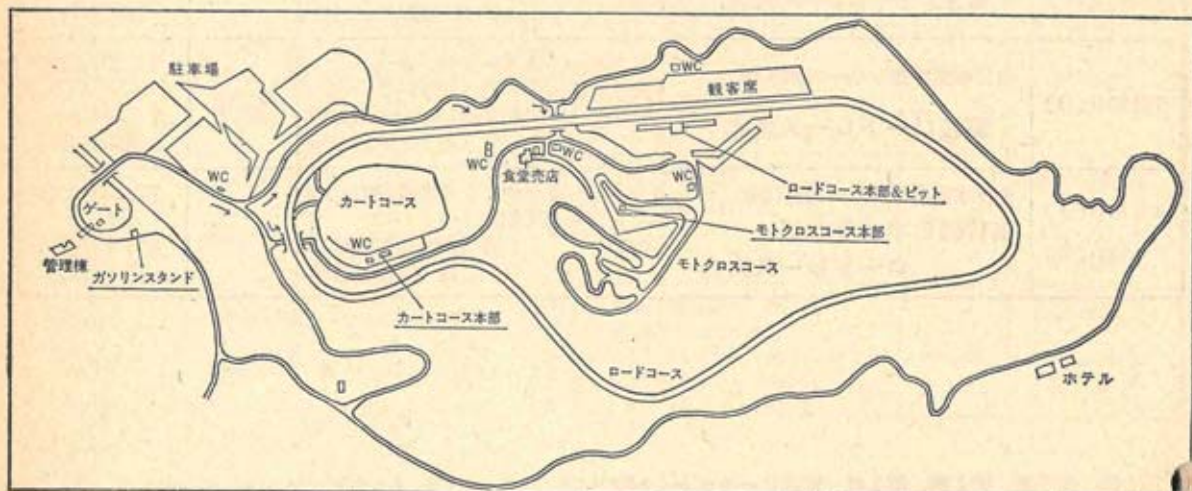
● 第1戦, 第5戦, 第7戦, 第9戦 筑波サーキット (全長2.045mのクローズドサーキット)



ロードレース

日 程	大 会 名 称	主 催	開催場所	出場申込み期間
5月3日(土)	第7回SUGOビッグ ロードレース大会	菅生スポーツクラブ	菅 生	
7月26日(土) 27日(日)	世界耐久選手権シリーズ第5戦 鈴鹿8時間耐久 ロードレース大会	関ホンダランド・鈴鹿サーキット テクニカルスポーツ	鈴 鹿	5月1日(木) ? 5月31日(土)
10月19日(日)	第8回SUGOビッグ ロードレース大会	菅生スポーツクラブ	菅 生	

第3戦, 第8戦 スポーツランド菅生 (全長2,655mのクローズドサーキット)



〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

〔3〕 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

〔4〕 開催種目

(1) 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記の通りである。



(2) 第4戦、第6戦を除く全大会にはプロダクションレースが併催される。ただし、プロダクションレースは全日本選手権の対象とはならない。プロダクションレースのクラス区分は下記の通りである。

クラス	最小排気量	～	最大排気量
125cc	91cc	～	125cc
250cc	126cc	～	250cc

〔5〕 競技内容

レース区分は下記の通りである。ただし、参加台数、天候等の都合により変更される場合は公式通知に示される。周回数等の変更の場合も同様である。

<第2戦：鈴鹿>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
① 3月8～9日 開催	ジュニア	250cc	17周	14周
		350cc		
	国際A級	250cc 350cc 750cc		
	スーパーバイク			
② 3月16日 西コース 開催	ノービス	125cc 250cc	12周	10周
	ジュニア	125cc	15周	12周
	プロダクション	125cc 250cc	10周	8周

<第1戦、第5戦、第7戦、第9戦：筑波>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノービス	125cc	15周	12周
②	ノービス	250cc	15周	12周
③	ジュニア	125cc	15周	12周
④	国際A級	125cc	18周	15周
		250cc		
⑤	ジュニア	350cc	18周	15周
	国際A級	350cc 750cc		
⑥	プロダク ション	125cc	10周	8周
		250cc		

<第4戦、第10戦(GP)：鈴鹿>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノービス	125cc	10周	8周
②	ノービス	250cc	13周	10周
③	ジュニア 国際A級	125cc	12周	10周
		250cc 350cc		
④	国際A級	250cc	15周	12周
		350cc		
⑤	国際A級	350cc	17周	14周
		750cc		
⑥	プロダク ション	125cc	8周	7周
		250cc		

(注) 第4戦の国際A級は125ccのみ開催

<第6戦 200マイル：鈴鹿>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノービス	125cc	10周	8周
②	ノービス	250cc	13周	10周
③	ジュニア 国際A級	125cc	12周	10周
		250cc 350cc		
④	国際A級	250cc	100マイル (27周)	22周
		350cc 750cc		
⑤	スーパーバイク			

ロードレース

<第3戦, 第8戦: 菅生>

区分	部 門	クラス	周回数	完 走 周回数
①	ノービス	125cc	20周	16周
②	ジュニア 国際A級	125cc	20周	16周
③	ノービス ジュニア 国際A級	250cc	25周	20周
④	ジュニア 国際A級	350cc	30周	24周
	国際A級	750cc		
⑤	プロダク ション	125cc 250cc	15周	12周

[6] 参加定員

参加定員は定めない。

[7] 参加資格

- (1) 参加者およびライダーは、1980年版MFJ国内競技規則・総則[4] (19頁)に合致していなければならない。
- (2) プロダクションレース出場者はBライセンス(ロード)を所持していればよい。

[8] 出場申込み

- (1) 申込み場所 申込み場所は各主催者の住所とする。
- (2) 出場申込み
 - 1) 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入し、出場料および保険料を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - 2) 2クラス以上に出場を申込み場合は別々に申込み書を作成しなければならない。
 - 3) 郵送の場合は現金書留とし、締切日当日の消印のある者までが有効となる。
 - 4) 電話による申込みおよび締切日以後の申込みは一切受けない。

[9] 出場料および保険料

- (1) 出場料およびライダー保険料

(第1戦~第10戦)

出場料 1クラス 6,000円
保険料 1人1口 2,000円(保険額150万円)
ただし2口以上10口までは1口 1,350円

(保険額1口 50万円)

(プロダクション)

出場料 1クラス 6,000円

保険料 1人 1,000円(保険額150万円)

- (2) ビット要員保険料
1人 300円(保険額150万円)

10] 参加受理

- (1) 必要事項のすべてを記入した出場申込み書、必要金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が送られる
- (2) いったん受理された出場料、保険料はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかったもの

- (2) 日本GP大会における賞の規定

- 1) 最優秀クラブ賞は、MFJ公認クラブでそのクラブの全入賞者の得点を合計し、最多得点を獲得したクラブに授与される。
- 2) 最優秀クラブ賞の得点集計は1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点でおこなわれる。
- (3) 全日本選手権ランキングポイント
ポイントは、総則[8]II (20頁)による。なお日本GP大会のポイントには3点が加算される。
- (4) 賞およびポイント制限
賞およびポイントの制限は、総則[8]III (20頁)による。

[12] レース出場車輛

車輛は、付則1[3] (26頁)を遵守しなければならない。

[13] 競技者番号(レースナンバー)

- (1) 国際A級部門のライダーには、付録に示す通り年間指定レースナンバーが割当てられる。
- (2) 他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- (3) ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。
- (4) ナンバーの状態は、車輛検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

- (5) レース中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せずに走行した場合、また間違ったナンバーを装着して走行した場合は、その周回は記録されない。

[14] ライダーの装備

- (1) ライダーの服装、ヘルメットおよびゴグル等は、付則1〔5〕(33頁)による。
 (2) レーシングスーツの色は自由であるが3色以上にするのが望ましい。
 (3) レーシングスーツには、ライダー名を背後のゼッケンナンバーの上に記入することが望ましい。

[15] ガソリンおよびオイル

- (1) ガソリンおよびオイルは総則〔12〕(21頁)による。
 (2) ガソリンの銘柄およびその詳細は公式通知に示される。
 (3) 車輛検査および公式予選中は、パドック内の所定の給油区域内においてガソリンの供給を受けなければならない。

200マイルレースの場合の燃料補給規定

- (1) 燃料タンクは24ℓ以下とする。
 (2) レース中の車輛への燃料補給は、一般市販の携行缶を使用しなければならない。
 (3) レース中の燃料補給の義務回数は、各ヒートとも1回

以上および10ℓ以上とする。

- (4) レース中の燃料補給は、当該チームのメカニック1名が立合い、監督は補給監査委員の指示に従って、少なくとも補給1ラップ前に所定の用紙による給油届を提出することが必要である。補給中はエンジンを停止し、他の作業を併行しておこなうことができない。
 (5) 燃料補給中、ピット要員1名は必ず消火器を持って待機していなければならない。またこぼれた燃料、オイル等はピットに用意されたモップ、オガクズ等を使用してきれいに拭きとらねばならない。
 (6) サーキット、パドックの詳細および燃料補給の取扱いについての説明は、公式通知に示す。

上記に違反した場合は、違反に対する罰則が適用される。

[16] ピット割当て

- (1) 各ピットの使用は、公式通知による。

[17] 出場受付

- (1) 出場受付の時間および場所は、公式通知に示される。
 (2) 定められた時間内に必ず本人が出頭し、運転免許証、MFJライセンス、健康管理カード、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
 (3) 運転免許証を所持していないものは、原則として出場

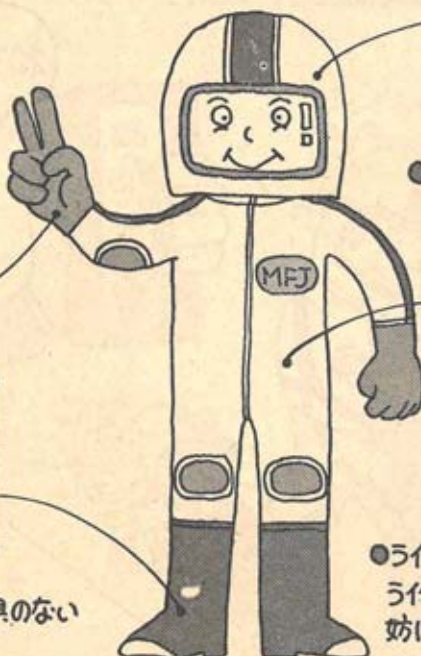
●ライダーの装備

●革製手袋



●レザーブーツ

あみあげ用金具、阻止用具のない
ピッタリしたもの

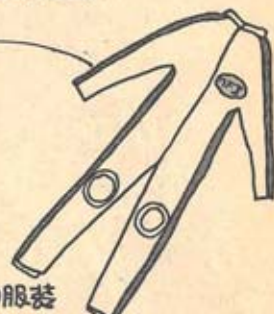


●ヘルメット

MFJ・FIM公認主催者の検査に
合格したもの

●ライダーの服装

ライダーの安全確保の
妨げにならないもの



ロードレース

が認められない。

- (4) MFJライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2000円)を支払い、更にその場でMFJ登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。

なお、後日MFJ事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は全額本人宛返還される。

[18] 車輛検査

- (1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- (2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- (3) 車輛検査受付において、ライダーは、装備品一式および改造申告書を提出しなければならない。
- (4) 車輛検査持込み台数はノービスおよびジュニア部門は出場1レースにつき1台に限定、国際A級部門は2台までとする。
- (5) 車輛検査において、規則または安全上出場が不適当と判断された車輛は、公式予選を含む一切の走行を拒否さ

れる。

- (6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輛検査をおこなうことがある。

[19] ライダーの変更

ライダーの変更は、総則[14](21頁)による。

[20] 出場車輛の変更

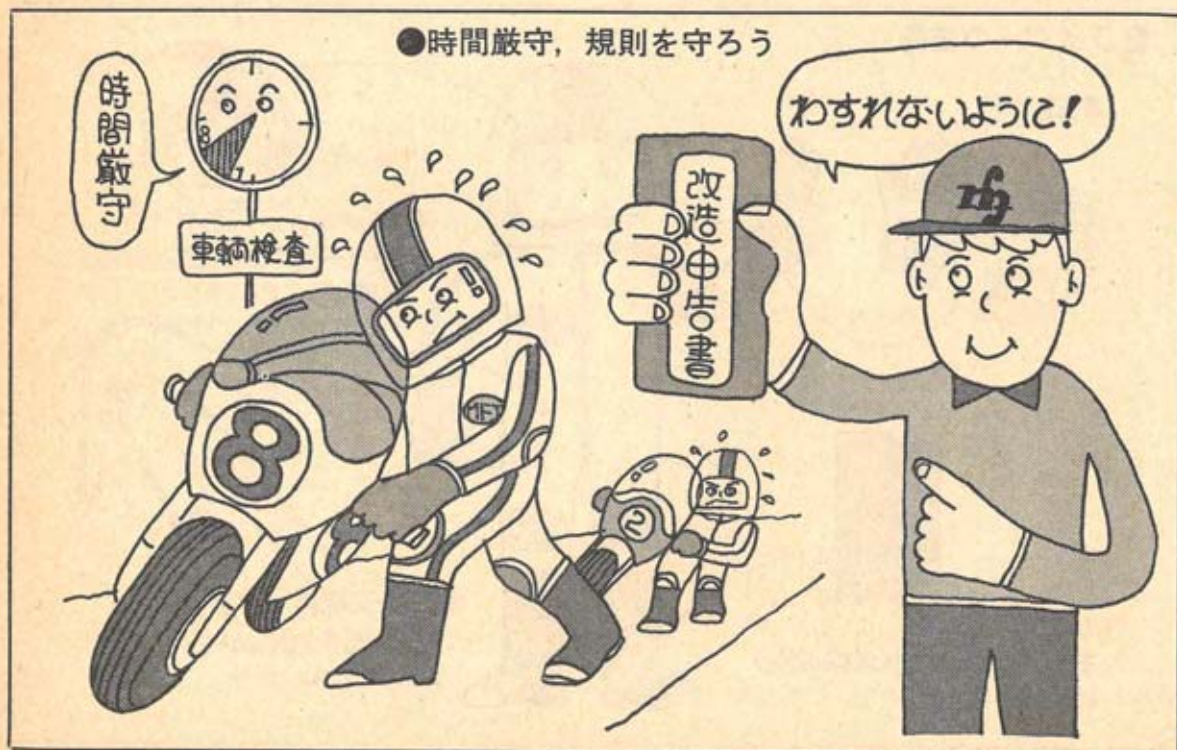
- (1) 車輛の変更は総則[14](21頁)による。
- (2) ただし、車輛変更申請は、同部門、同クラスの車輛に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- (3) 車輛の変更は、公式予選終了後、如何なる理由があっても認められない。

[21] 公式予選

- (1) 公式予選の内容は付則1[6](33頁)による。
- (2) 公式予選の日程および時間は公式通知またはプログラムに示される。

[22] 決勝レース出場台数

- (1) 決勝レース出場台数は、開催場所により原則として次の通りとする。
 - 1) 鈴鹿サーキット・44台まで
 - 2) 筑波サーキット・22台まで



3) スポーツランド菅生・26台まで

[23] スタート

- (1) スタート前のウォーミングアップは、役員の指示にしたがい慎重に安全を確認して所定の区域内を、所定の巡回方向で走行しなければならない。
- (2) バドック内においてはウォーミングアップ走行することは禁じられる。
- (3) スタートまでの行動は、付則1〔7〕Ⅲ(33頁)による。
- (4) スタート2分前の表示が出されたあと、ただちにメカニック、ヘルパーは、所定のスタート区域からコース外へ退去しなければならない。違反したものには罰則が適用される。
- (5) スタートは、付則1〔7〕Ⅳ(33頁)による。
- (6) スタートでエンジンが始動しないライダーは、審判員の指示にしたがって、ピットにレーサーを押し入れ、整備後、再び審判員の指示にしたがって、ピットから再スタートすることができる。

[24] スタートにおける反則

- (1) スタートラインについて車輛およびライダーは、スタート用意からスタート合図がされてスタートが終るまで出発合図の統制下にあり、スタート合図がおこなわれる前に所定の位置から前進したり、あるいはピット要員がスタートの規制にしたがわなかった場合には、スタート審判員によって反則とみなされる。
- (2) スタートにおいて反則を行なった場合、当該ライダーはレース結果に1分を加算するか、1周の減算か、または失格の罰則が適用される。この場合できるだけ速やかに、ライダーのピットに通告されるが、判定に対する抗議は受けられない。

[25] レース

- (1) 走行中の遵守事項は、総則[15](22頁)による。
- (2) コースは右回りの所定の走路とし、如何なる場合でも逆方向、あるいは、規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は失格とする。
- (3) レースまたは予選中、グランドスタンド前直線部分では、前車を追越すために、あるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは許されない。この範囲(区間)はイエローラインが設けられたコース直線部分とする。

200マイルの場合のレース規定

(鈴鹿2&4のスタート方法を含む)

- (1) 1ヒート目のスタートポジションは公式予選の成績に

より定められ、2ヒート目のスタートポジションは1ヒート目の成績により定められる。

- (2) スタートまでの行動は原則として次の時間割による。
 - ① エンジン停止状態でスタートポジション順に入場、各グリッドに整列
 - ② 選手紹介
 - ③ ウォーミングアップのため1周し、3分前にダミーグリッドに整列、エンジン停止
 - ④ 2分前の表示 メカニック退場、エンジン始動開始
 - ⑤ 1分30秒前の表示 エンジン始動完了 ダミーグリッドから正規のグリッドに移動
 - ⑥ 1分前の表示 各正規のグリッドに整列
- (3) スタート合図は国旗(日の丸)が用いられる。3分前、2分前、1分30秒前、1分前を掲示ボードで示し、30秒前、15秒前は場内アナウンスと国旗の保持スタイルによって示される。国旗は5秒前から徐々に上方に掲げられていき、振り下される瞬間をスタート合図とする。
- (4) スタートはエンジン始動のクラッチスタートとする。
- (5) 第1ヒート、第2ヒートともライダーは途中で1回以上ピットインしなければならない。ピットインの際ピットに用意した10ℓの燃料を完全に補給しなければならない。もし1回のピットインで10ℓ全量が補給できない時は、再度ピットインして残量の補給を終了しなければならない。補給に際して故意に燃料をこぼしたり、危険と思われる行為をしてはならない。
- (6) 第1ヒート、第2ヒート間の休憩時間、車輛は一定の場所に保管が義務づけられる。保管中の車輛に対する修理調整等の作業は次に示す手続きが必要である。
 - 1) 大会検査長あてに作業内容(交換部品等を含む)を記した申請書をライダー署名のもとに提出し、検査長の許可を得た範囲のみの作業が許される。
 - 2) 作業は保管区域内で競技役員の監視下でおこなわなければならない。作業が許されるのは当該ライダーと担当メカニック2名だけである。
 - 3) 許可される作業内容は原則として、第2ヒートの安全確保を目的とするものに限られ、タイヤ、ホイール、ブレーキ部品、チェーン、ショックアブソーバー、ペダル、フートレスト、操作レバー類の交換が含まれる。
 - 4) エンジン、クラッチ、ミッション等のアッセンブリ交換は禁止されるが、部品交換は検査長の許可があれば許される。

[26] レース中の合図

- (1) レース中の合図は、総則[16]Ⅲ(22頁)による。
- (2) 赤旗の使用は、コントロールライン上において、競技総監督、または競技総監督の命を受けた代理役員のみ

ロードレース

に限られる。

[27] 停車指示

- (1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車輛について、競技総監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じ、あるいはレースから除外することができる。この決定に対する抗議は受付られない。
- (2) 天災、大事故等不慮の事態が発生した場合は、競技総監督は、赤旗によって全車に対し、その場に停止を指示することができる。

[28] 棄権（リタイア）と停止

- (1) リタイアと停止は、総則[16]IV（23頁）による。
- (2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイア届を提出できないときは、審判員の判定により、リタイアと認めることができる。
- (3) ピット以外の地域でリタイアする場合、ライダーは車輛をレース（または予選）終了までコース審判員の管理下におかなければならない。ただし、審判員から車輛移動を指示された場合は、これに従わなければならない。
- (4) 車輛を押してピットに帰る場合は必ずコース両サイドのいずれか片側のグリーンゾーンを歩くこと。
- (5) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。

[29] レース終了

- (1) 各レースの終了は、チェッカーフラッグによりトップのライダーがゴールインしたのち次の時間を経過したときである。

鈴鹿サーキット	4分間
筑波サーキット、スポーツランド菅生	2分間

[30] 優勝者、入賞者、完走者および順位

優勝者、入賞者、完走者および順位は付則1[8](34頁)による。

200マイルレースの場合の順位

- (1) 各ヒートの順位により次のポイントが与えられ、第1第2ヒートの合計得点によって、総合順位を決定する。同ポイントの場合は、入賞内容で優位のもの上位としそれも同順位の場合は、第2ヒートの順位で優位のもの上位とする。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
位	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
100	90	85	80	75	70	65	60	55	50	45	40	35	30	25
点	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

6位以下のチェッカーフラッグを受けた

完走者は→20点

その他チェッカーフラッグを受けられなかった

完走者は→15点

完走周回数に達しなかったが10周以上走行した

者は→10点

スタート後1周以上走行したが10周に達しなかった

者は→5点

スタートしなかったか、1周もできなかった

者は→0点

- (2) 完走者は同ヒートの合計周回数により決定される。

[31] レース終了後の車輛の保管と再検査

- (1) チェッカーフラッグを振られた車輛は、所定の位置より役員の誘導にしたがって車輛保管区域へ入らなければならない。
- (2) 上位入賞車輛は騒音測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査をおこなうことがある。
- (3) 上位入賞車輛は暫定結果発表後30分以上保管される。

[32] レースおよび大会の延期中止等

- (1) 大会は本規則に発表した日程を、変更または延期されることはない。
- (2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が、支払った出場料、保険料は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

[33] 抗議

- (1) 抗議は、総則[21]（24頁）による。
- (2) 車輛の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輛の分解等に要した費用は検査長が算定するものとする。

[34] 違反に対する罰則

競技規則の違反行為に対する罰則は、総則[23]（24頁）による。

[35] 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は、事務局あて質疑申立てができる。なおこの解答は大会審査委員会の解釈、決定を最終的なものとして示される。

[36] 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込み受け付け日より有効となる。なお本規則に示されていない事項はMF J国内競技規則による。

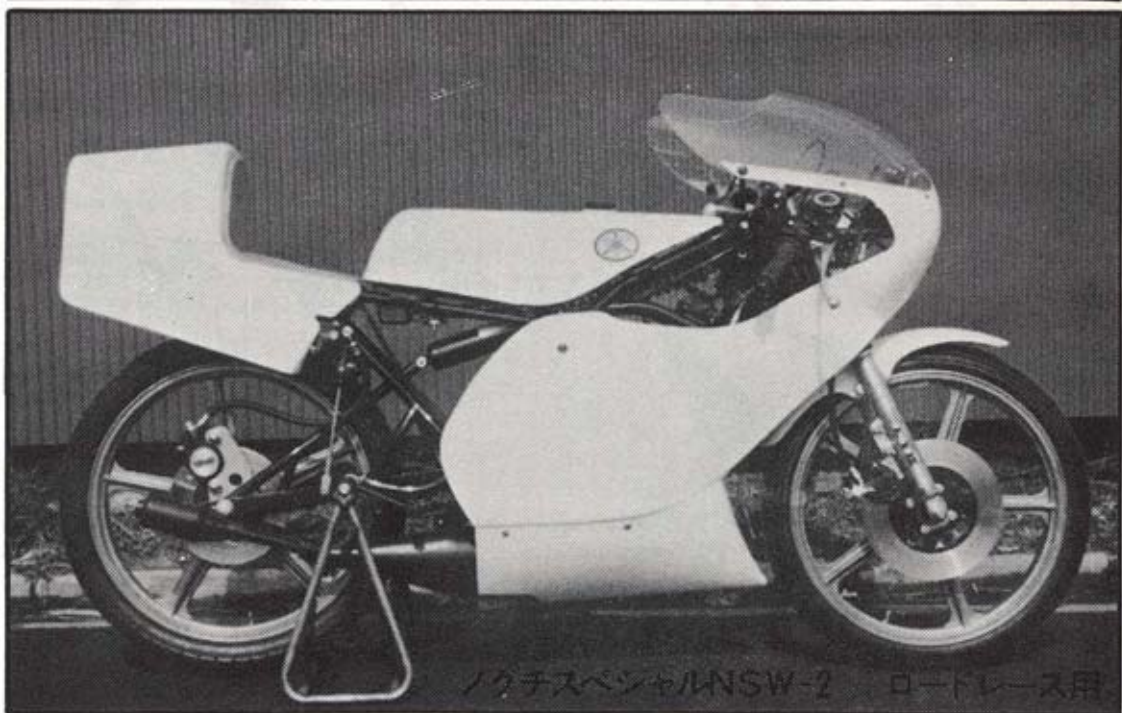
昭和55年1月1日

大会事務局長

M.F.J 公認部品



ノグチスペシャルNSW-1 モトクロス用



ノグチスペシャルNSW-2 ロードレース用

ノグチモーターズ 横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5111(代)

NOGUCHI

MFJ市販届出部品

カワサキオートバイ販売株式会社

兵庫県明石市1番1号 TEL 0798 (923) 1313

フロントフォークアッセンブリー
(250cc.用) 539911-019-R (右)



フロントフォークアッセンブリー
(250cc.用) 539911-019-L (左)

リヤクッションアッセンブリー
(250cc.用) 539911-039-L (左)



リヤクッションアッセンブリー
(250cc.用) 539911-020-R (右)

リヤクッションアッセンブリー
(125cc.用) 779911-500



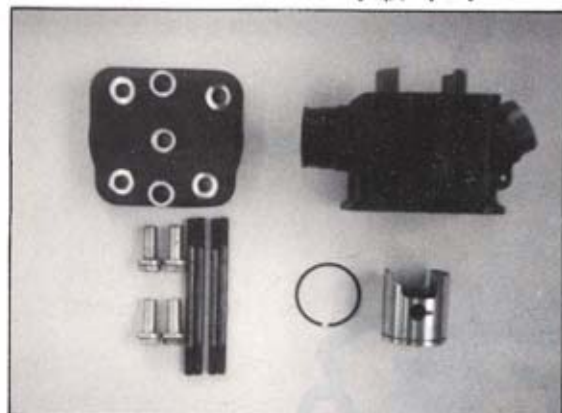
モーターサイクルを愛する人のための

モリワキ

ENGINEERING

NEW100-01
水冷シリンダーヘッド

NEW111-02
水冷シリンダー



NEW401-00
56mmピストン

NEW404-00
56mmピストンリング



¥ 620,000

キットを搭載した
モリワキMT-125Wコンプリートマシン

(有)モリワキエンジニアリング

鈴鹿市南玉垣町6477-1 TEL 0593-82-4500

差、歴然。

鮮烈なカラーと完璧な
メカニズム
美しいシルエット

**INTEGRAL
NAVA 2**
From ITALY



世界チャンピオン片山敬済、
スティーブペーカーをはじめ
数多くのGPレーサーが使用する
インテグラルナヴァ2
——イタリアから。

●カラー：ホワイト・レッド・イエロー
・ブルー・オレンジ・ブラック
SIZE：S・M・L
¥32,000 シールド ¥2,500

「性能抜群！」

段差なんかこわくない
ビカーのショック

フォックス
エア
ショック

¥9,000

オーリン
ガス
ショック

¥63,000

MFJ指定店

ライダーズスポットタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内7-700-1
TEL 0720-74-3268

M F J 公認ヘルメット



株式会社新井広武 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
☎0486-41-3825

〈CLC R-7〉



- カラー/白
 - サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm
59cm~60cm 61cm~62cm
 - JIS 2種 スネル1975
- ¥28,000**

〈M-X〉



- カラー/白・黄・赤・ブルー
 - サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm
59cm~60cm 61cm~62cm
 - JIS 2種
- ¥25,000**

〈S-75〉



- カラー/白・オレンジ・シルバー
 - サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm
59cm~60cm 61cm~62cm
 - JIS 2種 スネル1975
- ¥12,800**

〈CLC RX-7〉



- カラー/白
 - サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm
59cm~60cm 61cm~62cm
 - JIS 2種 スネル1975
- ¥40,000**

〈X-75 レーシングタイプ〉



- カラー/白
 - サイズ/55cm~56cm 57cm~58cm
59cm~60cm 61cm~62cm
 - JIS 2種 スネル1975
- ¥20,000**

〈X-1 ヴィンテージ〉



- カラー/紺に金線、茶に金線
 - サイズ/A・B・C
 - JIS 2種
- ¥19,000**

〈X-75〉



- カラー/白・オレンジ・シルバー
 - サイズ/A・B・C
 - JIS 2種 スネル1975
- ¥18,000**



MFJ公認ヘルメット

昭栄化工株式会社 〒105 東京都港区新橋 2-9-2 鎌田ビル
☎03-502-0301

SHOEI

ショウエイヘルメット

TOMORROW'S HELMETS TODAY FROM SHOEI

ES



- JIS規格2種取得
- カラー/ホワイト・ブラック・シルバー・レッド
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- 価格 ¥16,000

SR-G



- JIS規格2種、スネル規格1975・300G
- カラー/ホワイト・シルバー・ブラック
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- 価格 ¥14,500

ZV



- JIS規格2種(M・F・J公認)スネル規格1975・300G取得
- カラー/ホワイト・シルバー・レッド・ブルー
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- 価格 ¥20,000

EX-2



- JIS規格2種取得
- カラー イエロー・ホワイト
- サイズ S・M・L・XL
- 近日発売

NEW SR-X7



- JIS規格2種取得(M・F・J公認)
- カラー/ホワイト・シルバー・オレンジ
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- 価格 ¥10,500

ZR-T



- JIS規格2種取得(M・F・J公認)
- カラー/ホワイト・シルバー・レッド
- サイズ/S・M・L・XL
- 価格 ¥18,000

GR-Z



- JIS規格2種、スネル規格1975・300G取得
- カラー/ホワイト
- サイズ/S・M・L・XL(4種体4サイズ)
- 価格 ¥40,000

RC-1



- JIS規格2種取得
- カラー/ホワイト・オレンジ
- サイズ/M・L・XL
- 価格 ¥18,900

MFJ-APPROVED HELMET



マルシン工業株式会社 〒124 東京都葛飾区四ツ木五丁目9-6
☎03-693-5791

《MV-1》



- カラー/白・黒・シルバー
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置 (キズが付きにくい超硬度)
- スネル1975年規格認定
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥20,000

《MV-1DX》



- カラー/白・シルバー
- サイズ/S・M・L
- AR・BODONシールド装置 (キズが付きにくい超硬度+くもりどめ)
- アゴヒモ本皮
- スネル1975年規格認定
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥28,000

《MV-75》



- カラー/白
- サイズ/S・M・L
- AR・BODONシールド装置 (キズが付きにくい超硬度+くもりどめ)
- アゴヒモ/ネックパットヘッドクッション本皮
- スネル1975年規格認定
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥40,000

《インディー500(AR)》



- カラー/黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置 (キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥23,000

《GENERAL(AR)》



- カラー/白・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置 (キズが付きにくい超硬度)
- アゴ巾90mm (本格ベルトタイプ)
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥15,800

《DX-DV(AR)》



- カラー/黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置 (キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種 ●MFJ公認
- ★マルシン契約ライダー 佐藤 進選手
愛用デザインヘルメット

¥18,000

《M-450(AR)》



- カラー/白・オレンジ・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L
- ARシールド装置 (キズが付きにくい超硬度)
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥14,000

《M-52》



- カラー/黒・シルバー・白・オレンジ
ブルー
- サイズ/S・M・L
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥10,500

《M-38》



- カラー/白・キャンディーオレンジ・
キャンディーブルー・レモン
イエロー・黒ツヤ消
- サイズ/S・M・L
- JIS規格2種 ●MFJ公認

¥ 9,500



M F J 公認ヘルメット

株式会社コミネオートセンター 〒111 東京都台東区小島2-18-18
☎ 03-862-9811(大)



〈FUJI-800 II〉

- カラー 白/赤/青/緑
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 イタリアン感覚の広視界ウィンドウ
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
 - FRP製
- ¥16,000



〈FUJI-800 II〉

- カラー 白/赤/青/緑
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 イタリアン感覚の広視界ウィンドウ
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
 - FRP製
- ¥16,000



〈FUJI-800 SPECIAL II〉

- カラー シルバーに黒筋、黒に金筋
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 無彩色にカラーリング
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
 - FRP製
- ¥20,000



〈FUJI-800 SPECIAL II〉

- カラー シルバーに黒筋、黒に金筋
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 無彩色にカラーリング
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
 - FRP製
- ¥20,000



〈FUJI-120〉

- カラー 白、オレンジ(スタンドカラー)
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 運動性と安定性が抜群
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
 - FRP製
- ¥12,500
- カラー ルーミナス白、ルーミナスオレンジ
- ¥14,500



〈FUJI-500〉

- カラー 白、オレンジ
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 強いシェルに優れた内装
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
- ¥12,500
- カラー メタリックレッド
- ¥13,500
- カラー ルーミナス白、ルーミナスオレンジ
- ¥14,500



〈RT-201〉

- カラー ルーミナス白、オレンジ
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 コミネ特許のイヤークール付
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 縁はゴム ●第二種規格合格
- ¥11,700
- スタンドカラー 白、オレンジ
- ¥9,500

〈RT-200〉

- カラー 白、オレンジ
 - サイズ S・M・L・LL
 - 特長 FRP製のシェットアイブ
 - アゴヒモ 高級牛皮
 - S・SGマーク付
 - 第二種規格合格
- ¥9,500
- カラー ルーミナス白、オレンジ
- ¥11,500

MOBILITY PLAZA
KOMINE
コミネオートセンター

●総合カタログは 〒111 東京都台東区小島2-18-18 コミネオートセンター
TEL(03)862-9811世へお申し込みください。送料共¥700。

MFJ-APPROVED HELMET



クノー工業株式会社

東京都品川区西五反田7丁目22番17号
☎ 03-494-3371-6

《ウベックスチャンピオン》



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M
L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥20,000

《ウベックスモンテカルロ》



- カラー/白
シルバー
- サイズ/S・M
L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥18,000

《ウベックスレーシングジェット》



- カラー/白・黒
- サイズ/S・M
L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥13,000

《ウベックストライアル》



- カラー/白
- サイズ/M・L
- JIS 1種 ●MFJ公認

¥9,000

《KH-100》



- カラー/白・シルバー・黒
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥15,000

《KH-808》



- カラー/白
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥12,000

《KH-56》



- カラー/白・オレンジ
- サイズ/S・M・L・LL
- JIS 2種 ●MFJ公認

¥8,500



MFJ公認ヘルメット

メット工業株式会社

〒136 東京都江東区北砂 6-12-14

☎ 03 (645) 2545

《F-1》



- カラー/白・オレンジ・黒・ブルー
グリーン・ゴールド
シルバー・レッド
 - サイズ/S・M・L
 - JIS1種 MFJ公認
- ¥11,000**

《FR-1》



- カラー/白・オレンジ・黒・ブルー
グリーン・ゴールド
シルバー・レッド
 - ボードンシールド装着
 - サイズ/S・M・L
 - JIS1種 MFJ公認
- ¥12,500**

《ジェットタイプ K-2》



- カラー/白・オレンジ・黒・ブルー
グリーン・ゴールド
シルバー・レッド
 - サイズ/S・M・L
 - JIS1種 MFJ公認
- ¥ 8,000**

《K-70》



- カラー/白・黒・ブルー・グリーン
ゴールド・シルバー・レッド
 - サイズ/S・M・L
 - JIS1種 MFJ公認
- ¥ 8,000**

MFJ-APPROVED HELMET



製造元 日栄プラスチック株式会社 〒143 東京都大田区大森西1丁目8番3号 販売 ヤマハ発動機(株)部品部
☎03-762-2421



〈FS-100〉

- カラー / 白・グレイ
イエロー・
オレンジ
 - サイズ / S・M・L
 - JIS種 / MFJ公認
- ¥9,600**



〈CS-500〉

- カラー / 白・グレイ
イエロー・
オレンジ
 - サイズ / S・M・L
 - JIS種 / MFJ公認
- ¥6,900**

JEB'S日本総代理店 日新通商株式会社

〒104 東京都中央区京橋3-6-15 第2吉井ビル3F
☎ 03-567-1770



〈JEB'S ジェットタイプ〉

- カラー / 白・黒・赤
 - サイズ / S・M・L
 - バイザー付
 - S SG/MFJ公認
- ¥17,000**



GPA日本総発売元 ユニコ

〒106 東京都港区狸穴町47 麻布東急B-15
☎ 03-585-4767



〈GPAフルフェイスタイプG1〉

- カラー / 白・シルバー
黒・ブルー
レッド
 - サイズ / 55cm~60cm
 - JIS種 / MFJ公認
- ¥35,000**



〈GAP ジェットタイプ〉

- カラー / 白・シルバー
黒・ブルー
レッド
 - サイズ / 55cm~60cm
 - JIS種 / MFJ公認
- ¥23,000**



間に一閃、伝説のレンズカットが映えるランプの名門。マーシャル。
●2輪用ヘッドランプユニット ●専用リムを使用

MARCHAL
MADE IN FRANCE

いま、ヒーローの予感。
極東からモーターサイクリストに
世界のトップブランドラインアップ。

テクニックが駆ける。マシンが追従する。
人車一体の緊張感、そこに寸分のスキもゆるしません。
ライダーよ、優れた選択眼を持って
極東がお届けするのは世界のトップブランドばかり。
モータースポーツの、すべてをフォローします。

MFJ承認部品

F-1の実績が生きるショック
・アブソーバーの代名詞。コニー。
●各車種適合あり

KONI
MADE IN HOLLAND



世界のサーキットを席巻したマグホイール。
カンパニョーロ。
●ホンダ、カワサキ、ススキのロードレース用

Campagnolo
MADE IN ITALY
新製品 近日発売



翼の素材"レキザン"採用。空気力学
結晶。NOLAN

NOLAN
MADE IN ITALY



N-31

モトクロスの新著
スコットゴーグル&プラスチックブーツ
●ゴーグル ●フェイスガード

SCOTT
MADE IN U.S.A.



スペースライダー

新製品 近日発売



MFJ承認ヘルメット



ジェット

ライディング機能を追求した
ファッションブルなウェア。
マルコム・スミス。
●ホンダ、ヤマハ、カワサキ、ススキ

malcolm smith
MADE IN U.S.A.



ミニジェット

トータルなドレスアップ印象の
シルエット。ヴェッター。
●フェイスガード ●ヘルムユニット、
取付金具付) ●カラー(ホワイト/
ブラック)シルレー

vetter
MADE IN U.S.A.



ウインドジャマーIV



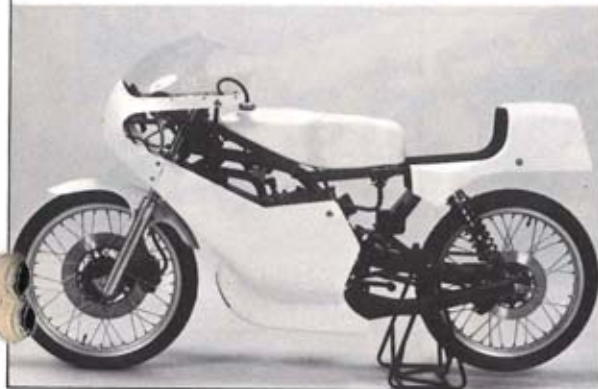
クイックシルレー

近日発売

●この広告に関するお問合せは下記へ……
日本総代理店 **FET.** 極東

営業所: 札幌・仙台・小山・東京・名古屋・大阪・広島・福岡
〒157 東京都世田谷区千歳台4-30-11 ☎03(484)3179

〔RS125R-W〕



MT 125 Rで得た多くの技術を盛り込み新たに設計した鋼管ダブルクレードル型フレームに新型ENGを搭載し使い易さと、より一層の高速性能の安定度を増して新発売。尚入門クラス用空冷RS125Rも同時発売。

〈主要諸元〉

●全長×全巾×全高 (mm)	1865×510×1035
●シート高 (mm)	677
●軸間距離 (mm)	1,270
●車輻重量 (kg)	72.5
●燃料タンク容量 (ℓ)	10.3
●エンジン型式	水冷2サイクル単気筒 ピストン・リードバルブ
●総排気量 (cc)	122.6
●最高出力 (ps/rpm)	31以上/11500
●最大トルク (kg/rpm)	1.94/11300
●点火方式	C.D.I
●ミッション	6速
◎価格 (水冷) 鈴鹿RSC渡し	590,000円
(空冷) "	480,000円

〔TL200R-II〕



好評を得たTL 200 Rに新型ENGを搭載、超低速性能をその儘受け継ぎ高速性能を充実、ハイテクを必要とするセクションにも信頼してトライする事が可能です。

〈主要諸元〉

●全長×全巾×全高 (mm)	1990×820×1110
●シート高 (mm)	725
●軸間距離 (mm)	1,314
●車輻重量 (kg)	84.5
●燃料タンク容量 (ℓ)	3.0
●エンジン型式	空冷4サイクル単気筒
●総排気量 (cc)	197.7
●最高出力 (ps/rpm)	12.1/6000
●最大トルク (kgm/rpm)	1.59/4000
●点火方式	C.D.I
●ミッション	6速

◎価格 鈴鹿RSC渡し 450,000円

尚上記以外にRCB1000/RS1000エンジンAssyおよびパワーUP KIT各種並びにMT125R、水冷KITパーツ等を取扱って居ります。詳しくは下記に問合せ下さい。

株式会社 **ホンダ・アール・エス・シー**

三重県鈴鹿市稲生町7992
TEL <0593>-(78)-1231

パーツのヨシモト RACING PARTS SERVICE

ロードレーサーオリジナルパーツ

軽量ハンドルバー



TZ 250・350

¥ 6,000

軽量ハンドルバー



TZ 125・MT 125R

¥ 6,000

チェンジリンク



TZ 250・350 ¥ 4,000

MT 125R ¥ 4,000

ABS樹脂ステップパー



TZ 125・250・350

¥ 4,000

ABS樹脂ステップパー



MT 125R・RS 125R

¥ 4,500

レーシングシート



125クラス・ラバー付

¥ 15,000

TZ 250・350

- 軽量カウリング ¥ 35,000
- 軽量カウリング (レンズ付) ¥ 48,000
- 軽量シート (ラバー付) ¥ 15,000
- カウリングレンズ ¥ 6,000
- マグホイール F215・R250・275・R300 各1組 ¥ 120,000
- アルミカウリングビス ¥ 150
- レーシングスタンド ¥ 6,000

MT 125R

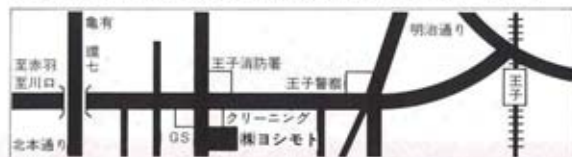
- 水冷用カウリング ¥ 25,000
- " レンズ付 ¥ 36,000
- アンダーカウリング ¥ 17,000
- 12ℓ入りタンク ¥ 22,000
- アルミスイングアーム ¥ 43,000
- アルミアクスカラー ¥ 3,000
- アルミスティアリングステム ¥ 18,000
- TOGASHI製 クランクベアリング ¥ 1,300
- カウリングレンズ ¥ 13,000
- マグホイール ¥ 10,000
- アルミカウリングビス ¥ 350
- 125用レーシングスタンド ¥ 6,000

水曜日定休

◎営業時間=10:00AM~8:00PM

- レーシングマシンの修理・改造・補強等を行っています。
- 中古TZ・MTレーシングマシンの買入・販売を致しております。
- 各レーシングパーツをクレジットで販売致しております。
- レース開催日にはパーツサービスをしています。
- 通信販売は住所・氏名・TEL・品名を記入の上送料¥500同封して下さい。

● なお価格の変更がある場合はご了承下さい。



ヨシモトステッカーセット ¥ 150 送料 ¥ 60

(株)ヨシモト レーシングパーツ部

〒114 東京都北区王子4-23-8 ☎03(913)4675

モトクロス

- モトクロスズボン ¥50,000より
- モトクロスグローブ ¥5,000より
- 〃 オオーダー ¥7,000より
- モトクロスブーツ ¥20,000より
- ストライプ ¥5,000より
- カラーデザイン ¥5,000より

オーダー専門店

あなたを守るサトウのスーツ



ロードレース

- 牛革ソフト最高級品 ¥80,000より
- 腹性小牛最高級品 ¥120,000より
- セバレーツ(上下分割可) ¥6,000高
- カラーデザイン ¥5,000より
- ストライプ ¥5,000より
- 膝カップ入り ¥5,000高
- 文字(ゴシック体) ¥400
- (筆記体) ¥600
- (カナ、漢字) ¥700
- 二重文字 ¥600~1,000より
- ゼッケンNo. ¥1,000より
- ロード用ブーツ一色 ¥18,000より
- 〃 カラー ¥20,000より
- ロード用グローブ ¥5,500より
- 〃 小牛鉄付 ¥6,500より

お申し込み方法

- 住所、氏名、MFJ登録番号を明記の上サイズ記入表をご請求下さい。尚、MFJ登録番号を明記の方は分割払いも可能です。
 - サイズ記入表が皆様方のお手元につきましたら希望コース、身体のサイズを記入し金額の3分の1の金額を同封の上サイズ表を当社にお送り下さい。
 - サイズ表が着きしだい2週間で仕上げまして現品をお送り申し上げます。
 - この時現品は代金引替にてお送り致します。代引金額は金額の3/5です。
 - 現品がお手元に着きましたら30日以内で残金金額をお送り下さい。
- ※現金送金は必ず現金書留をお願い致します。

M. F. J. 指定店

佐藤製作所

東京都墨田区東向島1丁目13番2号
電話 03-611-0039

~~~~~  
※すべての製品オーダーうけたまわります。



苛酷なレースを支える、男のKIT。新発売!



モトクロス・レーサー 鈴木 都良夫  
 スワンスのゴーグルを前から愛用していたが  
 今回、新発売されたレーシング・キットは、  
 傷のつきにくいベロイドレンズ入りゴー  
 グルを始め手入れに必要なパーツがコンパ  
 クトにセットされているので、レース場への持  
 ち運びが大変便利でカッコもグー。スワ  
 ンス・レーシングキットで世界GPに挑戦し  
 ます。ご期待下さい。

スワンスRACING KITは、NOWな  
 センスのハードケース入り。

- Pマークのキズのつきにくいタフなベ  
 ロイドレンズ入りゴーグル1コ(¥3,000)と
- スペアレンズが1枚(¥800) ●使い捨て  
 カバーレンズが10枚(¥2,000) ●真っ赤  
 な柔らかい摩き布が1枚(¥500) ●スプレ  
 ー式のレンズ曇り止めデミスト1本(¥700)
- ハードケース(¥900) ●ワンセット ¥6,500

**SWANS**





## モトクロス規則・目次

- [1] 適用の範囲.....62
- [2] モトクロス.....62
- [3] 出場車輛.....62
- [4] ライダーの装備.....64
- [5] 公式予選  
    (オフィシャルプラクティス).....64
- [6] レース.....64
- [7] 優勝者, 入賞者, 完走者および順位.....65



## MF J 国内競技規則 付則 2

## モトクロス規則

## 〔1〕 適用の範囲

以下に記す規則は、総則と共にすべての国内モトクロス競技会に適用される。

## 〔2〕 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走行方向が急変化する等の地形のところで行なわれるクロスカントリー・レースであり、総則およびこの付則により管理される。

## 〔3〕 出場車輛

車輛は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車輛は出場することができない。

## I. クラス区分

車輛のクラス区分は原則として次のようにわけられ、開催種目および運用は、特別規則に示される。

| クラス   | 最小総排気量 | 最大総排気量 |
|-------|--------|--------|
| 50cc  | —      | 50cc   |
| 90cc  | 51cc   | 90cc   |
| 125cc | 91cc   | 125cc  |
| 250cc | 126cc  | 250cc  |
| 500cc | 251cc  | 500cc  |

## II. 改造の限度

## § 1. 国際A級部門

車輛の銘柄型式は制限しない。

改造をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 半乾燥重量は下記の最低重量を満していなければな

らない。

1) 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輛重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。

2) 車輛最低重量は次の通りである。

125cc=80kg 250cc=88kg 500cc=95kg

3) ダミーウェイトを装着してはならない。

(2) 騒音は下記の条件を満していなければならない。

1) 車輛には、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていなければならない。

2) 騒音はFIM方式による測定方法で110db(A)以下でなければならない。

3) FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

(3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

## § 2. 国際B級、ジュニア、ノービス部門

車輛は、一般生産型モーターサイクルで、MF Jが公認したものでなければならない。

その銘柄、型式の詳細は公示に示される。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量化、もしくは形状の変更をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 機械的伸長、他の物質の添加または分子構造や金属面に変更をもたらすような処理（焼き入れ等）および材質の変更をしてはならない。

(2) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強等はおこなってもよい。

(3) 異った機種エンジンの、フレームの組み合わせは公認車輛同士に限りおこなうことができる。ただし、小排気量車のフレームと大排気量車のエンジンを組み合わせることはできない。

(4) クランクケース本体やクランクシャフト・アッセンブリーは公認型式のものでなければならない。

1) クランクウェブのバランス穴の充填は認められる

2) ユニット・コントロール(単体構造)エンジンの場合のクランクケース本体とは変速機部分を含むものとする。

(5) 変速機の段数は6段を限度とする。

ただし、クランクケースおよびミッションケース外に変速装置をつけ加えてはならない。

(6) 冷却方式を変更してはならない。

(7) 弁形式を変更してはならない。

(8) 燃料吸入方式を変更（フェーエルインジェクターの



取りつけ等)してはならない。

- (9) 化器の個数は気筒あたり1個を限度とする。  
(ダブルベンチエリーの場合は2個とみなす)

00 半乾燥重量は下記の最低重量をみたしていなければならない。

- 1) 半乾燥重量とは、走行可能な状態から燃料を抜いた車輻重量をいう。ただし、分離給油式の場合のオイルは燃料とみなす。

2) 車輻最低重量は次の通りである。

90cc=73kg 125cc=80kg 250cc=88kg

3) ダミーウェイトを装着してはならない。

01 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

1) 車輻は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。

2) 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。

3) FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

02 構成部品

1) 下記部品はMFJが公認したものでなければならない。

●ミッション ●シリンダー ●シリンダーヘッド

2) 下記部品はMFJに市販届出申請を行ない承認されたものでなければならない。

●フロントクッション ●リアクッション

3) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

### § 3. プロダクション

(1) 車輻は市販レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示に示される。

(2) 変更してもよい部品。

- |                     |             |
|---------------------|-------------|
| 1) ハンドルおよびその附属品     |             |
| 2) コントロール・ケーブルワイヤー類 |             |
| 3) タイヤ              | 4) フートレスト   |
| 5) フェンダー            | 6) シート      |
| 7) 消音器の内部           | 8) エアクリーナー  |
| 9) 点火プラグ            | 10) メインスイッチ |
| 11) ベダル類            | 12) スプロケット  |
| 13) チェンケース          |             |

(3) 取りはずさなければならない部品。

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1) スタンド類           | 2) キャリア類 |
| 3) タンデム・フートレスト     |          |
| 4) 車輻番号標板(ブラケットごと) |          |

5) バックミラー

6) ライト類およびガラス類(ただし、レンズおよびライト類の飛散防止を施せばよい)

(4) とりつけなければならない部品。

- 1) レースナンバープレート
- 2) ハンドルレバーエンド

(5) 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

1) 車輻は、有効かつ外見で判断しうる消音器が装着されていないなければならない。

2) 騒音はFIM方式による測定方法で、110db(A)以下でなければならない。

3) FIM方式とは排気管後方0.5m、後方45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークの場合11m/s、2ストロークの場合13m/sでエンジンを回転させているときの騒音を測定する方法をいう。

(6) 上記、(2)(3)(4)の各項に記載された部品以外は一切変更改造をおこなってはならない。

### III. 仕様

(1) 排気管および消音器

1) 規定の騒音規制値を満足していなければならない

2) その長さは後輪後端を通る垂直線より突出してはならない。

(2) タイヤ

タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

(3) 過給

過給器を取付けたり過給したりしてはならない。

(4) クラッチとブレーキレバーおよびベダル

1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。

2) ブレーキベダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただしその先端は安全上丸められていなければならない。

(5) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキをそなえていなければならない。

(6) フェンダー

前後車輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

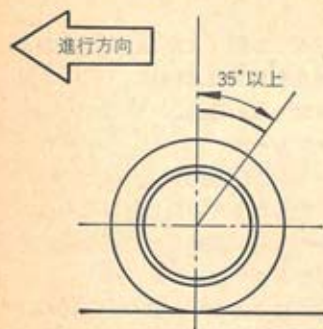
特に後輪はその後部上四半分の上側から35°以上覆われていることが望ましい。〔第1図参照〕

ただし、前輪フェンダーについては、主催者が認めればとりはずしてもよい。

(7) 取りはずさなければならない部品。

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、およ





〔第1図 後輪のフェンダーの角度〕

びチェーンケース（プロダクションのみチェーンケースはこの限りではない）は取り外さなければならない。

(8) レースナンバープレート

1) ナンバープレートの大きさ  
ナンバープレートは、第2図に示す大きさのものでなければならない。

2) 取り付け方法

ナンバープレートは、車輻の前面に1枚を前向きに、車輻の両側面に各1枚を垂直方向に取り付けなければならない。

3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次の通りである。

- プロダクション——白地に黒文字
- ノービス部門——白地に黒文字
- ジュニア部門——黄地に黒文字
- 国際B級部門——緑地に白文字
- 国際A級部門——赤地に白文字

4) ナンバーの字体

ナンバーの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。角ばった字体や斜体であってはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

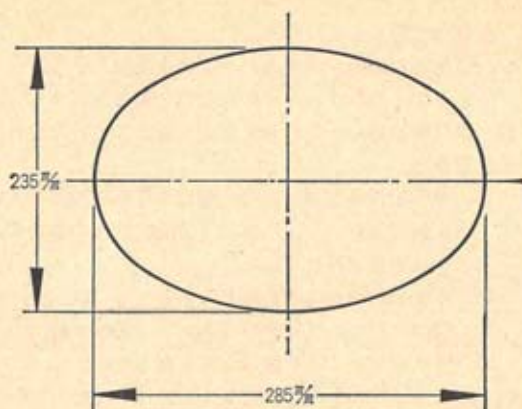
わるい書体の例 陰つきの花文字なども不可

(9) 他のライダーに危険および迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

〔4〕 ライダーの装備

I. ヘルメット

ヘルメットは、MFJ普及型ヘルメット規格以上の性能を有するもので、MFJまたはFIMが公認し、主催者の検査に合格したものでなければならないが、日本工業規格JIS T8133の2種、USA S. I, STANDARD Z90—



〔第2図 レースナンバープレートの大きさ〕

1—1966、と同等以上のものが望ましい。

MFJの公認したヘルメットには、MFJ認証マークが貼付されている。

II. ゴoggles

ゴogglesおよびマスクの使用は規定しない。

III. ライダーの服装

- (1) 服装はレース中ライダーの身体の安全を確保し、操縦技術を妨げるものであってはならない。
- (2) 下半身は皮製または革と同等以上の耐摩耗性耐熱性を有する材質のズボンを着用しなければならない。
- (3) 上衣は特に規制しないが、安全で自由な動作をさまたげず、丈夫なものを着用しなければならない。
- (4) 皮手袋、突出部品のない革、または革と同等以上の材質をもつ靴を着用しなければならない。

〔5〕 公式予選

I. 公式予選の日程

- (1) 公式予選は原則として各クラス別におこなわれる。
- (2) 公式予選の日程は特別規則に示される。

II. 公式予選の内容

- (1) そのクラスの出場申込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選がおこなわれる。
- (2) 公式予選は、原則として特別規則に示される周回数レースによっておこなわれる。
- (3) 決勝進出台数は特別規則に示される。

〔6〕

I. スタート位置

レースにおけるスタート位置の決定方法は特別規則に示される。

II. スタートまでの行動

- (1) ライダーは、特別規則に定められた時間割りを厳守



しなければならない。

- (2) ライダーは、レース直前のチェックの後、車輻とともに指定区域内に待機してなければならない。
- (3) エンジンのウォーミングアップは特別規則にきめられた時間内でおこなわれなければならない。

### III. スタート

- (1) スタートの方法については、原則として各部門ともエンジンランニングスタートとし、その際、かならずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。

ただし、スターティングマシンを使用する場合は上記の待機姿勢をとらなくてもよい。

- (2) スタート位置は、すべて正規のスタートラインからなされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップはいっさい考慮されない。
- (3) スターティングマシンが使用される場合は、車輻の位置は原則としてスターティングマシンの後方の区画内とする。
- (4) スタートの合図は、スタート係が国旗を振ることによって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合はこの限りでない。
- (5) スタート合図以前にスタート・ラインを出たものがあつた場合、すなわちフライングのあつた場合は、スタート・ライン前方において赤旗が振られ、スタート

をやりなおす。

### IV. コースアウト

ライダーは走行中やむをえず、定められたコースを外れ出た場合、再びコースにもどるには同じ地点よりなされなければならない。

### V. レース終了

レースの終了は優勝者の完走後、チェッカーフラッグマーシャルが定位置をはなれること、または大会役員車がコースを一巡することによって示される。

## [7] 優勝者、入賞者、完走者および順位

### I. 優勝者

優勝者は、規定のレース時間および周回数を最短時間で完走したライダーである。

### II. 入賞者および順位の優先順序

- (1) 入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走車の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- (2) レース終了時までゴールラインに達しない走行中の完走者。
- (3) 完走周回数をまっとうしたのち、リタイアした者。
- (4) 上記以外の者については周回数の多い者を優先する

### III. 完走者

各レースにおいて、優勝者の80%以上の周回数を完了してチェッカーを受けたライダーが完走者である。

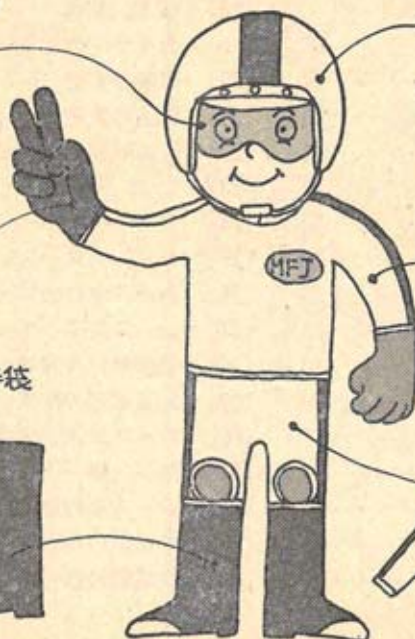
### ●ライダーの装備

●ゴーグル・マスクの使用の規定はしない



●革製手袋

●革靴  
突起部のないもの



●ヘルメット  
MFJ・FIM公認  
検査合格のもの



●身体の安全  
摩耗・擦傷を  
防がないもの

●耐摩耗性・耐熱性のもの



# モトクロス

## 全日本選手権大会特別規則



国際A級125cc、250ccの2クラス制覇で2年連続チャンピオンとなった光安鉄美選手

### 目 次

|                                            |                         |
|--------------------------------------------|-------------------------|
| [1] 開催競技会の日程、名称、主催、<br>開催場所、出場申込み期間……………67 | [18] 車 輛 検 査……………71     |
| [2] 運営実行組織……………70                          | [19] ライダーの変更……………72     |
| [3] 公式通知・タイムスケジュール……………70                  | [20] 車輛の変更……………72       |
| [4] 開催種目……………70                            | [21] 部品の変更……………72       |
| [5] 競技内容……………70                            | [22] 自由練習および公式練習……………72 |
| [6] 参加定員……………70                            | [23] 公式予選……………72        |
| [7] 参加資格……………70                            | [24] スタート……………72        |
| [8] 出場申込み……………70                           | [25] レース……………73         |
| [9] 出場料およびMJF選手共済組合費…70                    | [26] レース中の合図……………73     |
| [10] 参加受理……………70                           | [27] レース終了……………73       |
| [11] 賞およびポイント……………70                       | [28] 優勝者、入賞者……………73     |
| [12] 出場車輛……………71                           | [29] 入賞車輛の検査……………73     |
| [13] 競技者番号、ナンバー……………71                     | [30] レースおよび大会の延期、中止等…73 |
| [14] ライダーの装備……………71                        | [31] 抗 議……………73         |
| [15] ガソリンおよびオイル……………71                     | [32] レース中の違反行為に対する罰則…73 |
| [16] ピットエリア……………71                         | [33] 本規則の解釈……………73      |
| [17] 出場受付……………71                           | [34] 本規則の施行……………73      |



## '80全日本選手権大会特別規則

本競技会シリーズは、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則に従い開催される。本特別規則は、1980年度全日本選手権シリーズ全戦に適用される。

### 〔1〕 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

| 日 程                | 大会名称                                                | 主 催                                                                 | 開催場所                        | 出場申込み期間                           |
|--------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 3月22日(土)<br>23日(日) | 全日本選手権シリーズ第1戦<br>関東モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催) | 関東信越モーターサイクル協会<br>〒108 東京都港区港南3-3-10<br>東京都軽自動車協会内<br>☎ 03(472)6241 | 茨城県<br>谷田部町<br>谷田部特設<br>コース | 2月22日(金)<br>?<br>3月3日(月)<br>消印有効  |
| 4月5日(土)<br>6日(日)   | 全日本選手権シリーズ第2戦<br>山口モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催) | MFJ西日本スポーツ委員会<br>〒730 広島市松川町3-19<br>㈱広島英油内<br>☎ 0822(61)8386        | 山口県<br>美弥市<br>西日本サー<br>キット  | 3月7日(金)<br>?<br>3月17日(月)<br>消印有効  |
| 4月19日(土)<br>20日(日) | 全日本選手権シリーズ第3戦<br>東北モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催) | MFJ東北スポーツ委員会<br>〒980 仙台市北根字前沢69<br>アイビーモータース内<br>☎ 0222(73)0475     | 宮城県<br>村田町<br>スポーツラ<br>ンド菅生 | 3月21日(金)<br>?<br>3月31日(月)<br>消印有効 |
| 5月10日(土)<br>11日(日) | 全日本選手権シリーズ第4戦<br>鈴鹿モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催) | ㈱ホンダランド鈴鹿サーキット<br>〒510-02 鈴鹿市稲生町7992<br>☎ 0593(78)1111              | 三重県<br>鈴鹿市<br>鈴鹿サーキ<br>ット   | 4月11日(金)<br>?<br>4月21日(月)<br>消印有効 |

#### 開催場所案内

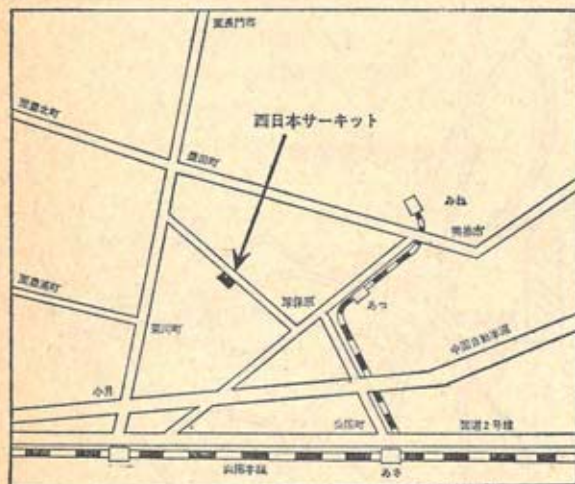
第1戦 ㈱日本自動車研究所内  
谷田部特設コース





# モトクロス

| 日程                  | 大会名称                                                    | 主催                                                                           | 開催場所                                  | 出場申込み期間                           |
|---------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 5月17日(土)<br>18日(日)  | 全日本選手権シリーズ第5戦<br>四国モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)     | MFJ 四国地方本部<br>〒760 高松市西宝町3-11-7<br>岡村秀樹気付<br>MFJ 四国スポーツ委員会<br>☎ 0878(34)1634 | 香川県<br>丸亀市<br>特設コース                   | 4月18日(金)<br>}<br>4月28日(月)<br>消印有効 |
| 7月5日(土)<br>6日(日)    | 全日本選手権シリーズ第6戦<br>札幌モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)     | 北海道モーターサイクル協会<br>〒065 札幌市東区東雁来町52<br>札幌地区軽自動車協会内<br>☎ 011(781)7468           | 北海道<br>留寿都村<br>大和ルスツ<br>スキー場<br>特設コース | 6月6日(金)<br>}<br>6月16日(月)<br>消印有効  |
| 7月19日(土)<br>20日(日)  | 全日本選手権シリーズ第7戦<br>東北モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)     | MFJ 東北スポーツ委員会<br>〒980 仙台市北極宇前沢69<br>アイビーモータース内<br>☎ 0222(73)0475             | 秋田県<br>男鹿市<br>男鹿山牧場<br>特設コース          | 6月20日(金)<br>}<br>6月30日(月)<br>消印有効 |
| 9月7日(日)             | 全日本選手権シリーズ第8戦<br>九州モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)     | MFJ 九州地方本部<br>〒812 福岡市東区箱崎ふ頭2-5-16<br>福岡県軽自動車協会内<br>☎ 092(641)0431           | 福岡県八女<br>郡星野村<br>トレールラ<br>ンド 星野       | 8月8日(金)<br>}<br>8月18日(月)<br>消印有効  |
| 9月20日(土)<br>21日(日)  | 全日本選手権シリーズ第9戦<br>関西モトクロス大会<br>(国際A級2ヒート制) (N地方大会併催)     | 関西モーターサイクル協会<br>〒673 神戸市垂水区玉津町居住67-1<br>兵庫県軽自動車協会内<br>☎ 078(927)7701         | 三重県<br>鈴鹿市<br>鈴鹿<br>サーキット             | 8月22日(金)<br>}<br>9月1日(月)<br>消印有効  |
| 10月11日(土)<br>12日(日) | 全日本選手権シリーズ第10戦<br>第17回モトクロス<br>日本グランプリ大会<br>(国際A級2ヒート制) | 日本モーターサイクル協会(MFJ)<br>〒104 中央区銀座1-9-12<br>西山興業東銀座ビル<br>☎ 03(561)8566          | 三重県<br>鈴鹿市<br>鈴鹿<br>サーキット             | 9月10日(水)<br>}<br>9月23日(火)<br>消印有効 |

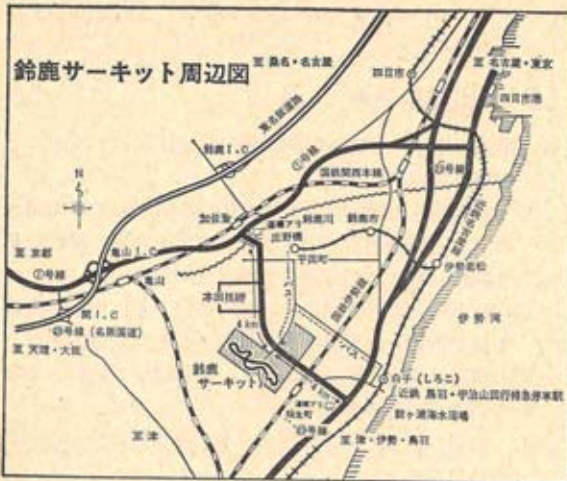


第2戦 西日本サーキット案内図

第3戦 スポーツランド菅生案内図

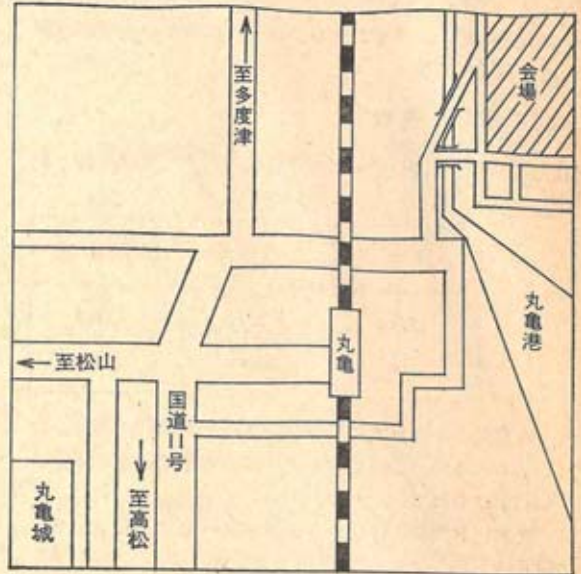




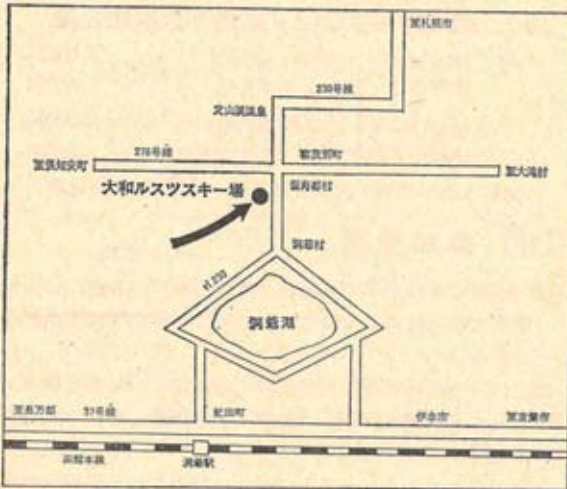


◀第4戦, 第9戦, 第10戦 (GP)  
鈴鹿サーキットモトクロス場案内図

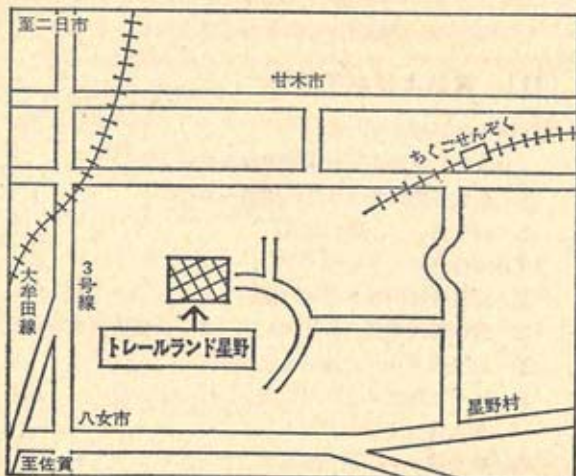
第5戦 丸亀特設コース案内図▼



◀第6戦 大和ルスツスキー場特設コース案内図



第7戦 男鹿山牧場特設コース案内図▲



◀第8戦 トレールランド星野案内図



〔2〕 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

〔3〕 公式通知・タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切後に発送される。

〔4〕 開催種目

(1) 全日本選手権シリーズの競技部門、クラス区分は下記のとおりである。

| 部門  | ジュニア  | 国際B級  | 国際A級  |
|-----|-------|-------|-------|
| クラス | 125cc | 125cc | 125cc |
|     | 250cc | 250cc | 250cc |

(2) 大会により当日または前日にノービス部門の競技がおこなわれるが、この場合のノービス部門には全日本選手権はかけられない。

(3) 日本GP大会にはブロック対抗ノービス選抜レースが(125cc)おこなわれる。

〔5〕 競技内容

|      |        |
|------|--------|
| ノービス | 10分+2周 |
| ジュニア | 15分+2周 |
| 国際B級 | 30分+2周 |
| 国際A級 | 40分+2周 |

(注) 上記競技内容は天候等の都合により、大会審査委員会の決定によって変更される場合がある。

〔6〕 参加定員

定員は定めない。

〔7〕 参加資格

(1) 参加者およびライダーは、MF J国内競技規則、総則〔4〕(19頁)に合致していなければならない。

(2) 日本GP大会の参加資格

- ノービス部門。ブロック対抗ノービス選抜レース(125cc)出場者は、各地方スポーツ委員会により各ブロック4名が推薦される。
- ジュニア部門。9月21日までの全日本選手権シリーズ戦および地方選手権シリーズ戦のポイント合計で各ブロックより125cc、250ccの各クラス上位7名。
- 国際B級部門。9月21日までの全日本選手権シリー

ズ戦において各クラスともランキング上位30名+2名のライダー。

〔8〕 出場申込み

- 申込み場所 申込み場所は各主催者住所とする。
- 出場申込み
  - 各部門とも所定の申込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料およびMF J選手共済組合費(通称MF J保険)を添えて提出しなければならない。
  - 2クラス以上に出場を申込み場合でも、申込み書は1枚でよい。ただし2クラス以上出場を記載すること
  - 郵送の場合は現金書留とし、締切当日の消印のあるものまでが有効となる。
  - 締切日以後の申込みおよび電話による申込みは一切受け付けない。

〔9〕 出場料およびMF J選手共済組合費

|                  |                           |        |
|------------------|---------------------------|--------|
| J, 国際B級、<br>国際A級 | } 出場料(保険料込み)<br>(2クラス目より) | 5,000円 |
|                  |                           | 4,000円 |
| 併催ノービ<br>ス地方大会   | } 出場料(保険料込み)<br>(2クラス目より) | 5,000円 |
|                  |                           | 4,000円 |

(MF J選手共済組合費=通称MF J保険600円を含む)

〔10〕 参加受理

- 必要事項のすべてが明記された出場申込み書、必要金額が大会事務局に受理された時点で、参加受理書が発送される。
- いったん受理された出場料、共済費はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 大会が中止された場合、参加が拒否された場合(申込み者が必要な手続を怠った場合はこれにはあてはまらない)にのみ出場料、共済費が返還される。

〔11〕 賞およびポイント

- 次の賞が授与される。
 

(日本GPを除く全日本選手権シリーズ戦)

  - 正賞各部門各クラス、優勝~6位。
  - 特別賞
  - 参加賞

(日本GP)

  - 正賞各部門各クラス、優勝~6位。
  - 最優秀選手賞(各部門)
  - 最優秀クラブ賞
  - 最優秀ブロック賞(高松宮杯)
  - ノービスブロック対抗賞  
個人賞(1位~6位)
  - 特別賞
  - 参加賞
- 日本GP大会における賞の規定



- ① 最優秀クラブ賞は、MF J公認クラブで、そのクラブの全入賞者の得点を合計し、最多得点を獲得したクラブに授与される。
- ② 最優秀クラブ賞、最優秀ブロック賞およびノービスブロック対抗賞の得点集計は、1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点により行なわれる。
- (3) 全日本選手権ランキング・ポイント  
ポイントは総則[8]II(20頁)によるが、2ヒートの場合は、各ヒート毎にポイントが与えられる。なお、日本GP大会のポイントには3点が加算される。
- (4) 賞およびポイントの制限  
賞およびポイントの制限は、総則[8]III(20頁)による。

## [12] 出場車輛

車輛は付則2[3](62頁)を遵守しなければならない。

## [13] 競技者番号、ナンバー

- (1) 国際A級および国際B級の一部(20番まで)のライダーには、付録に示すとおり年間指定ナンバーが割当てられる。
- (2) 他のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- (3) ナンバーは、車輛検査までに、規定の書体および色で記入しなければならない。
- (4) 年間指定ナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にナンバーを記入しなければならぬ。
- (5) ナンバーの状態は、車輛検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- (6) レース中、ナンバープレート、配布されたゼッケンおよびヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、また、間違ったナンバーを装着して走行した場合はその周回は記録されない。
- (7) 雨天の場合、すべてのライダーはヘルメットの両側にナンバーを記さなければならない。

## [14] ライダーの装備

- (1) ライダーの服装は、付則2[4]III(64頁)による。
- (2) MF J認証マークが貼付されていない公認ヘルメットを使用しているものについては一金100円也のペナルティを課す。

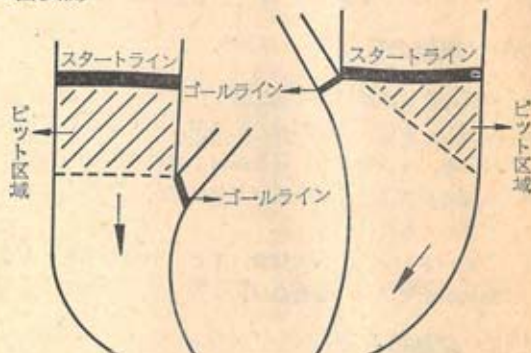
## [15] ガソリンおよびオイル

- (1) ガソリンおよびオイルは、総則[12](21頁)による。
- (2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主

催者から指定された時は、当該ガソリンを使用しなければならない。

## [16] ビットエリア

ビットエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のビットエリアはスタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしかえないコース上である。(第3図参照)



【第3図 ビットエリア(区域)】

## [17] 出場受付

- (1) 出場受付の時間および場所は公式通知に示される。
- (2) 定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し運転免許証、MF Jライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、出場資格の確認を受けなければならない。
- (3) 運転免許証を所持していない者は、原則として出場を認められない。
- (4) MF Jライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2,000円)を支払い、さらにその場でMF J登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。

なお、後日MF J事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は全額本人宛返還される。

## [18] 車輛検査

- (1) 車輛検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、パドック内の車輛検査区域においておこなわれる。
- (2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずライダー本人が車輛を持参し車輛検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。
- (3) 車輛検査持込み台数は1クラスにつき、ノービス(地方大会)、ジュニア、国際B級部門は1台に限定、国際A級部門のライダーは制限を設けない。



(4) 車輻検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輻は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。

(5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時検査をおこなうことができる。

### 〔19〕 ライダーの変更

(1) ライダーの変更は総則〔14〕(21頁)による。

### 〔20〕 車輻の変更

- (1) 車輻の変更は総則〔14〕(21頁)による。
- (2) ただし、車輻変更申請は、同部門、同クラスの車輻に限定され、手数料5,000円を添付しなければならない。
- (3) 車輻の変更は、公式予選終了後は如何なる理由があっても認められない。
- (4) 2ヒート・システムの場合、1ヒート目と2ヒート目の車輻の変更は認められない。

### 〔21〕 部品の変更

- (1) エンジン・アッセンブリーの変更は認められない。
- (2) 2ヒートの場合、1ヒート終了後すべての出走車輻は封印される。なお、封印された部品以外のものの交換は許される。

### 〔22〕 自由練習および公式練習

- (1) 競技前日の走行練習は禁止される。
- (2) ライダーは安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加し、走行しなければならない。

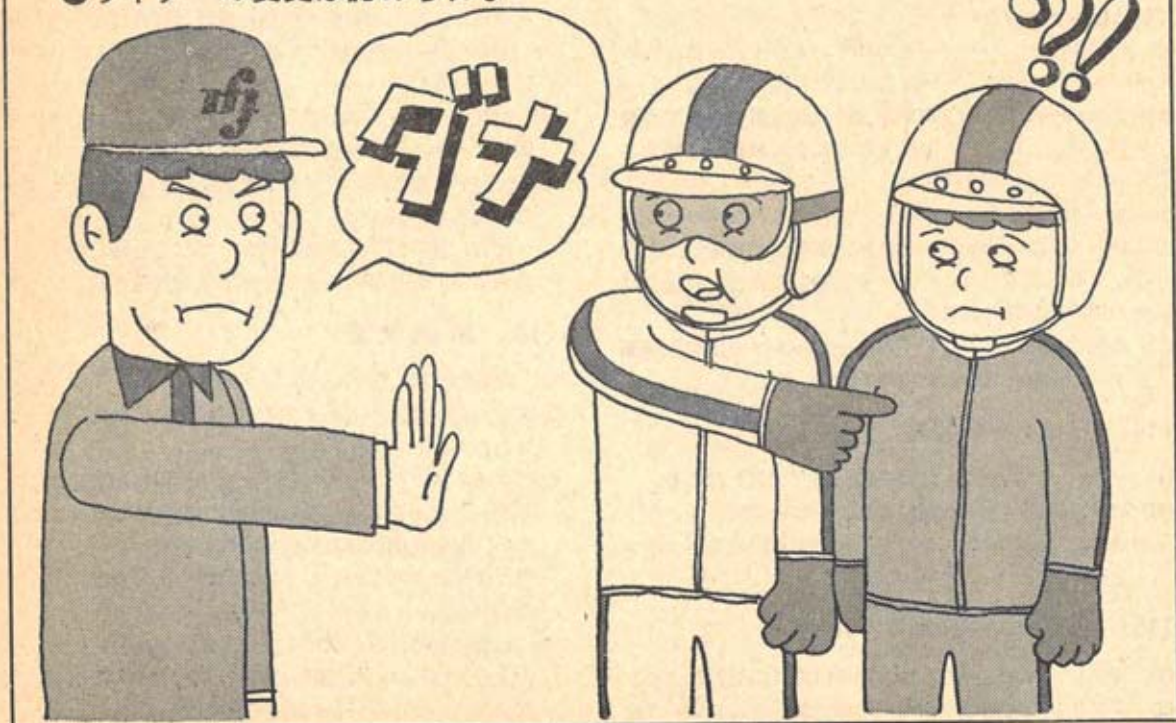
### 〔23〕 公式予選

- (1) 公式予選の内容は、付則2〔5〕(64頁)による。
- (2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。
- (3) 公式予選の組分けは公式練習終了以前に発表される。

### 〔24〕 スタート

- (1) スタートの方法については原則として各部門ともスターティングマシンを使用する。ただしスターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- (2) 同時出走最多台数は、原則として30台とする。
- (3) 決勝スタート位置は予選および予選のないクラスは抽選によるものとし、予選のあるクラスは予選順位により上位を優先して自由選択するものとする。
- (4) 2ヒート制の場合、1ヒートスタート位置は抽選に

### ●ライダーの変更は認められない





より決定し、2ヒート目のスタート位置は、1ヒート目順位を優先してスタート位置を自由選択する。

- (5) エンジンのウォーミングアップは主催者の指示する時間内に限られる。
- (6) ウォーミングアップ以後、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても、スタート係はこれを考慮しない。

## [25] レース

- (1) レース中の遵守事項は、総則[15]（22頁）による。
- (2) ビットエリア内で車輻の整備などを行なえるメカニックは1名に限られ、他のメカニックは如何なる場所においても如何なる直接的援助を行なうことはできない。
- (3) レース中、消音器またはエキスパンションチャンバーがはずれた場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗が示され、ビットインし、修理の後、審判長の許可を得た上で再出走が許される。

## [26] レース中の合図

- (1) レース中の合図は総則[16]Ⅲ（22頁）による。
- (2) 競技内容に示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴール地点に現われた時点から、残り周回数を示す合図が出される。

## [27] レース終了

レースの終了は付則2[6]V（64頁）による。

## [28] 優勝者、入賞者

各レースにおける優勝者、入賞者、完走者および順位は、付則2[7]（65頁）による。

2ヒートシステムの総合順位決定方法。

- (1) 各ヒートごとに次に示す得点が与えられる。1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点。
- (2) 総合順位決定は、①合計得点の多いもの、②合計周回数の多いもの、③着順上位のあるもの、④2ヒート目の成績にしたがっておこなわれる。

## [29] 入賞車輻の検査

- (1) レース終了後、入賞となったレーサーは、直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- (2) 入賞車輻は車輻重量および騒音が測定され、規定をみたしていないレーサーは失格となる。

## [30] レースおよび大会の延期、中止等

- (1) 大会は本規則に発表した日程を変更または延期されることはない。
- (2) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、共済費は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

## [31] 抗議

- (1) 抗議は、総則[21]（24頁）による。
- (2) 車輻の分解検査に要した費用はその抗議が不成立の場合には抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車輻の分解等に要した費用は検査長が算定するものとする。
- (3) 車輻の分解検査に立合う者は、検査長および抗議を受けた当事者のみとする。

## [32] レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技総監督ならびに大会審査委員会の権限において、下記の罰則を課せられることがある。

- (1) 故意に走路を妨害した場合、失格とする。
- (2) レース中に他の援助を受けた場合、失格とする。
- (3) コース上で逆走した場合、失格とする。
- (4) コース審判により示された信号旗にしたがわなかった場合失格とする。
- (5) 1度コース外に出て他の所より再びレースに復帰した場合、失格とする。
- (6) ウォーミングアップ中止後、エンジンを始動させた場合、1周減算とする。
- (7) フライングスタートが確認された場合、黒旗をもってその旨ライダー本人に通告される。黒旗で合図されたライダーは、その場で1分間停止し、競技役員の指示によって再スタートする。
- (8) 同じライダーによってフライングが2度繰返された場合は失格とする。

## [33] 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

## [34] 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。

なお、本規則に示されていない事項は、MF J国内競技規則による。

昭和55年1月1日

大会事務局長



付則 3

# トライアル規則



## トライアル規則・目次

|                                      |    |                      |    |
|--------------------------------------|----|----------------------|----|
| [1] トライアル (オブザベーション・<br>トライアル) ..... | 75 | [8] タイムキーピング .....   | 77 |
| [2] 適用の範囲 .....                      | 75 | [9] 競技の進行 .....      | 77 |
| [3] 賞 .....                          | 75 | [10] ペナルティ .....     | 77 |
| [4] 出場車輛 .....                       | 75 | [11] ペナルティの定義 .....  | 77 |
| [5] ライダーの装備 .....                    | 76 | [12] 競技結果 .....      | 78 |
| [6] コース .....                        | 76 | [13] 同点者の判定 .....    | 78 |
| [7] セクション .....                      | 76 | ★ トライアルタイヤ公認規格 ..... | 78 |



MFJ国内競技規則 付則 3

## トライアル規則

### [1] トライアル

(オブザベーション・トライアル)

オブザベーション・トライアルとは、自然の地形に設計された条件(セクション、コース)に、多数のライダーが規定された1日または2日以上の大大会期間中に挑み、操縦の確実性とタイムキーピングにより結果が表わされる競技である。

### [2] 適用の範囲

以下に記す規則は総則と共にすべてのトライアル競技会に適用される。

### [3] 賞

原則として次の通り賞を定める。

優勝=ベストパフォーマンス(BP)

出場者中最も減点の少ない者

2位=ランナーアップ(RU)二番目に減点の少ない者  
・ファーストクラス 優勝, 2位を含む上位20%の者  
・セコンドクラス 次の上位10%の者

### [4] 出場車輛

出場車輛(以下車輛という)は下記の改造の限度と仕様をみだし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式(モデル)が判明できないような車輛は出場することができない。

#### I 競技が一般公道を使用する場合の車輛の改造限度

出場車輛は、運輸省認定車で、車輛保安基準に合致し、一般公道を走れる状態のものでなければならない。

登録番号プレート、ライト、スピードメーター、クラクション、フラッシャーランプ、バックミラー、ブレーキランプ、消音器等の保安部品を装着していなければならない。なおガラス類には飛散防止策を施さねばならない。

#### II 競技が一般公道を使用しない場合の車輛の改造限度

##### § 1. 国際A級部門

出場車輛の銘柄、型式は規定しない

改造の仕上げ、調整をする場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMFJ方式による測定方法で、80db(A)以下でなければならない。

MFJ方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

|       |         |          |
|-------|---------|----------|
| —     | ~ 90cc  | 6,000rpm |
| 91cc  | ~ 125cc | 5,500rpm |
| 126cc | ~ 250cc | 5,000rpm |
| 251cc | ~ 500cc | 4,500rpm |
| 501cc | ~ —     | 4,000rpm |

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

##### § 2. ジュニア部門、ノービス部門

出場車輛は工場レーサーを除く一般生産型モーターサイクルで、MFJが公認したものでなければならない。その銘柄、型式の詳細は公示に示される。改造の仕上げ、調整をおこなう場合は、下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

(1) 騒音はMFJ方式による測定方法で、80db(A)以下でなければならない。

MFJ方式とは、排気管後方15m、地上1.2mの位置にマイクロフォンを設置し、排気量別に下記の回転数でエンジンを回転させているときの静止騒音を測定する方法をいう。

|       |         |          |
|-------|---------|----------|
| —     | ~ 90cc  | 6,000rpm |
| 91cc  | ~ 125cc | 5,500rpm |
| 126cc | ~ 250cc | 5,000rpm |
| 251cc | ~ 500cc | 4,500rpm |
| 501cc | ~ —     | 4,000rpm |

(2) チタン合金を素材とし、これを加工して製造された部品を使用してはならない。

#### III. 仕様

(1) 排気管および消音器

排気管および消音器は規定の騒音規制値を満足していなければならない。



### 付則 3

#### (2) タイヤ

1) タイヤはMF Jに公認申請をおこない、承認されたものでなければならない。

ただし、エキスパート部門は、MF J公認規格に合致していれば、この限りではない。

2) タイヤに改造を加えてはならない。

3) タイヤにチェーン、スパイク等を加工装備してはならない。

#### (3) クラッチおよびブレーキレバー、ペダル

1) クラッチレバーおよびブレーキレバーはその末端が直径19mm以上の球状に作られ、容易にとれるものであってはならない。

2) ブレーキペダルおよびギアシフトレバーの位置は自由である。ただし、その先端は安全上丸められていなければならない。

#### (4) ブレーキ

前後輪にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えていなければならない。

#### (5) フェンダー

前後輪には有効なフェンダーが装備されていなければならない。

#### IV. 競技用ナンバープレート

競技が一般公道を使用しない場合、競技用ナンバープレートを装着しなければならない。

##### (1) ナンバープレートの寸法

ナンバープレートは第1図に示す大きさのものでなければならない。

##### (2) 取り付け方法

ナンバープレートは車輻の前面に1枚前向きに見えやすいように取り付けなければならない。

##### (3) ナンバープレートの色分け

ナンバープレートおよび文字の色分けは次のとおりである。

ノービス部門——白地に黒文字

ジュニア部門——黄地に黒文字

国際A級部門——黒地に黄文字

〔第1図 ナンバープレート〕



##### (4) ナンバープレートの字体

ナンバープレートの字体はブロック体とし、ナンバープレートの枠内に明確に記入しなければならない。

角ばった字体や斜体であってはならない。

例 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

なお、国際A級については第1図に示すようにプレート下部に記名しなければならない。

(5) 他のライダーに迷惑をおよぼすような構造をしてはならない。

#### 〔5〕 ライダーの装備

##### I. ヘルメット

ヘルメットは、日本工業規格JIS1種以上のもので、MF J公認のものであること。MF Jの公認したヘルメットには、MF J認証マークが貼付されている。

##### II. ライダーの服装

(1) 下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。

(2) 手袋および足首以上を保護する突出部のない皮靴またはゴム靴を着用しなければならない。

#### 〔6〕 コース

コースには次のコースマークが設定される。

① 右折(ターンライト) 赤いカードに“R”の黒字

② 左折(ターンレフト) 青いカードに“L”の黒字

③ 直進(ストレート・オン)

白いカードに“S・O”の黒字

④ 一般公道を使用する場合は、上記カードの他に、交差点の手前50mに進行方向を予告するカードが設定される。

#### 〔7〕 セクション

##### (1) セクションの表示

セクションは次のセクションカードおよびテープで表示される。

① 入口 右側 赤地にセクションナンバー  
左側 青地に“Section Begins”または“IN”

② 途中 右側 赤いカード  
左側 青いカード

③ 出口 右側 赤地にセクションナンバー  
左側 青地に“Section Ends”または“OUT”

##### (2) セクションの幅

① セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、カードによって制限する場合は1.2m以上なければならない。

② 同じ側のカードとカードの間を迂回することは



きない。

(3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪のスピンダル（車軸）がセクション入口のカードを過ぎた時点から開始され、前輪のスピンダルがセクション出口のカードを過ぎた時点で終了する。

〔8〕 タイムキーピング

(1) ライダーは、あらかじめ抽選で決められた順序により、1分間隔でスタートする。

決められたスタート時刻に遅れたライダーに対してはペナルティが課せられ、20分以上遅れた場合は失格となり、スタートすることができなくなる。

(2) コース走行時の平均速度は原則として20km/h以下とする。

(3) ライダーには全コースを走破するための時間が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられる。

(4) 全コースを走り終えたライダーはゴール地点でチェッカーを受け、タイムチェックを受けなければならない。決められた持時間をオーバーしてゴールしたライダーに対してはペナルティが課せられ、特別規則に示された規定時間までにゴールしないライダーはすべてリタイアとみなされる。

〔9〕 競技の進行

(1) スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。

(2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、オブザーバーによって指示された場合はこれにしたがわなければならない。

(3) セクション間の移動はコースマークにしたがっておこなわなければならない。

(4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げてオブザーバーに合図しなければならない。

(5) オブザーバーの指示により、速かにセクションに入らなければならない。

(6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速かにセクション外へ車輻を移動させなければならない。

(7) セクション内でライダーは一切の援助を受けてはならない。ただし、フルペナルティを受けたライダーはこの限りではない。

(8) 競技中、車輻の整備はライダー自身でおこなわなければならない。これに違反した場合は失格となる。

競技中、事故を起した場合や車輻の故障等の理由で

競技続行が不可能な場合は、速かに役員に申し出なければならない。

〔10〕 ペナルティ

(1) セクションにおける採点は0-1-2-3-4-5-10方式を採用する。

|          |       |
|----------|-------|
| ○クリーン    | 0点    |
| ○足つき1回   | 1点減点  |
| ○足つき2回   | 2点減点  |
| ○足つき3回以上 | 3点減点  |
| ○失敗      | 5点減点  |
| ○放棄      | 10点減点 |

(2) タイムキーピングによるペナルティは次のとおり課せられる。

|                         |      |
|-------------------------|------|
| ○スタートの遅れ1分につき           | 1点減点 |
| ○予定されたスタート時間に20分以上遅れた場合 | 失格   |
| ○最終タイムチェックの遅れ1分につき      | 1点減点 |

(3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは次のとおり課せられる。

|                           |        |
|---------------------------|--------|
| ○役員に対する不適当な態度             | 100点減点 |
| ○セクションにおいて役員の手指示に従わなかった場合 | 10点減点  |
| ○定められたコースを不適当にカットした場合     | 50点減点  |

〔11〕 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は次のとおりとする。

(1) 足つき

○ライダーの身体のどの部分でも地面に着地した場合  
○車輻およびライダーのどの部分でも、立木、岩または土の壁面等の障害物にもたれかかった場合。

(2) 失敗

○停止 前輪が前進を止めた場合。（足をつかなかった場合は停止としない。ただし、ライダーが支えなくとも、それ以上車輻が姿勢を変えない状態になった場合は停止とする。）

○降車 ライダーが車輻から離れる状態になった場合  
○クロス ライダー自身の車輻のおだちに再び触れたり、これを踏みついたり、越えたりした場合。

○マーカ移動 セクションを表示するものを車輻で破損または移動させた場合。

○セクション・アウト 車輻の前輪・後輪のいずれか一方でもセクションを表示するものの外側を通過した場合。および迂回した場合。



### 付則 3

○援助 第三者の援助を受けた場合。

(3) 放棄

○セクションを走行しなかった場合。

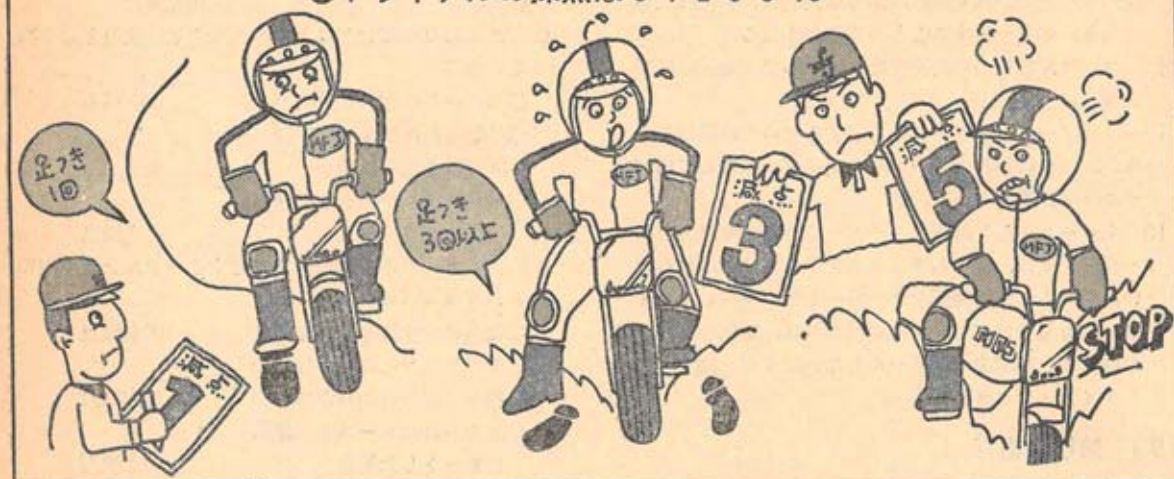
#### [12] 競技結果

- (1) 総減点数の少ないものから順位を定める。
- (2) ワンデイトライアルの場合は、原則として当日の競技結果の発表を公式とする。
- (3) 2日以上にわたって競技が行なわれる場合は、競技終了日より一週間以内に公式結果が発表される。

#### [13] 同点者の判定

- (1) 同点者の判定は次の判定順序に従っておこなう。
  - ① クリーンの数の多い者を上位とする。
  - ② 1点減点の多い者を上位とする。
  - ③ 2点減点の多い者を上位とする。
  - ④ 3点減点の多い者を上位とする。
  - ⑤ 以上によって決定できない場合は同位とする。
- (2) 主催者の権限によりスペシャルテスト等で判定する場合もある。

#### ●トライアルの採点は0-1-2-3-5-10



#### ☆トライアルタイヤ公認規格

トライアル競技に使用するタイヤは下記各項をみだし、MFJに公認申請を行ない、承認されたものでなければならない。

A:トレッドの深さ

トレッド面に直角に測って13mm以内であること。同一円周のすべてのスタッドの深さは同一であること。

B:トレッドの幅

タイヤの幅方向では9.5mm以内であること。

C:トレッドの幅

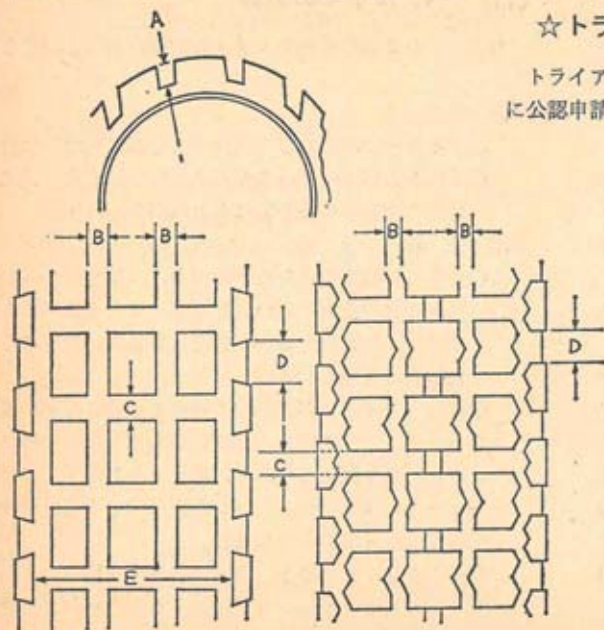
タイヤの円周方向では13mm以内であること。

D:肩部スタッドのスペース

22mm以内であること。

E:トレッドのさしわたし寸法

タイヤウォールに直角に測った場合、タイヤの全幅に及んでいてはならないが、スタッドによって中断されている場合はこの限りではない。





## トリアル

# 全日本選手権大会特別規則



3連続優勝（BP）を含め4優勝でV3を達成したチャンピオン近藤博志選手

### 目 次

|                                               |                               |
|-----------------------------------------------|-------------------------------|
| [1] 開催競技会の日程, 名称, 主催,<br>開催場所, 出場申込み期間……………80 | [13] 出場受付……………82              |
| [2] 公式通知, タイムスケジュール……………80                    | [14] 車輛検査……………82              |
| [3] 開催種目……………80                               | [15] ライダー……………82              |
| [4] 運営実行組織……………80                             | [16] 練習……………82                |
| [5] 参加者およびライダー……………80                         | [17] スタート……………82              |
| [6] 出場申込み……………81                              | [18] ゴール……………82               |
| [7] 出場料およびMFJ選手共済組合費……………81                   | [19] 車輛保管……………82              |
| [8] 賞およびポイント……………81                           | [20] 競技会の延期, 中止およびうち切り……………82 |
| [9] 出場車輛……………81                               | [21] 抗議……………82                |
| [10] 競技者番号（ナンバー）……………82                       | [22] 参加者の遵守事項……………83          |
| [11] ライダーの装備……………82                           | [23] 本規則の違反, 裁定……………83        |
| [12] ガソリンおよびオイル……………82                        | [24] 本規則の解釈……………83            |
|                                               | [25] 本規則の施行……………83            |



## トライアル

本競技会シリーズは、日本モーターサイクル協会（MFJ）公認のもとに、MFJ国内競技規則に従い開催される。本特別規則は、1980年度全日本選手権シリーズの全戦に適用される。

### [1] 開催競技会の日程、名称、主催、開催場所、出場申込み期間

| 日 程      | 大 会 名 称                    | 主 催 (出場申込み先)                                                                   | 開催場所                               | 出場申込み期間                           |
|----------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 2月17日(日) | 全日本選手権シリーズ第1戦<br>関西トライアル大会 | MFJ関西トライアル委員会<br>☎675 兵庫県加古川市野口町良野<br>261-3<br>☎ 0794(23)2335                  | 奈良県<br>バイアルス<br>パーク生駒              | 1月8日(金)<br>?<br>1月28日(月)<br>消印有効  |
| 3月2日(日)  | 全日本選手権シリーズ第2戦<br>中部トライアル大会 | MFJ中部トライアル委員会<br>☎513 三重県鈴鹿市末広町5351-76<br>井坂文秋 トム&ジュリーMC<br>☎ 0593(83)3043     | 三重県<br>名阪久我I<br>C横<br>久我トライ<br>アル場 | 2月1日(金)<br>?<br>2月12日(火)<br>消印有効  |
| 3月16日(日) | 全日本選手権シリーズ第3戦<br>中国トライアル大会 | MFJ西日本スポーツ委員会<br>☎705 岡山県備前市大内946-4 備<br>前自動車教習所 備前トライアルク<br>ラブ ☎ 08696(6)9212 | 岡山県備前<br>トライアル<br>パーク              | 2月15日(金)<br>?<br>2月25日(月)<br>消印有効 |
| 4月13日(日) | 全日本選手権シリーズ第4戦<br>四国トライアル大会 | MFJ四国地方本部<br>☎779-02 徳島市西新町4-3<br>富浪商店内 MJF四国トライアル<br>委員会 ☎ 0888(22)5545       | 徳島県美馬<br>郡美馬町吉<br>野川               | 3月14日(金)<br>?<br>3月24日(月)<br>消印有効 |

### [2] 公式通知、タイムスケジュール

公式通知およびタイムスケジュールの詳細は、申込み締切り後に発送される。

### [3] 開催種目

#### § 1. オブザベーション・トライアル

付則3[1](75頁)参照。

- (1) 全日本選手権シリーズの競技部門は国際A級部門とする。ただし、大会当日ジュニア部門の地方大会併催もおこなわれることもある。
- (2) セクション数およびタイムキーピングの方法については、公式通知に示される。
- (3) 日本GP大会はジュニア選抜競技がおこなわれる。

### [4] 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラムまたは公式通知に示される。

### [5] 参加者およびライダー

#### I. 参加資格

(1) 1980年版MFJ国内競技規則、総則[4](19頁)に合致していなければならない。

#### (2) 国際A級部門

(ただし、地方大会併催のジュニア部門も含む)

#### (3) 日本GP大会

- ① 国際A級部門 全日本選手権シリーズ戦に1回以上出場した者。
- ② ジュニア部門 各地方選手権ランキング上位の者で次に示す人数。

北海道=3名 東北=5名

関東=10名 中部=10名

北陸=3名 関西=10名

中国=3名 四国=3名

九州=3名

(注) 地方選手権シリーズには、大会ごとに総則[8](20頁)に示されたポイントが与えられ「全日本選手権ランキング順位決定の方法」(99頁)に準じて地方選手権ランキングが決定される。ただし、他ブロックに所属する者にはポイントは与えられず、そのブロックの者を繰り上げてポイントを与える。



’80全日本選手権大会特別規則

|          |                                        |                                                                         |                    |                                    |
|----------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------|
| 5月18日(日) | 全日本選手権シリーズ第5戦<br>九州トライアル大会             | MF J九州トライアル委員会<br>☎834 八女市大字吉田1328<br>内野徳助気付<br>☎ 09432(4)3629          | 福岡県久留米市山本町<br>砕石場跡 | 4月18日(金)<br>?<br>4月28日(月)<br>消印有効  |
| 6月15日(日) | 全日本選手権シリーズ第6戦<br>東北トライアル大会             | MF J東北トライアル委員会<br>☎982 仙台市長町3-3-9<br>ホンダ宮城販売物内 大友克人気付<br>☎ 0222(47)0123 | 宮城県スポーツランド<br>菅生   | 5月16日(金)<br>?<br>5月26日(月)<br>消印有効  |
| 7月6日(日)  | 全日本選手権シリーズ第7戦<br>関東トライアル大会             | MF J関東信越トライアル委員会<br>☎108 東京都港区港南3-3-10<br>東京都軽自動車協会内<br>☎ 03(472)6241   | 群馬県奥根国際スキー場        | 6月6日(金)<br>?<br>6月16日(日)<br>消印有効   |
| 10月5日(日) | 全日本選手権シリーズ第8戦<br>北陸トライアル大会             | MF J北陸トライアルスポーツ委員会<br>☎930 富山市藤木521-1<br>富山県軽自動車協会内<br>☎ 0764(24)6420   | 富山県極楽坂スキー場         | 9月5日(金)<br>?<br>9月16日(火)<br>消印有効   |
| 11月9日(日) | 全日本選手権シリーズ第9戦<br>第8回日本グランプリ<br>トライアル大会 | 日本モーターサイクル協会(MF J)<br>☎104 東京都中央区銀座1-9-12<br>西山興業東銀座ビル<br>☎ 03(561)8566 | 群馬県奥根国際スキー場        | 10月9日(木)<br>?<br>10月20日(月)<br>消印有効 |

〔6〕 出場申込み

I. 全日本選手権シリーズ戦用出場申込み書(ジュニア部門の地方大会併催、日本GP各地方選抜者用も含む)に必要な事項を記入の上、出場料およびMF J選手共済組合費を添えて提出しなければならない。

II. 参加定員

- 特に定めないが、併催ジュニア部門については主催者の判定により制限される場合がある。
- 日本GP大会については参加資格に示された選抜規定による。

〔7〕 出場料およびMF J選手共済組合費

出場料 5,000円  
(MF J選手共済組合費 200円を含む)

〔8〕 賞およびポイント

I. 賞

- § 1. 全日本選手権大会(日本GP大会を除く)
- 優勝=ベストパフォーマンス(BP) 2位=ランナーアップ(RU) ・ファーストクラス(FC) ・セコンドクラス(SC)
  - 特別賞
  - 参加賞
- § 2. 日本GP大会
- 優勝=ベストパフォーマンス(BP) 2位=ラ

ンナーアップ(RU) ・ファーストクラス(FC) ・セコンドクラス(SC)

- 最優秀クラブ賞
- 特別賞
- 参加賞
- 賞の規定

- ① 最優秀クラブ賞は、MF J公認クラブで、そのクラブの全入賞者の得点を合計し、最多得点を獲得したクラブに授与される。
- ② 最優秀クラブ賞の得点は、全日本選手権ランキングポイントに準じて集計される。

II. 全日本選手権ランキングポイント

§ 1. 国際A級部門

- (1) 全日本選手権シリーズランキングポイントは、上位入賞者に次のポイントが与えられる。  
1位15点、2位12点、3位10点、4位8点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点、9位2点、10位1点
- (2) 日本GP大会のポイントは、上記ポイントにボーナス点3点が加算される。

§ 2. ジュニア部門

ジュニア部門は、日本GP大会選抜者の入賞順位による。

〔9〕 出場車輛

車輛は、付則3〔4〕IIおよびIII(75頁)を遵守しなけれ



## トライアル

ばならない。

### [10] 競技者番号(ナンバー)

- (1) 国際A級部門のライダーには、付録に示す通り年間指定ナンバーが割当てられる。
- (2) 併催する他部門のライダーには、主催者によってナンバーが割当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- (3) 主催者から特に指示がない場合は、車輻検査までに、規定の書体および色分けでナンバーを記入しなければならない。
- (4) ナンバーの状態は、車輻検査時に検査員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- (5) 競技中、ナンバープレートおよび配布されたゼッケンを装着せずに走行した場合、また間違ったゼッケンを装着して走行した場合は、そのトライを記録されない。

### [11] ライダーの装備

ライダーの服装、ヘルメットは、付則3[5](76頁)による。

### [12] ガソリンおよびオイル

- (1) ガソリンおよびオイルは、総則[12](21頁)による。
- (2) ガソリンの銘柄およびその詳細が公式通知によって主催者から指定された場合は、当該ガソリンを使用しなければならない。

### [13] 出場受付

- (1) 出場受付の時間および場所は、公式通知に示される。
- (2) 出場受付は、定められた時間内に、かならずライダー本人が出頭し、運転免許証、MF Jライセンス、健康保険証、参加受理書を提示して、当日の出場資格を確認しなければならない。
- (3) 運転免許証を所持していない者は原則として出場を認められない。
- (4) MF Jライセンスを提示できない者は、理由の如何を問わずペナルティ料金(2,000円)を支払い、更にその場でMF J登録料、ライセンス料を支払い仮登録しなければならない。

なお、後日MF J事務局において二重登録と判明した場合には、仮登録の料金は全額本人宛返還される。

### [14] 車輻検査

- (1) 車輻検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールにしたがって、競技会前にパドック内の車輻検査区域においておこなわれる。
- (2) タイムスケジュールに示された時間内に、かならずラ

イダー本人が車輻を持参し車輻検査を受けなければならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外はおこなわれない。

- (3) 車輻検査への持込み台数は1台に限定する。
- (4) 車輻検査において、規則または安全上出場が不適当と判定された車輻は、一切の走行を拒否される。
- (5) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車輻の検査をおこなうことがある。

### [15] ライダー

- (1) ライダーおよび出場車輻の変更は原則として認められないが、総則[14](21頁)に該当する場合は出場受付終了以前に申請することとし、各手数料5,000円を添付しなければならない。

### [16] 練習

大会当日コースおよびセクションのいかなる場所においても練習は禁止される。これに違反した選手は失格とする。

### [17] スタート

原則としてスタート順位は抽選によって決める。

### [18] ゴール

予定されたゴール時間に20分以上遅れた場合は失格とする。

### [19] 車輻保管

- (1) 車輻検査後スタートまで、およびゴール後主催者から保管解除の通知があるまでは車輻は指定された区域に保管されなければならない。
- (2) 入賞車は、暫定結果発表後原則として30分間以上保管され、必要に応じて検査される。

### [20] 競技会の延期、中止およびうち切り

- (1) 大会は本規則に発表した日程から、変更または延期されることはない。
- (2) 大会審査委員会が、特別な理由によって競技の延期または放棄しなければならないと判断したときに限り、競技を延期または中止することができる。
- (3) 大会が中止された場合、参加者が支払った出場料、保険料を返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

### [21] 抗議

競技結果に対するいかなる抗議も受付られない。



〔22〕 参加者の遵守事項

監督、ライダー、メカニック、ヘルパーなど参加者は次の事項を守らなければならない。

- (1) 本競技会中は、MFJ国内競技規則にのっとり行動し、参加者はすべての行動に対して責任をとらなければならない。
- (2) 参加者はすべて本競技会特別規則にのっとり行動すること。従ってすべての違反者は5,000円の罰金か、または失格、さらに退場に至る罰則が課せられる。
- (3) 国内競技規則、本規則および競技管理上のあらゆる規定や競技役員の指示にしたがい、かつ公道上では交通法規を守るものとする。
- (4) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、公正に行動しなければならない。
- (5) 競技期間中は飲酒あるいは薬品によって精神状態をつくろってはならない。
- (6) 競技が一般公道の走行を含む場合、ライダーは運転免許証、ライセンスを必ず携帯しなければならない。

許証、ライセンスを必ず携帯しなければならない。

〔23〕 本規則の違反、裁定

本規則に対する違反は大会審査委員が決定し、罰則が適用される。裁定後はいかなる理由といえどもこれにしたがわなければならない。

〔24〕 本規則の解釈

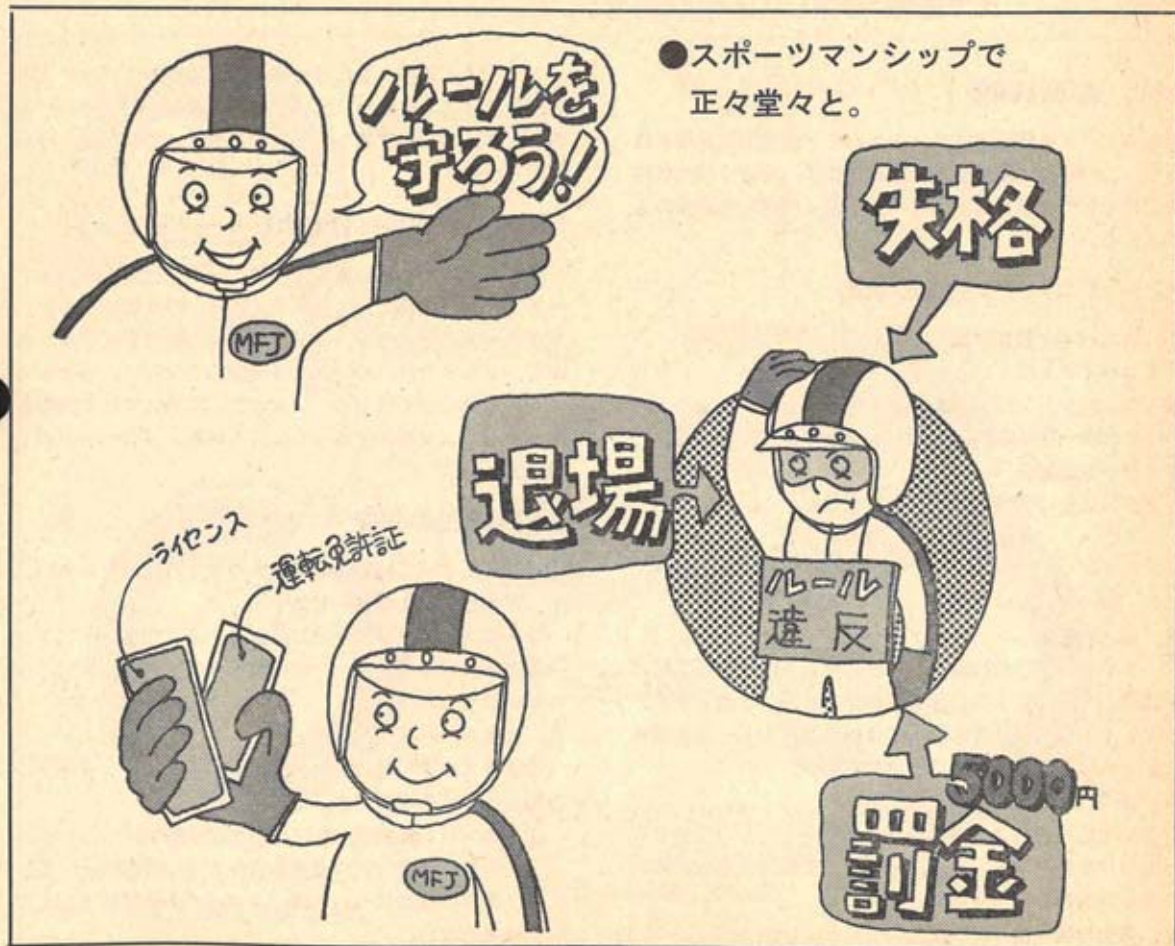
本規則および競技に関する疑義は、事務局あて質議申立てができる。なお、この解答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

〔25〕 本規則の施行

本規則は出場申込み受付日より有効となる。  
なお、本規則に示されていない事項は、MFJ国内競技規則による。

昭和55年1月1日

大会事務局長



●スポーツマンシップで  
正々堂々と。



# ミニバイク競技会

## 指導要綱 (総則)

日本モーターサイクル協会(MFJ)は、本競技会の国内管理体制と、モータースポーツ管理の必要に鑑み本指導要綱を定める。すなわち、健全な競技会を育成して、各競技の適切な規則を作成し、公平な競技プログラムと、競技に際しての安全性を促進することである。

この規則は、すべての人が安全性に関心を持つようにするため制定するものであるが、この規則にしたがうのは主催者の義務である。さらに、競技への参加者は、規則および安全性を適切に評価したうえで競技に参加しなければならない。

### 〔1〕 適用の範囲

本ミニバイク競技規則は、ミニバイク競技会に適用されるが、この規則に関連する全般の解釈は、MFJ国内競技規則にもとづき競技会主催者の判定および解釈を最終のものとする。

### 〔2〕 ミニバイク競技の規則

#### I. ミニバイク競技車輛

ミニバイクとは、16インチ以下のホイール(リム)を装着した、エンジン排気量80cc以下の車輛をいう。このミニバイクには一般市販の通常型とスポーツ専用型がある。

#### II. クラスの区分

クラス区分は50ccと80ccの2クラスとする。

| クラス  | 最小排気量   | 最大排気量    |
|------|---------|----------|
| 50cc | —       | ~ 50ccまで |
| 80cc | 50ccを越え | ~ 80ccまで |

#### III. 参加資格

ミニバイク競技会に参加し、出場するライダーの資格は16歳以上で、MFJ会員として登録されている者とする。ただし、20歳未満の者については親権者、もしくは保護者の同意承諾書を提出しなければならない。

#### IV. 参加受理

参加申込み書および参加料(保険料を含む)の受領をもって参加を受理する。また、いったん受領した参加料はいかなる理由があっても返却しない。

#### V. 男女の同一性

ミニバイク競技、または行事の参加について“性による差別”はつけられない。すべての参加者は、同一のルールのもとに、規則に定められた適切なクラスで競技しなければならない。

### 〔3〕 出場者の区分およびレース区分

出場者の区分は初心者(ビギナー)、中級技量をもったノービス、上級技量を備えるエキスパートの3段階に分け、ビギナーおよびノービスはBライセンス所持者とする。ただし、ビギナー部門の参加は優勝経験者を除く。またエキスパート部門はノービス、ジュニア、国際Aまたは国際Bのライセンスを所持するものに限られる。(右ページの表参照)

### 〔4〕 改造の限度

車輛は、すべてMFJ公認のものでなければならない。

#### I. ビギナーおよびノービス

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ16インチ以下の一般市販モデル(スポーツ専用型も含む)車で、改造はいっさい認められない。

#### II. エキスパート

各クラスの排気量に合致し、リムサイズ16インチ以下の市販されている車輛であること。

- (1) エンジンは公認されたものでなければならないが、改造は、冷却方式の変更を含んですべて自由とする。
- (2) 車体の改造については、ミニバイクの限度を超えてはならない。



## 〔5〕騒音規制

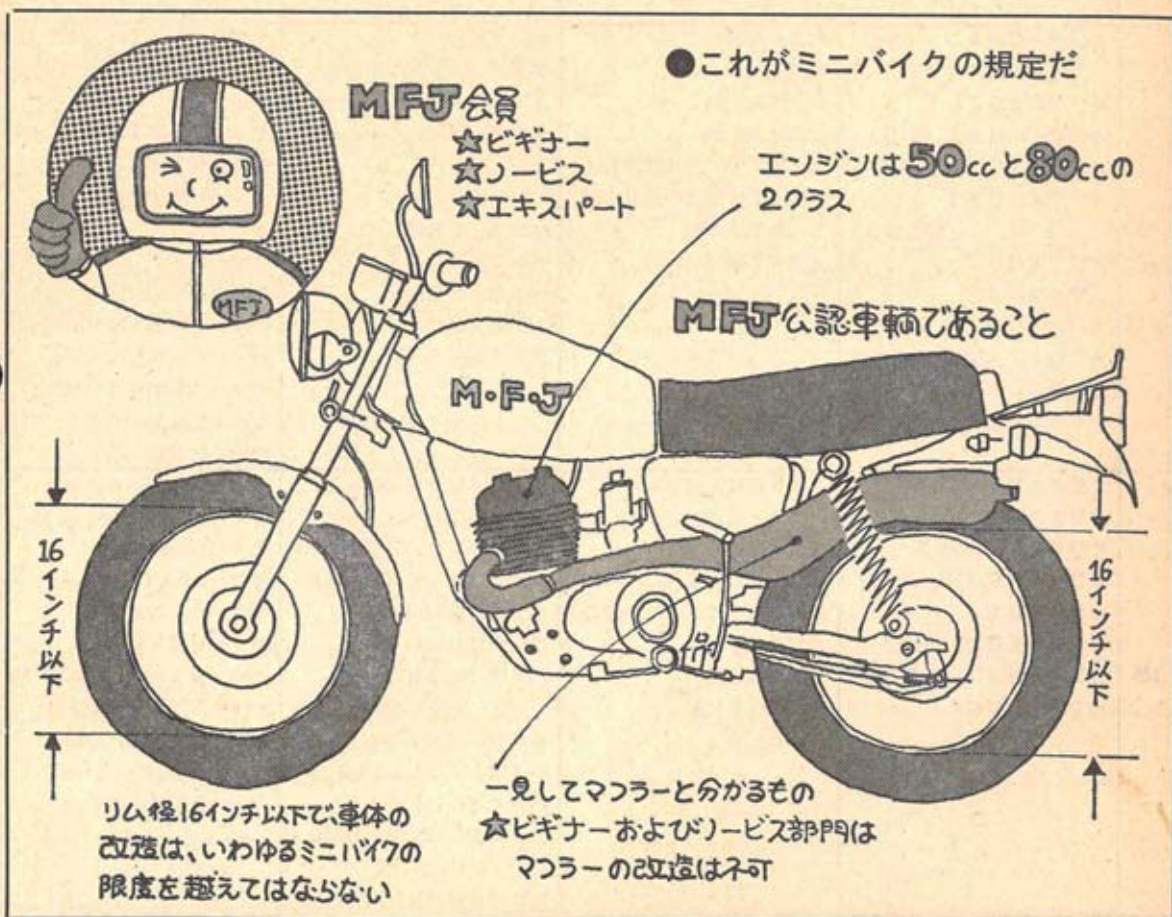
I. 騒音は下記の条件をみたしていなければならない。

- (1) 車輻には、有効かつ外見ですぐにマフラーと分かる消音器が装着されていなければならない。
- (2) ビギナーおよびノービス部門については、マフラーの改造はいっさい認められず、騒音も車輻の公認された状態のままで行なければならない。

(3) 騒音はFIM(国際モーターサイクリスト連盟)方式による測定方式で、110db(A)以下でなければならない。

(4) FIM方式とは、排気出口の後方0.5m、45度の角度にマイクロフォンを設置し、ピストンの平均スピードを4ストロークエンジンで11m/s、2ストロークエンジンで13m/sに達するエンジン回転のときの騒音測定方法である。

| 資格              | クラス  | 条件                                | ライセンス                            |
|-----------------|------|-----------------------------------|----------------------------------|
| ビギナー<br>(初心者)   | 50cc | 16歳以上の初心者を対象とする<br>(優勝経験者は参加出来ない) | Bライセンス所持者                        |
|                 | 80cc |                                   |                                  |
| ノービス<br>(中級者)   | 50cc | 上記よりの移行者、及び主催者が出場を認めた者を対象とする      | Bライセンス所持者                        |
|                 | 80cc |                                   |                                  |
| エキスパート<br>(上級者) | 50cc | 上記よりの移行者、及びノービス以上のライセンス所持者        | ノービス<br>ジュニア<br>国際A、B } ライセンス所持者 |
|                 | 80cc |                                   |                                  |





## MFJ公認車輜

## ●一般市販車

| cc.        | 川崎重工業(株)                                                                                                                                                                         | 鈴木自動車工業(株)                                                                                                        | 本田技研工業(株)                                                                                                                                                                                                     | ヤマハ発動機(株)                                                                                                                                                                                                                       |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 50<br>cc.  |                                                                                                                                                                                  | スズキAC50<br>スズキAS50<br>スズキTS50<br>スズキGA50<br>スズキCM50<br>スズキRG50<br>スズキOR50<br>スズキミニタン50<br>スズキPV50                 | ベンリイSS50<br>ベンリイCL50<br>ベンリイCD50<br>ダックスホンダST50<br>ベンリイCB50JX-1<br>(CB50J)<br>ホンダXE50<br>バイアルSTL50<br>ホンダXE50-II<br>ホンダモンキー<br>ホンダゴリラ<br>ホンダMB50<br>ホンダMT50                                                   | ヤマハ50FS1<br>ヤマハ50F5D<br>ヤマハFT50<br>ヤマハMR50(354)<br>ヤマハFX50(353)<br>ヤマハRD50(481)<br>ヤマハTY(354)<br>ミニGT50(FT1,3M7)<br>ミニGR50(FT1)<br>ミニレGT50II<br>ヤマハMR50II(3T2)<br>ヤマハRD50S(II)<br>ヤマハRD50SP                                     |
| 90<br>cc.  | カワサキGA4<br>(トールボス90TR)<br>カワサキ90G1L<br>カワサキ90GA1(90S)<br>カワサキ90GA2(90SS)<br>カワサキ90GA3<br>(90SSS)<br>カワサキG8T<br>カワサキG8S<br>カワサキG6<br>カワサキKE90(G6)<br>カワサキKC90(G8T)<br>カワサキKM(MCI) | スズキA90<br>スズキK90<br>スズキAS90<br>スズキAC90<br>スズキT90(ウルフ90)<br>スズキTS90(ハスラー90)<br>スズキTS904<br>スズキCM75                 | ホンダCL65<br>ダックスホンダST70<br>ホンダCS90<br>ホンダCD90<br>ホンダSL90<br>ベンリイCL90<br>ベンリイCL90K<br>ベンリイSL90K<br>ベンリイCB90<br>ホンダXE75<br>ホンダXE75-II                                                                            | ヤマハミニJT60(JTI)<br>メイトV70(S,D,ES,ED)<br>メイトV90D(V90)<br>ヤマハ90HT1<br>ヤマハHT90(HT-2)<br>ヤマハDT90(429)<br>ヤマハRD90(464)<br>ヤマハHS1<br>ヤマハTY80(597)<br>ヤマハミニGT80(374)<br>ヤマハミニGR80(374)<br>ヤマハGT90-II(429)<br>ミニレGT80(II)<br>ヤマハRD90(II) |
| 125<br>cc. | カワサキB1-T<br>カワサキ120CI<br>カワサキ120C2SS<br>カワサキF6(125-TR)<br>カワサキB1<br>カワサキKC125(B1)<br>カワサキKE125(KS125)<br>カワサキKH125                                                               | スズキK125(S10)<br>スズキTC120<br>スズキT125<br>スズキT125-2(ウルフ125)<br>スズキTS125(ハスラー125)<br>スズキGT125<br>スズキRG125<br>スズキGP125 | ベンリイCD125S<br>ベンリイCL125<br>ベンリイCB125, CB125S<br>ホンダCD125, CD125K<br>ホンダCL125K<br>ホンダCB125<br>バイアルSTL125<br>TL125S<br>エルシノアMT125<br>バイアルSTL125K2<br>ベンリイSL125S<br>ホンダXL125, XL125S<br>ホンダCB125JX<br>ホンダCB125T1 | ヤマハ125A7<br>ヤマハ125AS1<br>ヤマハ125AS2<br>ヤマハ125AT1<br>ヤマハRD125(404)<br>ヤマハDT125(452)<br>ヤマハAX125(AS3)<br>ヤマハTY125(539)<br>ヤマハDT125II(452)<br>ヤマハRD125-II(404)<br>ヤマハDT125(M)                                                       |



## ●一般市販車

| cc                    | 川崎重工業(株)                                                                                                                                                                                                                                       | 鈴木自動車工業(株)                                                                                                                                                              | 本田技研工業(株)                                                                                                                                                                                                                                         | ヤマハ発動機(株)                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 250<br>cc             | カワサキ175B11L<br>カワサキ175B11TL<br>カワサキ250A1<br>カワサキF8(250-TR)<br>カワサキF11(250-TR)<br>カワサキ250SS(S1)<br>カワサキKH250<br>(KH250B)<br>カワサキKL250A<br>カワサキZ250FT                                                                                            | スズキT200<br>スズキTC200<br>スズキT250(T20)<br>スズキTC250<br>スズキTS250<br>(ハスラー250)<br>スズキTS250-III<br>(ハスラー250)<br>スズキGT250B<br>スズキトライアルRL250<br>スズキGT185<br>スズキRG185<br>スズキRG250 | ホンダCL175<br>ホンダSL175<br>ホンダCB175<br>ホンダCL250<br>ホンダCB250<br>エルシノアMT250<br>ホンダTL250<br>ホンダXL250(J250T)<br>ホークCB250T<br>ホンダXL250S                                                                                                                   | ヤマハDT1<br>ヤマハDT250(DT1)<br>ヤマハDT250-R(μ)<br>ヤマハDT250(DT1F)<br>ヤマハ250DS6<br>ヤマハDX250(DS7)<br>ヤマハDX250PRO(352)<br>ヤマハRD250(361)<br>ヤマハTY250J(461)<br>ヤマハDT250(450)<br>ヤマハTY250-(461)<br>ヤマハTY175(1R1)<br>ヤマハRD250III(1A4)<br>ヤマハRD250(IV)<br>ヤマハDT250(M)<br>ヤマハGX250<br>ヤマハGX250SP |
|                       | 350<br>cc                                                                                                                                                                                                                                      | カワサキ350A7<br>カワサキ350SS(S2)<br>カワサキF5(350-TR)<br>カワサキS2T                                                                                                                 | スズキGT350(T350)                                                                                                                                                                                                                                    | ホンダCL350<br>ホンダSL350<br>ホンダCB350                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 351<br>5<br>750<br>cc | カワサキ500SS(KA)<br>カワサキ650W1<br>カワサキ650W1スペシャル<br>カワサキ750SS(H2)<br>カワサキZ2<br>カワサキW3<br>カワサキH1<br>カワサキS3<br>カワサキKZ400<br>カワサキZ400(KZ400)<br>カワサキKH400(S3)<br>カワサキZ750TWIN<br>(KZ750B)<br>カワサキ750FOUR(Z2)<br>カワサキZ650<br>カワサキZ400LTD<br>カワサキZ400FX | スズキTS400<br>(ハスラー400)<br>スズキGT380<br>スズキGT380B<br>スズキT500<br>スズキGT550B<br>スズキGT750<br>スズキGT750B<br>スズキGS400<br>スズキGS750<br>スズキGS550<br>スズキSP370<br>スズキGL400             | ホンダCB450, CL450<br>ホンダCB450K1<br>ホンダCB500, 同F2<br>ホンダCB750, 同F2<br>ホンダCJ360T<br>ホンダCB400F, I, II<br>ホンダCB500T<br>ホンダCB550F, K3<br>ホンダCB750K7, FII<br>ホークCB400T<br>ホンダGL400<br>ホークII, III<br>ホンダCB750K; 750F<br>ホンダCB650<br>ホンダCM400T<br>ホンダXL500S | ヤマハ360RT1<br>ヤマハ650XS1(S650)<br>ヤマハDT360<br>ヤマハTX500, TX650<br>ヤマハTX750<br>ヤマハDT400<br>エンデューロXT500<br>ヤマハRD400<br>ヤマハGX500, GX750<br>ヤマハGX400, 同SP<br>ヤマハTX650(III)<br>ヤマハRD400(II)<br>ヤマハGX750(II)<br>ヤマハSR400, SR500<br>ヤマハXS650スペシャル<br>(3G5)<br>ヤマハXS750スペシャル                |



# 付録

## ●ロードレーサー

| cc.        | 川崎重工業(株) | 鈴木自動車工業(株) | 本田技研工業(株)                                     | ヤマハ発動機(株)                                                                     |
|------------|----------|------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 125<br>cc. |          |            | ホンダMT125R (325)<br>ホンダMT125R-Ⅱ<br>ホンダMT125R-Ⅲ | ヤマハTA125<br>ヤマハTZ125                                                          |
| 250<br>cc. |          |            | ホンダRS250R<br><br>ホンダ・アール・エス・シー<br>RS125R-W    | ヤマハTD3 (DS7)<br>ヤマハTZ250 (430)<br>ヤマハTZ250-Ⅱ (430)<br>ヤマハTZ250-Ⅲ<br>ヤマハTZ250W |
| 350<br>cc. |          |            |                                               | ヤマハTR3 (R5)<br>ヤマハTZ350 (430)<br>ヤマハTZ350-Ⅱ (383)<br>ヤマハTZ350-Ⅲ<br>ヤマハTZ350W  |

## ●モトクロス

|                      |                                     |                                                                                                                      |                                                                      |                                                                                                                                                        |
|----------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 50<br>↓<br>90<br>cc. | カワサキKX80                            | スズキTM75<br>スズキRM50<br>スズキRM80<br>スズキRM50-Ⅱ, Ⅲ<br>スズキRM80-Ⅱ, Ⅲ                                                        | ホンダXR80<br>ホンダCR80R                                                  | ヤマハMX90<br>(HT2-MJ, 403)<br>ヤマハYZ80<br>(D, 2X6, 3R1)<br>ヤマハYZ50                                                                                        |
| 125<br>cc.           | カワサキKX125<br>カワサキKX125A             | スズキTM125<br>スズキRM125<br>スズキRM125-Ⅱ<br>スズキRM125-Ⅲ<br>スズキRM125-Ⅳ<br>スズキRM125-Ⅴ<br>スズキRM125-Ⅵ                           | エルシノアCR125M<br>エルシノアCR125M1<br>ホンダCR125M2<br>ホンダCR125M3<br>ホンダCR125R | ヤマハMX125<br>(AT2-MJ, 401)<br>ヤマハYZ125 (453)<br>ヤマハYZ125 (537)<br>ヤマハYZ125MⅡ (1J8)<br>ヤマハYZ125Ⅲ, YZ125Ⅳ<br>ヤマハYZ125(2Y5, 3N8)                           |
| 250<br>cc.           | カワサキF21M<br>カワサキKX250<br>カワサキKX250A | スズキTM250<br>スズキRH250<br>スズキRH250-Ⅱ<br>スズキRM250<br>スズキRM250-Ⅱ<br>スズキRM250-Ⅲ<br>スズキRM250-Ⅳ<br>スズキRM250-Ⅴ<br>スズキRM250-Ⅵ | エルシノアCR250M<br>エルシノアCR250M1<br>ホンダCR250R                             | ヤマハMX250<br>(DT2-MR, 364)<br>ヤマハYZ250 (431)<br>ヤマハYZ250 (483)<br>ヤマハYZ250-Ⅱ (509)<br>ヤマハYZ250M-Ⅱ (509)<br>ヤマハYZ250Ⅲ<br>ヤマハYZ250Ⅳ<br>ヤマハYZ250(2X4, 3R4) |
| 500<br>cc.           |                                     | スズキTM400                                                                                                             |                                                                      |                                                                                                                                                        |



# YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社 〒100 東京都千代田市千代田2-1-1 TEL.03-3283-1111



## YOMの技術が生きる'80モデルヤマハYZシリーズ

つねに挑戦しつづけ、その実力をいかに発揮するヤマハYZM。このレース経験と技術が生かされているのが、モトクロス界のリーディングマシン、YZシリーズ。ファクトリーレプリカと呼

ぶにふさわしいYZ250・125と、ミニモトクロス界の新車YZ80・50と、'80モデルが勢揃いしました。パワーアップと軽量コンパクトというテーマに挑み、窒素ガス室別体式モノクロスサスペンションを

じめ、エンジン、フレームなどすべてを一新、戦闘力を大幅にアップしたYZ250・125。圧倒的なパワーユニット、走行性・耐久性を磨きあげたボディなど、細部いたるまで突きつめて完成されたYZ80・50。'80モトクロスレースをリードするヤマハYZシリーズです。



**YZ250** '80モデル ● ヤマハモトクロスサーYZ250仕様認定 ● 標準現金価格：380,000円 ● 全長/全幅/全高：2155mm/935mm/1195mm ● シート高：935mm ● 軸間距離：1455mm ● 最低地上高：310mm ● 乾燥重量：97kg ● エンジン種類：2サイクル、空冷、ガソリン、ピストンバルブ・リードバルブ併用式 ● 気筒数配列：単気筒、前傾 ● 総排気量：246cc ● 内径×行程：70mm×64mm ● 圧縮比：8.1 ● 最高出力：40PS/8,000r.p.m. ● 最大トルク：3.77kg-m/6,500r.p.m. ● 点火方式：C.D.I. ● フレーム形式：タコマソリブデン単鋼管セミダブルクレードル ● タイヤサイズ(ノーマル)：前3.00-21-4PR(ノービイ) 後5.10-18-4PR(ノービイ)



**YZ125** '80モデル ● ヤマハモトクロスサーYZ125仕様認定 ● 標準現金価格：280,000円 ● 全長/全幅/全高：2115mm/950mm/1215mm ● シート高：940mm ● 軸間距離：1430mm ● 最低地上高：340mm ● 乾燥重量：85kg ● エンジン種類：2サイクル、空冷、ガソリン、7ポート、ピストンバルブ・リードバルブ併用式 ● 気筒数配列：単気筒、前傾 ● 総排気量：123cc ● 内径×行程：56mm×50mm ● 圧縮比：8.5 ● 最高出力：26.5PS/11,000r.p.m. ● 最大トルク：1.80kg-m/9,500r.p.m. ● 点火方式：C.D.I. ● フレーム形式：タコマソリブデン単鋼管セミダブルクレードル ● タイヤサイズ(ノーマル)：前3.00-21-4PR(ノービイ) 後4.10-18-4PR(ノービイ)



**YZ80** '80モデル ● ヤマハモトクロスサーYZ80仕様認定 ● 標準現金価格：14,500円 ● 全長/全幅/全高：1770mm/735mm/980mm ● シート高：735mm ● 軸間距離：1185mm ● 最低地上高：220mm ● 乾燥重量：61kg ● エンジン種類：2サイクル、空冷、ガソリン、ピストンバルブ・リードバルブ併用式 ● 気筒数配列：単気筒、前傾 ● 総排気量：79cc ● 内径×行程：43mm×42mm ● 圧縮比：8.1 ● 最高出力：17PS/11,500r.p.m. ● 最大トルク：1.05kg-m/11,500r.p.m. ● 点火方式：C.D.I. ● フレーム形式：鋼管ダブルクレードル ● タイヤサイズ(ノーマル)：前2.50-16-4PR(ノービイ) 後3.00-14-4PR(ノービイ)



**YZ50** '80モデル ● ヤマハモトクロスサーYZ50仕様認定 ● 標準現金価格：115,000円 ● 全長/全幅/全高：1510mm/740mm/845mm ● シート高：825mm ● 軸間距離：1025mm ● 最低地上高：195mm ● 乾燥重量：50kg ● エンジン種類：2サイクル、空冷、ガソリン、ピストンバルブ・リードバルブ併用式 ● 気筒数配列：単気筒、前傾 ● 総排気量：49cc ● 内径×行程：40mm×39.7mm ● 圧縮比：7.8 ● 最高出力：9.0PS/10,500r.p.m. ● 最大トルク：0.62kg-m/10,000r.p.m. ● 点火方式：フライホイールマグネトー ● フレーム形式：鋼管セミダブルクレードル ● タイヤサイズ：前2.50-14-4PR 後3.00-12-4PR



# 革新のメカ。国内初のエア・ロケットフォーカ。

## DOHC・4気筒シャフトドライブ。



80年代のロードスターマシンをリードする。GS750G新登場です。操縦性能が飛躍的に向上する。国内初のエア・ロケットフォーカを装備。金属スプリングだけでは得られなかった、路面からの小さな振動への対応、吸気性をより高い次元で実現しました。驚異的な走行性能を發揮する。アジャスタブル（減衰力調整式）リアサスペンション、DOHC・4気筒エンジンに加え、スズキ独自のメカニカルダンパーを組み込んだ、シャフトドライブ方式などの革新的メカが、画期的な走りを実現しました。

**新登場**



標準現金価格325,000円

こたび、プラタンスモの最高峰と呼べる1台

# GS750G

**Shaft Drive**



CASTMIBEL by SUZUKI

**SUZUKI**

GS750Gの主要諸元(参考)

- 431cc・4気筒・DOHC・4気筒
- 総排気量148cc●最高出力68ps/5,500rpm
- 最大トルク16.0kg-m/5,500rpm●5速7段階変速シャフトドライブ方式●前輪直圧97kg/cm<sup>2</sup>スクリーン付後輪直圧94kg/cm<sup>2</sup>
- ブレーキ●リアディスクブレーキ●フロントドラムブレーキ
- カラー・インボロドカラー

2年3万km保証・SUZUKI

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター

スズキモーター



# Z

5/6か、4/5か。

激論につぐ激論。

そして、我々はトラクション・アップの道を開いた。  
GS-45Zシリーズ、新登場。



5/6ブロックをとるか、それとも4/5ブロックか。その激論に回答を与えたのは国内はもとより海外でも繰り返されたテストランからの報告でした。いわく「こんどの4/5はトラクションがすごい!」「5/6に比べ軽量化されたぶん、エンジン性能をパワフルに引き出せる!」などなど……そこで私たちは、4/5ブロックをベースに可能な限りの性能アップを図りました。ブロックを馬蹄形に組んだこと、ブロック表面にカーブを刻んだこと、サイド剛性をいっただんと強化したこと、さらにコンパウンドを一から見なおして、特殊配合に成功したこと。これらの画期的な改良によって、モトクロス

タイヤの生命とも言えるトラクションが大幅にアップ。苛酷なコーナリングや直線での高速走行にそのしたたかな威力を見せます。新星GS-45Zシリーズ、いま、衝撃の始動。

Z1フロント用: 2.50-16/2.50-17/2.75-17 リア用: 3.60-14/4.10-18/5.10-17/5.10-18/5.60-17 Z2フロント用: 3.00-21 リア用: 3.60-14/4.10-14/110/90-14/4.10-18/5.10-18 Z3リア用: 4.00-18/4.10-18/5.10-18

究極のトレッド

GS-45Z

井上ゴム工業株式会社

タイヤ事業部/名古屋市熱田区千手1丁目16番30号  
〒456-91 ☎052-652-6121  
東京支店/東京都品川区大崎2丁目9番12号  
〒141 ☎03-491-6041



# オフロードパンツコレクション——

1980年、オフロードの覇者となるためにはすぐれたウェアが必要条件—アルファレイン。



## プロフェッショナルズボン

腰部左右にアクシデント防止パッド付です。内側に、マジック付ポケットあり、高級牛革使用。

- カラー—黒地 (白・赤・黄の各ライン入) 黄地 (赤・黄・白の各ライン入) 朱地 (黒・黄の各ライン入) 濃紺地 (オレンジ・白・黄の各ライン入) 緑地 (黄・白・赤の各ライン入) 実用新案特許申請中
- S ¥40,500 M ¥41,100 L ¥41,700 LL ¥42,300
- アルファレインS ¥52,000 M ¥52,700 L ¥53,400 LL ¥54,100



## ニュープロフェッショナル

技術陣のきびしい目で強靱な防水布をニュープロフェッショナルに採用。プロフェッショナルより軽量。一連の動作変化がスムーズなものとなる。水を含むコースでも威力発揮。水を完全にはじく防水布に鈍重な動きは見られない。

- 強靱な防水布使用 ●防水皮革で覆ったパッド類 ●赤・赤地 (当て物・ライン・ベルト—黒) 黄地 (当て物・ライン・ベルト—黒) 緑地 (当て物・ライン・ベルト—黒) 黒地 (当て物—黒、ライン・ベルト—黄) 黄地 (当て物・ライン・ベルト—黒) アルファレイン ¥29,000 3 L ¥29,000



## ニュープロフェッショナル PRO

土が飛び、泥が飛ぶモトクロス。ブーツにこびりついた泥は、試合後やっかいなもの。ブーツをカバー。防水皮革によりこれを解消。カバー部分がストレートのために、めくれ、ひっかりがなくいたって安全です。

- 注文製作いたします。
- ¥29,000 (パッド・ベルトのみ)
- ¥30,000 (ライン入り)
- ¥32,000 (オーバーボウのみ)



## ニュープロフェッショナル・コンビ

ニュープロの材質を変更することなく、カラーコンビネーションを変えたニュープロコンビ。ファッション性重視。レース場にも、ヤングファッション時代が来た。

- 強靱な防水布使用 ●防水皮革で覆ったパッド類
- アルファレイン ¥27,000



## トライアルパンツ

メンタルスポーツとまでいわれるトライアル。下肢の動きに気をとられたら——。トライアラーの不安を一掃すべく開発されたコミネトライアル。

- カラー—赤・黄・青・緑 ●サイズ—S・M・L・LL・3L ●当て革・ライン・ベルトは、アルファレイン皮革使用。
- ¥26,000

## ALFARAIN

水を通さない天然皮革

これまで全天候性をレザラーがあつたがどうか。アルファレイン。天然皮革の持つしなやかさ、保温性を損うことなく、いま科学は驚異の耐水性にとんだ皮革をつくりだした。雨天時のモトクロス、トライアル、ツーリングとその応用範囲は無限。経験と伝統、レザラーウェアのコミネがモーターサイクリストのために真摯を問うアルファレイン。雨天、苦にせず走りなさい。(アルファレインは高級天然牛革に化学処理をほどこし耐水性を得たした製品です。) ノンリウエットシステム。

MOBILITY PLAZA

## KOMINE

コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-18-18 TEL (03) 662-9811 (代)

メイトサービス/03(862)981180 小山営業所/0465(24)1773  
 big 20/03(864)077000 多摩営業所/0425(51)9623  
 東京御徒町/03(833)247100 高崎営業所/02744(2)3215  
 東松山工場/0493(22)1952 太田営業所/0276(32)0438  
 東松山営業所/0493(23)0335 横浜営業所/045(511)4708  
 船・谷営業所/0482(84)2961 小山営業所/0285(23)0566  
 宇都宮営業所/0472(32)1884 水戸コミネ/0292(31)2536  
 船岡営業所/0471(44)3071 日立コミネ/0294(22)1126  
 習志野営業所/0474(75)9046 土浦コミネ/0298(22)5419  
 藤沢営業所/0466(81)2757 一宮コミネ/0586(71)3129  
 川崎営業所/044(77)2610 久喜コミネ/0480(22)3723  
 相模原営業所/0427(52)3686 旗本コミネ/0291(7)0969



●トライアラー ( ) 内は一般市販車

| cc                   | 川崎重工業(株)  | 鈴木自動車工業(株)                   | 本田技研工業(株)      | ヤマハ発動機(株)     |
|----------------------|-----------|------------------------------|----------------|---------------|
| 50<br>↓<br>250<br>cc | カワサキKT250 | スズキRL250L<br>(スズキトライアルRL250) | (バイアルスTL125)   | (ヤマハTY50)     |
|                      |           |                              | (バイアルスTL125K2) | (ヤマハTY80)     |
|                      |           |                              | (バイアルスTL125S)  | (ヤマハTY125)    |
|                      |           |                              | ホンダTL250       | (ヤマハTY250J)   |
|                      |           |                              | (バイアルスTL50)    | (ヤマハTY250-II) |
|                      |           |                              | ホンダTL200R      | (ヤマハTY175)    |
|                      |           |                              | ホンダTL200R-II   | (ヤマハTY50-II)  |

## M F J 公 認 輸 入 車 輛

| cc     | スウェーデン      | チエコ           | イタリア                                                    |
|--------|-------------|---------------|---------------------------------------------------------|
| 125 cc | ハスクバーナ125CR |               | モリビデリMBA145<br>(前モリワキエンジニアリング)<br>マランカ125E2C<br>(日新通商株) |
| 250 cc | ハスクバーナ250CR | ヤフCZ250 (仮公認) | ベネリ250QUATTRO<br>(株成川商会)                                |

## F I M 公 認 車 輛 (フォーミュラ750レース用)

| 銘柄                    | 年式 | 車名                 | 排気量cc | 銘柄         | 年式             | 車名                 | 排気量cc  |
|-----------------------|----|--------------------|-------|------------|----------------|--------------------|--------|
| B.M.W.                | 61 | R69S               | 590   | Moto-Guzzi | 70             | Ambassador mba     | 750    |
|                       | 70 | R75/5              | 745   | M.V.Agusta | 70             | M.V4C7             | 743    |
|                       | 73 | R75/6              | 745   | Norton     | 62             | Atlas              | 750    |
| B.S.A.                | 62 | A65 Royal Star     | 650   |            | 64             | Scrambler          | 750    |
|                       | 64 | A65-1T Thunderbolt | 650   |            | 67             | P-11               | 750    |
|                       | 64 | A65-2L Lightning   | 650   |            | 71             | Commando *S*       | 745    |
|                       | 64 | A65-2SPH Hornet    | 650   |            | 76             | Challenge          | 747.58 |
|                       | 69 | A75 Rocket3        | 749   | Suzuki     |                | Export             | 750    |
|                       | 71 | A75V               | 740   | Norton     |                | Commando           | 750    |
|                       | 71 | A70L               | 750   |            | Commando Racer | 750                |        |
| Ducati                |    |                    |       | Suzuki     | 71             | GT550J             | 544    |
| Dunstall              |    |                    |       |            | 71             | GT750J             | 738    |
| Goegebeur<br>& Vigoni | 74 | GILA/Kawasaki      | 750   |            | 72             | GT550B             | 543    |
|                       |    |                    |       |            | 74             | GT750 LeMans Sport | 739    |
| H・D                   | 52 | KR                 | 750   | Triumph    | 63             | TR6C/TR6R          | 650    |
|                       | 52 | KRTT               | 750   |            | 69             | Trident T150       | 750    |
|                       | 70 | XR                 | 748   |            | 70             | T120/RT            | 750    |
|                       | 71 | XR750              | 749   |            | 71             | T150V              | 740    |
| Honda                 | 70 | CB750              | 736   |            |                | Bonneville         | 650    |
| Kawasaki              | 68 | W2SS               | 624   | Yamaha     | 70             | XS650              | 654    |
|                       | 71 | H2                 | 748   |            | 71             | XS650              | 744    |
|                       | 73 | Z2                 | 746   |            | 71             | XS-2/GXS-1         | 654    |
|                       | 74 | KR750              | 740.8 |            | 72             | TX750              | 743    |
| Konig                 | 76 | VDM                | 680   |            | 73             | TZ750              | 694    |
| Laverda               |    | SF                 | 750   |            | 74             | TZ750R             | 747    |



## M F J 公 認 部 品

## ●川崎重工業(株)

GA, C2SS, F6, F8キットパーツ

F11キットパーツ(ミッションを含む)

A1レーシングパーツ(ブレーキ)

KA1レーシングパーツ(ブレーキ)

KA2レーシングパーツ

H2レーシングパーツ

Z2用オイルクーラーアッセンブリー

Z2用前輪右ディスクブレーキ

## ●鈴木自動車工業(株)

TS50, TS90, TS125, TS250Ⅲキットパーツ

TS125用, T500用5速ミッション

TS904オプションパーツ(含むミッション)

RL250キットパーツ

RM125-Ⅱ, RM250オプションキットパーツ(含むリヤクッション)

## ●ヤマハ発動機(株)

AX125, DX250, RX350オプションパーツ

MX250用ボディシリンダー

MX90オプションパーツ

MX125用シリンダー

AX(TA)125(A3)用6速ミッション

## ●(株)ホンダRSC

CB90, CB250, CB350, CB750キットパーツ

CB125S用6速ミッション

CB125用フロントおよびリヤブレーキ

CR125M用オプションパーツ

CB350用6速ミッション

CB250M1オプションパーツ

MT125R水冷エンジンキットパーツ

## ●(有)モリワキエンジニアリング

水冷シリンダーキット, ホンダJX125用MRE,  
ホンダMT125R水冷キットパーツ(New100-01)

## ●(株)ヨシモト

シリンダーヘッド, MT125R用YWH125

## ●野口モーターズ(株)

YZ125用水冷シリンダーキットMX用NSW-1, RR  
用NSW-2

## ●(株)ヨシモト

シリンダーヘッド, MT125R用YWH125

## ●(株)無限

250cc用ME250シリンダーヘッド12200-381-MEA,

リードバルブ式シリンダー-12100-400-MEA

125cc用ME125シリンダーヘッド12200-400-MEA,

リードバルブ式シリンダー-12100-381MEA

CR125R用エンジンパワーアップキットME125RZ

CR125R用エンジンパワーキット(シリンダー)

## ●テクニコムミスターヒロ

カワサキKH125用水冷キットパーツ

カワサキKH125用トランスミッションセット

## ●岩道モーターズ

カワサキKX125用水冷キットパーツKX125A W

## M F J 承 認 部 品

## ●萱場工業(株)

フロントフォーク125, 250MXF

リヤクッションユニット125, 250MXF

エアサスペンション2510D-EE

ニューマチックフロントフォーク, 同リヤクッション

ニューマチックリヤクッション変形(ブーツ付)

ニューマチックリヤクッション変形(ブーツなし)

ガス封入式リヤクッション別タンク付

ガス封入式リヤクッションユニットC36080SD-EE,

C36085SD-EE, C36090SD-EE, C36095SD-EE,

C36100SD-EE, C36105SD-EE

リヤサスペンションユニットFシリーズ(エア封入, 調整式), 同Mシリーズ(別タンク付ガス封入式)

## ●ライダーズスポットタイチ

フォクスエアショックス(MX用)

オーリングスショックス(MX用)

## ●(株)極東

コニーリヤクッションアブソーバ(油圧式KONISベシヤルD)

## ●(有)極東精機製作所

クローリングキャップ(160×60, 125×60, 115×60)

## ●カワサキオートバイ販売(株)

250cc用フロントフォークアッセンブリー-539911-019-

R(右), 539911-019-L(左)

250cc用リヤクッションアッセンブリー-539911-020, 53911-039

125cc用リヤクッションアッセンブリー-779911-500

## ●(株)ホンダRSC

チツソガス封入式リヤクッションユニットGX3-00-000

フロントフォークアッセンブリー-GX3-00-100, 51400

-381-811(右), 51500-381-811(左), 125cc用51400

-400-00(右), 51500-400-00(左)

250cc用51400-381-00(右), 51500-381-00(左)

ガス封入式リヤクッションアッセンブリー-GX5

125cc用52400-400-40, 250cc用52400-400-40

## ●(株)無限

リヤクッションアッセンブリー-52400-381-MEA

CR125R用フロントフォークアッセンブリーセット

CR125R用リヤクッションアッセンブリー

CR250R用フロントフォークアッセンブリーセット

CR250R用リヤクッションアッセンブリー



## M F J 公認 トライアルタイヤ

### ●(株)日本ダンロップ

TRIALS UNIVERSAL

2.71-21, 3.00-21, 3.50-18, 4.00-18

### ●横浜ゴム(株)

トレールスポーツ

2.50-18, 2.75-18, 2.75-19, 2.75-21, 3.00-18,  
3.00-19, 3.00-21, 3.25-18, 3.25-19, 3.50-18,  
4.00-18各4 PRY620

### ●井上タイヤ(株)

井上トライアルタイヤ

2.75-19, 2.75-21, 3.00-18, 3.00-21, 3.25-18,  
3.50-18, 4.00-18

### ●輸入タイヤ

ビレリ・モト・トライアル2.75-21, 4.00-18

(特)モータースポーツクシタニ

メッツラー・トライアル3.00-21, 4.00-18

(特)アオイトレーディングカンパニー

## M F J 公認 ヘルメット

S T8133-2種以上 (ロードレース、モトクロス用)

| (株)新井広武          | クノー工業(株)    | (株)コミネオートセンター | 昭栄化工(株) | 日栄プラスチック(株)  | マルシン工業(株) |
|------------------|-------------|---------------|---------|--------------|-----------|
| R-5              | KH-25       | JS-1          | H-1     | CX-300       | M-38      |
| R-6(R6M)         | KH-35       | BD-201        | SHF     | CX-300P      | M-52      |
| R-7              | KH-39       | RT-201        | SR-X7   | CX-320       | M-56      |
| R-7G             | KH-56       | RT-200        | SR-Z    | CX-500       | M-450     |
| RX-7(X7)         | KH-100      | FUJI-500      | new-GV  | DX-700       | M-480     |
| Z-1              | KH-808      | FUJI-600      | DV      | FF-100       | M-500     |
| RS-8             | Uvex-       | FUJI-800      | ST-     |              | DXM-750   |
| ZX-1             | Racing Jet  |               | H2      |              | DXM-850   |
| RS-Z             | Urex-       |               | RC1     |              | DX-D      |
| R-70             | Monte Carlo |               | RC2     |              | DX-D6     |
| R, S             | Uvex-       |               | SR-X    |              | DX-DV     |
| X-1              | Champion    |               | ZR      |              | インディー-500 |
| S-75             |             |               | ZG      |              | ゼネラル      |
| X-75             |             |               | ZV      |              | MV-1      |
| M-X              |             |               | ZX      |              | MV-1DX    |
|                  |             |               |         |              | MV-75     |
| 本田技研工業(株)パーツセンター |             | (株)極 東        | ユニコ(有)  | ライダーズスポットタイチ |           |
| BELL STAR-II     |             | ノランスベースライダー   | GPA-G1  | NAVA II      |           |
| BELL MAGNUM-II   |             | ノラン N31       |         |              |           |

## 普及型ヘルメット規格品

(モトクロス用)

| 昭栄化工(株)    | 日栄プラスチック(株) | (株)新井広武 | マルシン工業(株)  |
|------------|-------------|---------|------------|
| SV         | FS-100      | R-2     | M-130, 230 |
| L5         | CS-500, 600 | R-10    | M-250, 280 |
|            |             | R-16    | M-37, 800  |
| (株)極 東     | メット工業(株)    | RS-10   |            |
| ノランインテグラール | F-1         | TX-10X  | 日新通商(株)    |
| ノランジェット    | K-2         | TX-7    | JEB'Sジェット  |
| ノランミニジェット  | K-70        | TX-8    |            |

JIS T8133-1種

(トライアル用)

| (株)新井広武    | 昭栄化工(株) |
|------------|---------|
| TL-1       | BL-1    |
| TL-3       | BL-2    |
| TL-8       |         |
| クノー工業(株)   |         |
| Uvex-Trial |         |

ひとりでも仲間を多くノ すばらしいモーターサイクルスポーツの  
世界を広げよう。



## '80ロードレース国際A級ゼッケンナンバー

| No. | ライダー名  | クラブ名         | No. | ライダー名 | クラブ名         | No. | ライダー名 | クラブ名         |
|-----|--------|--------------|-----|-------|--------------|-----|-------|--------------|
| 1   | 水谷 勝   | 東海スポーツライダース  | 37  | 森田 泰男 | ビートルレーシングT   | 72  | 浅海 敏夫 | ブルーヘルメットMSC  |
| 2   | 金谷 秀夫  | チームカナヤ       | 38  | 江崎 正  | チームカナヤ       | 73  | 柳川 利明 | 明和RC         |
| 3   | 高井幾次郎  | プレイメイトRT     | 39  | 荘 利光  | チーム荘         | 74  | 上田 幸也 | 鈴鹿RT         |
| 5   | 毛利 良一  | チームカナヤ       | 40  | 岩道 博  | 岡山ユニオンRT     | 75  | 張間 利治 | プレストレーシング    |
| 6   | 和田 正宏  | マックウエスタン     | 41  | 井上 哲雄 | 小田原キャッスルR    | 76  | 山本 篤美 | チームヤングース     |
| 7   | 河崎 裕之  | マウンテンライダース   | 43  | 新田 茂  | 木の実レーシングT    | 77  | 五十木俊克 | レーシングチーム小野口  |
| 8   | 浅見 貞男  | ワールドワイドMC    | 44  | 高橋 力也 | 小田原キャッスルR    | 78  | 東金 育男 | 浜松エスカルゴRT    |
| 9   | 阿部 孝夫  | マウンテンライダース   | 45  | 五味潤安彦 | チーム荘         | 79  | 渡辺 勝雅 | 野田ジュニアRC     |
| 10  | 清原 明彦  | 神戸スーパースポーツRT | 46  | 山田 純  | フライングオリバー    | 80  | 山本 利幸 | チームヤングース     |
| 11  | 鈴木 修   | プレイメイトRT     | 47  | 阪本 裕介 | ビートルレーシングT   | 81  | 高橋 清志 | 小田原キャッスルR    |
| 12  | 木山 賢悟  | チームRSC       | 48  | 山梨 保  | ブルーヘルメットMSC  | 82  | 長堀 幸夫 | 野田ジュニアRC     |
| 14  | 上田 公次  | チームRSC       | 49  | 徳野 政樹 | 神戸スーパースポーツRT | 83  | 本田 和雄 | 個人           |
| 15  | 杉本五十洋  | マックウエスタン     | 50  | 松井 正一 | チームヤングース     | 84  | 菅野 豊  | チームブレイブス     |
| 16  | 飯島 茂雄  | 狭山レーシングT     | 51  | 築地三千盛 | 鈴鹿RT         | 85  | 藤本 泰東 | チームカナヤ       |
| 17  | 飯田 浩之  | ブルーヘルメットMSC  | 52  | 富江 昭孝 | アキレーシングT     | 86  | 酒井 清孝 | チームIVY       |
| 18  | 石川 岩夫  | 個人           | 53  | 平井 裕  | アカマツレーシング    | 87  | 森田 隆  | スズカササキチーム    |
| 19  | 角谷 新二  | ブルーヘルメットMSC  | 54  | 榎本 勤  | ウエグレーシングT    | 88  | 伊藤 巧  | T・S・UレーシングT  |
| 20  | 上野 真一  | チームレーシングスポーツ | 55  | 石井 康夫 | ワールドワイドMC    | 89  | 和歌山利宏 | 磐田レーシングF     |
| 21  | 外谷 悦男  | 浜松エスカルゴRT    | 56  | 辻 司   | オートルーキーRC    | 90  | 黒田 寛  | チームロードボーイズ   |
| 22  | 斉藤 三夫  | GIMレーシング     | 57  | 藤本 進  | 月木レーシングT     | 91  | 伊藤 裕之 | ブルーヘルメットMSC  |
| 23  | 岩崎 勝   | 浜松チームタイタン    | 58  | 杉野 順三 | 浜寺レーシングC     | 92  | 鈴木 隆  | ワンダーラビットRT   |
| 24  | 吉村 辰美  | モリワキレーシング    | 59  | 渡辺 靖夫 | 明和RC         | 93  | 徳野 博人 | 浜寺レーシングC     |
| 25  | (水谷 勝) |              | 60  | 芳賀 信二 | ダブルイーグルC     | 94  | 三原 嗣厚 | チームハニービー     |
| 26  | 若菜 博   | チームフリー       | 61  | 平井 隆  | スウィング        | 95  | 草間 郁夫 | 個人           |
| 27  | 糟野 雅治  | フライングドルフィン   | 62  | 平 忠彦  | 埼玉イナRT       | 96  | 今井 進  | マックウエスタン     |
| 28  | 木下 恵司  | プレイメイトRT     | 63  | 福島 秀彦 | チーム筋斗雲       | 97  | 石出 和之 | チームIVY       |
| 29  | 川上 浩   | 明和RC         | 64  | 須田 明  | 埼玉イナRT       | 98  | 渡辺富士夫 | 個人           |
| 30  | 岸本 悟   | マックウエスタン     | 65  | 阿部 三吉 | 磐田レーシングF     | 99  | 一の瀬憲明 | 鈴鹿RT         |
| 31  | 高橋 良夫  | オートルーキーRC    | 66  | 酒井 博章 | ウエグレーシングT    | 100 | 吉見 卓  | マックウエスタン     |
| 32  | 大塚 茂春  | チームロードボーイズ   | 67  | 南口 俊彦 | チームヤングース     | 101 | 吉川 文明 | チームカナヤ       |
| 33  | 山名 久   | 浜松チームタイタン    | 68  | 吉村 忠  | マックウエスタン     | 102 | 斉藤 克己 | 野田ジュニアレーシングC |
| 34  | 真田 哲道  | チームワークス永楽    | 69  | 松本 文宏 | マックウエスタン     | 103 | 鯉沼慶次郎 | レーシングライダース   |
| 35  | 佐藤 順造  | プレイメイトRT     | 70  | 吉村 俊宏 | ブルーヘルメットMSC  | 104 | 仲川 昇  | タマトライアルC     |
| 36  | 榎本 健   | フライングドルフィン   | 71  | 山川 守  | 個人           | 105 | 石塚 正  | スズカササキチーム    |

## '80モトクロス・ゼッケンナンバー

## 国際A級部門

| No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名       | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名       | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名       |
|-----|-------|-----|------------|-----|-------|-----|------------|-----|-------|-----|------------|
| 1   | 光安 鉄美 | 福岡  | 福岡プレイメイト   | 6   | 大関 昌典 | 山口  | 福岡ブルーエンゼルス | 10  | 小田桐昭蔵 | 青森  | チームミスターバイク |
| 2   | 藤 秀信  | "   | "          | 7   | 東福寺保雄 | 山梨  | スポーツライダース  | 11  | 竹沢 正治 | 栃木  | 個人         |
| 3   | 榎本 敏夫 | 徳島  |            | 8   | 内藤 勝司 | 愛知  | 中部SSC      | 12  | 野宮 修一 | 愛知  | 太 閤        |
| 5   | 杉尾 良文 | 兵庫  | 杉尾レーシングチーム | 9   | 鈴木 秀明 | 東京  | 遠州ライダース    | 14  | 立脇三樹夫 | 鳥取  | 米子レーシングクラブ |



| No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名          | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名        | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名        |
|-----|-------|-----|---------------|-----|-------|-----|-------------|-----|-------|-----|-------------|
| 15  | 白戸 寛  | 青森  | チームホワイトドア     | 27  | 月岡 尚人 | 長野  | 長野ベストライダーズ  | 39  | 菅野 俊彦 | 岩手  | 東北スーパースポーツ  |
| 16  | 瀬尾 勝彦 | 茨城  | 個人            | 28  | 末永 初弘 | 佐賀  | 末永レーシング     | 40  | 奥村 勝昭 | 愛知  | 中部スポーツライダーズ |
| 17  | 市川 哲也 | 〃   | ブルーヘルメットMSC   | 29  | 松本 満男 | 愛媛  | 瀬戸レーシングチーム  | 41  | 原口 衛  | 埼玉  | チェッカーズ      |
| 18  | 吉原 朋正 | 千葉  | トモレーシングチーム    | 30  | 山本 秀人 | 群馬  | 遠州ライダーズ     | 43  | 秋元 春夫 | 静岡  | 浜松ランモアレーシング |
| 19  | 伊田井佐夫 | 埼玉  | 東希和レーシングチーム   | 31  | 渡辺 明  | 栃木  | 宇都宮レーシング    | 44  | 高田 寛  | 東京  | 城北ライダーズ     |
| 20  | 的場 平  | 大阪  | マウンテンライダーズ    | 32  | 川崎 利広 | 静岡  | 浜松スクランブル    | 45  | 谷地 晃実 | 〃   | チームスガヤ      |
| 21  | 唐沢栄三郎 | 群馬  | 遠州ライダーズ       | 33  | 佐藤 和夫 | 宮城  | ブルーヘルメットMSC | 46  | 大塚 保  | 千葉  | イシイレーシング    |
| 22  | 小野 明  | 〃   | スピードファンイン群馬   | 34  | 大泉 浩一 | 〃   | チームスピリッツ    | 47  | 瀬戸 康一 | 愛知  | チームミスターバイク  |
| 23  | 村上 光則 | 千葉  | モトスポーツメイト     | 35  | 青山 金助 | 北海道 | 函館カトウレーシング  | 48  | 福田 敬治 | 岐阜  | YRTN        |
| 24  | 佐藤 健二 | 大阪  | 千里スポーツクラブ     | 36  | 袴田 利明 | 静岡  | 中部SSC       |     |       |     |             |
| 25  | 吉村 太一 | 〃   | マウンテンライダーズ    | 37  | 河内 賢三 | 熊本  | 福岡ブレイメイト    |     |       |     |             |
| 26  | 佐々木 陸 | 秋田  | 大坂チームブルーイーグルス | 38  | 岸川 清秀 | 佐賀  | チームシャドウ     |     |       |     |             |

## 国際 B 級 部門

| No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名        | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名        | No. | ライダー名 | 出身地 | クラブ名        |
|-----|-------|-----|-------------|-----|-------|-----|-------------|-----|-------|-----|-------------|
| 1   | 石神 覚  | 関東  | チェッカーズ      | 8   | 小沢 孝  | 関東  | テラレーシングチーム  | 15  | 前原 保男 | 九州  | チーム高武       |
| 2   | 渡辺 秀孝 | 東北  | チームビットイン    | 9   | 佐藤 敏和 | 関西  | 杉尾レーシングチーム  | 16  | 手島 寅男 | 〃   | 福岡ブレイメイト    |
| 3   | 宮森 正夫 | 関西  | 千里スポーツクラブ   | 10  | 谷川龍太郎 | 〃   | 〃           | 17  | 高野 洋一 | 中部  | 中部SSC       |
| 5   | 松本 信之 | 関東  | 東希和レーシングチーム | 11  | 佐藤 浩一 | 中部  | 中部SSC       | 18  | 福田正敏  | 〃   | 〃           |
| 6   | 野口 忠男 | 〃   | エンゼルス関東     | 12  | 斎藤 昇司 | 関西  | Team38      | 19  | 安孫子賢二 | 関東  | エンゼルス関東     |
| 7   | 横山 陸夫 | 〃   | 大月レーシングチーム  | 14  | 工藤 一也 | 北海道 | タートルライダーズ札幌 | 20  | 金徳 春夫 | 中部  | 浜松ランモアレーシング |

## '80トライアル国際A級ゼッケンナンバー

| No. | ライダー名 | クラブ名             | No. | ライダー名 | クラブ名          | No. | ライダー名 | クラブ名            |
|-----|-------|------------------|-----|-------|---------------|-----|-------|-----------------|
| 1   | 近藤 博志 | チームRSC           | 24  | 高橋 正則 | 小出サンフラワーTC    | 47  | 川崎 和寛 | ブルーヘルメットM.S.C   |
| 2   | 丸山 胤保 | チームカントリーライダーズ    | 25  | 菊地 教一 | 個人            | 48  | 並沢 文雄 | 名古屋トライアルクラブ     |
| 3   | 服部 聖輝 | モトスポーツメイト        | 26  | 引地 徹  | 個人            | 49  | 尾形 輝彦 | トライアルライダーズ      |
| 4   | 加藤 文博 | TEAM KATO        | 27  | 南堅 年明 | チームアップダウン     | 50  | 高橋 弘道 | トライアルT.みどりや酒店   |
| 5   | 伊藤 敦志 | T.ナグラレーシング       | 28  | 八星 均  | 個人            | 51  | 万沢 康夫 | クリーンライダーズトライアルC |
| 6   | 小谷 重夫 | 森トライアルチーム        | 29  | 玉田 幹雄 | 山本レーシングチーム    | 52  | 福田 武  | ブルーヘルメットM.S.C   |
| 8   | 黒山 一郎 | T.ナグラレーシング       | 30  | 荒生 和人 | 酒田トライスターズ     | 53  | 本間 清隆 | トライアルライダーズ札幌    |
| 8   | 山本 昌也 | チームアップダウン        | 31  | 菅 幸三  | 山田自動車SS       | 54  | 佐藤 好和 | 北・トラ・ファクトリー     |
| 9   | 木村 治男 | トライアルライダーズ       | 32  | 米沢 満夫 | 秩父WET         | 55  | 堀川 一浩 | 長野MAIN TRIALS   |
| 10  | 山田 民雄 | 山田自動車SS          | 33  | 山口 浩  | ダウングラウンライダーズ  | 56  | 森本 賢次 | T.ナグラレーシング      |
| 11  | 鈴木 章平 | TRIAL TEAM KONDO | 34  | 田中 光夫 | 山本レーシングチーム    | 57  | 辻 正義  | 和歌山トライアルクラブ     |
| 12  | 平野 博  | トム&ジュリーMC        | 35  | 大崎 一郎 | 上州トライアル       | 58  | 土屋 進  | 東北ライダーズ矢吹       |
| 13  | 畑山 和裕 | 大月レーシングチーム       | 36  | 金田 耕一 | 金沢城北トライアルクラブ  | 59  | 武村喜美男 | 個人              |
| 14  | 中島 宏明 | NTR              | 37  | 成田 省造 | CRTC          | 60  | 中村 広二 | 清水トライアルクラブ      |
| 15  | 井上 一彦 | TRIAL TEAM KONDO | 38  | 内田 昭  | 続まむしの兄弟MSC    | 61  | 三浦 新寿 | 武州トライアルクラブ      |
| 16  | 宮下 誠  | 九州トライアルクラブ       | 39  | 加藤 伸二 | チームカントリーライダーズ | 62  | 名倉 直  | T.ナグラレーシング      |
| 17  | 植田 悟  | チームアップダウン        | 40  | 松藤 研  | チームテクニカルイレブン  | 63  | 田中伸多郎 | トライアルT.みどりや酒店   |
| 18  | 山田 和雄 | 浜松エスカルゴRT        | 41  | 橋田 忠博 | 個人            | 64  | 森下 勝  | 続まむしの兄弟MSC      |
| 19  | 遠藤 典夫 | 東北ライダーズ矢吹        | 42  | 阿部 哲夫 | トライアルライダーズ    | 65  | 池原 勝則 | 東北ライダーズ矢吹       |
| 20  | 横口 重明 | 倶楽部転転            | 43  | 村井 義治 | 和歌山トライアルクラブ   | 66  | 斎藤 仁志 | 酒田トライスターズ       |
| 21  | 町田 晴男 | トライアルライダーズ       | 44  | 板橋 康行 | 平野レーシング       | 67  | 三谷 正次 | 続まむしの兄弟MSC      |
| 22  | 日高 之夫 | チームセクション         | 45  | 小林 裕悦 | ダウングラウンライダーズ  | 68  | 松岡 信明 | トヤマスネイクライダーズ    |
| 23  | 吉川富美男 | 個人               | 46  | 佐藤 友一 | 古川トライアルスポーツ   | 69  | 吉田 政造 | 盛岡セフティクラブ不來坊    |



| No. | ライダー名 | クラブ名           | No. | ライダー名 | クラブ名            | No. | ライダー名 | クラブ名         |
|-----|-------|----------------|-----|-------|-----------------|-----|-------|--------------|
| 70  | 大月 信和 | 大月レーシングチーム     | 108 | 城前 健二 | 個人              | 146 | 新井 範夫 | 秩父W.E.T.S.C  |
| 71  | 米沢 誠司 | 盛岡セフティクラブ不來坊   | 109 | 村越 文好 | 秩父W.E.T.S.C     | 147 | 田村 春治 | ザビックワントライアルR |
| 72  | 上田 久嗣 | チームテクニカルイレブン   | 110 | 石橋 正明 | トム&ジュリーMC       | 148 | 高田 浩和 |              |
| 73  | 藤井 康男 | チームカントリーライダーズ  | 111 | 山田 裕二 | TEAM・NOM        | 149 | 安部 満  | トライアルC陸征会    |
| 74  | 野口 稔  | トライアルライダーズ札幌   | 112 | 飯田 修  | 個人              | 150 | 近成 久司 | トライアルライダーズ   |
| 75  | 陣内 英幸 | チームカントリーライダーズ  | 113 | 中山 義国 | 大村ライダーズC        | 151 | 青野 真吉 | 浜松エスカルゴRT    |
| 76  | 吉浦 賢治 | チーム空皇          | 114 | 香西 定幸 | 高松サイドカーC        | 152 | 池田 勝則 | トライアルライダーズ   |
| 77  | 蓮沢 松栄 | 名古屋トライアルクラブ    | 115 | 橋口 俊昭 | 個人              | 153 | 玉林 孝夫 | 河村レーシングSS    |
| 78  | 近藤 充  | トライアルライダーズ     | 116 | 白木 英一 | チームカワタケ         | 154 | 大八木政明 | チームテクニカルイレブン |
| 79  | 木下 良治 | 金沢城北トライアルC     | 117 | 大庭 明  | T.ナグラレーシング      | 155 | 橋ヶ谷昇次 | チームキャニオン     |
| 80  | 向井 友一 | トライアルライダーズCナゴヤ | 118 | 西牟田 誠 | 名古屋トライアルクラブNTC  | 156 | 野間 照夫 | 個人           |
| 81  | 斉藤 茂憲 | 斉藤レーシングチーム     | 119 | 芦尾 一登 | 広島ドンガメクラブ       | 157 | 松村 誠悟 | 山田自動車SS      |
| 82  | 森 憲二郎 | モリ・トライアルチーム    | 120 | 土井長 一 | 広島かめの子会         | 158 | 榎見 隆男 | 旭川トライアルクラブ   |
| 83  | 渡辺 裕司 | 綾まむしの兄弟MSC     | 121 | 高橋 正明 | 福島トライアルチーム      | 159 | 堤 晴夫  | 個人           |
| 84  | 北村 義孝 | 金沢城北トライアルC     | 122 | 深田 強  | チームカントリーライダーズ   | 160 | 小松 千三 | 杉沢トライアルクラブ   |
| 85  | 今野 久男 | 個人             | 123 | 藤岡 利宏 | 倶楽部 誤転          | 161 | 今野 圭一 | 杉沢トライアルクラブ   |
| 86  | 沖野 良勝 | 金沢城北トライアルC     | 124 | 淵田 弘  | 京都トライアルメイツ      | 162 | 佐藤 敏彦 | セフティクラブ花巻    |
| 87  | 森 至希  | モリ・トライアルチーム    | 125 | 中内 茂樹 | 斉藤レーシングチーム      | 163 | 佐々木忠彦 | 個人           |
| 88  | 藤本 弘司 | チームレインボウ       | 126 | 與那 康英 | トヤマアイベックスC      | 164 | 宮川 善治 | サンデートライアルクラブ |
| 89  | 荒川 金雄 | 佐世保トライアルチーム    | 127 | 西本 恵啓 | 広島ドンガメクラブ       | 165 | 馬場 尚雄 | 個人           |
| 90  | 藤田 茂樹 | 広島ドンガメクラブ      | 128 | 山口 輝寿 | 個人              | 166 | 赤野 浩二 | 個人           |
| 91  | 井原 修  | チームサファリー       | 129 | 小俣 一義 | トライアルCパルビゾン     | 167 | 西川 昌宏 | 個人           |
| 92  | 山田 乙三 | 斉藤レーシングチーム     | 130 | 高橋 繁夫 | 広島かめの子会         | 168 | 内野 正也 | チームモンタコ      |
| 93  | 市川 俊夫 | 金沢城北トライアルC     | 131 | 石井 茂雄 | 093トライアルクラブ     | 169 | 岡本 学  | 個人           |
| 94  | 上甲 秀邦 | チームサファリー       | 132 | 佐藤 雄一 | DoT'S           | 170 | 堀川外志男 | 個人           |
| 95  | 国常 忠宏 | チームカワタケ        | 133 | 松井 由明 | 小出サンフラワーT.C     | 171 | 中西公二郎 | 山陰オートテクニカル   |
| 96  | 川崎 正信 | 093トライアルクラブ    | 134 | 小坂 政弘 | チームカントリーライダーズ   | 172 | 杉谷 茂夫 | 京都トライアルメイツ   |
| 97  | 飯藤 一弘 | 個人             | 135 | 吉村 義明 | 鈴鹿レーシングチーム      | 173 | 上田 光一 | 個人           |
| 98  | 朝比奈久男 | チームカワタケ        | 136 | 横井 史佳 | 個人              | 174 | 佐藤 朝寺 | 岡山トライアルメイツ   |
| 99  | 三木 健嗣 | 広島ドンガメクラブ      | 137 | 宇治 章  | TRIALTEAM・KONDO | 175 | 大饗 辰夫 | 岡山トライアルメイツ   |
| 100 | 伊藤 修  | TEAM-PIRATES   | 138 | 飯田 正信 | 個人              | 176 | 西平 正道 | 個人           |
| 101 | 泉 正信  | チームサファリー       | 139 | 来生 忠  | TEAM・KATO       | 177 | 長野 泰久 | チームカワタケ      |
| 102 | 青木 憲彦 | チームアップダウン      | 140 | 折目 尚三 | モリ・トライアルチーム     | 178 | 大同 修一 | チーム阿賀        |
| 103 | 近藤 久生 | トライアルCパルビゾン    | 141 | 阿部 義正 | 今治トライアルクラブ      | 179 | 中村 勝利 | チームもっこす      |
| 104 | 上甲 俊行 | チームサファリー       | 142 | 片山 郁男 | トライアルライダーズ      | 180 | 堤 邦幸  | 個人           |
| 105 | 樋口 宏幸 | チームたごさく        | 143 | 八星 栄  | 個人              | 181 | 屋野 伸洋 | 福岡スーパートライアル  |
| 106 | 川竹 健二 | チームカワタケ        | 144 | 児玉 博  | 京都トライアルメイツ      | 182 | 青池 武  | 個人           |
| 107 | 河野 完次 | 岡山トライアルメイツ     | 145 | 寺田 邦雄 | 個人              |     |       |              |

## 全日本選手権ランキング 順位決定の方法

- (1) ヒート数の過半数の最小整数回数の得点の和の最も大なるものから順位を決定する。但し、30点未満の者はチャンピオンとはせずランキング2位となる。
- (2) (1)で同点となった場合、上位入賞回数が多いものが上位となる。
- (3) (2)で決定できない場合、同一クラスの総計順位で決定する。

(4) (3)で決定できない場合は、その他のクラスのレースの成績を加える。

(5) (4)で決定できない場合、前年度のランキングによって決定する。但し、ランキング同位の場合は排気量の大きいクラスを優先する。

(6) 以上で決定できない場合は資格審査委員会にて最終決定する。

## ライセンス昇格規定

MFJライセンス資格は、MFJ公認のもとで開催されるモ



ーターサイクル競技の公正を期するため、前年度の成績により、次のような基準にもとづいて決定される。

### 〔1〕成績対象期間

成績対象の期間は前々年度の11月から前年度の10月までの12ヵ月間とする。

### 〔2〕昇格基準

#### モトクロス

#### I. ノービス部門からジュニア部門

- (1) 地方大会以上のレースにおいて得点20点以上の成績を得たもの。(90ccクラスを除く)
- (2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
- (3) そのほか資格審査委員会が認めた者。

#### II. ジュニア部門から国際B級部門

- (1) 全日本選手権シリーズ大会において得点20点以上の成績を得た者。
- (2) 地方大会以上のレースにおいて得点50点以上の成績を得た者。(90ccクラスを除く)
- (3) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～6位までにランクされた者。
- (4) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。

#### III. 国際B級部門から国際A級部門

- (1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～5位までにランクされた者。
- (2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

#### ロードレース

#### I. ノービス部門からジュニア部門

- (1) 全日本選手権シリーズ大会において得点10点以上の成績を得た者。
- (2) その他のレースにおいて、地方スポーツ委員会が上記の基準と同等以上の技量をもつ者と認め、資格審査委員会が承認した者。
- (3) そのほか資格審査委員会が認めた者。

#### II. ジュニア部門から国際A級部門

- (1) 前年度全日本選手権ランキングでクラス1位～3位までの者。
- (2) そのほか資格審査委員会が認めた者。

#### トライアル

#### I. ノービス部門からジュニア部門

- (1) 競技会におけるノービス部門での優勝者(ベストパフォーマンス)1名のみ。
- (2) 上記の競技会におけるノービス部門は少くとも10名以上の参加者によって構成されたものとする。

#### II. ジュニア部門から国際A級部門

- (1) 地方選手権シリーズにおけるジュニア部門の成績により、各地方別に昇格人数を定めるものとする。
- (2) '80年度は次の通り。北海道=4名・東北=5名・関東=10名・中部=8名・北陸=3名・関西=10名・中国=5名・四国=3名・九州=3名。

### 〔3〕特別昇格申請手続き

#### I. 特別昇格基準

- (1) すでに述べた昇格基準と同等とみなされるにふさわしい成績を得た者で、昇格を希望する者のみ特別昇格申請の手続きが受けられる。

#### II. 申請期間

- (1) 前年度の11月から年を明けての3月までを申請期間とする。
- (2) この期間以外の昇格申請はいっさい受け付けない。

#### III. 申請方法および申請料

- (1) 所定の申請書に必要事項を記入し、所属する地方スポーツ委員会の承認を得てMFJ事務局に申請する。
- (2) 所定の申請書はMFJ事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- (3) 申請にあたっては申請料1,000円(切手でも可)を添えて提出すること。なお、最終的な決定はMFJ資格審査委員会の審査結果による。

## ライセンス降格規定

MFJライセンス資格の降格を希望する者は、以下の手続きによって申請し、MFJ資格審査委員会の審査を経て降格できる。

### 〔1〕ライセンスの降格手続き

#### I. 申請手続き

- (1) 所定の申請書に必要事項を明記のうえ、所属する地方スポーツ委員会の承認を得て、MFJ事務局に提出する。
- (2) 申請書用紙はMFJ事務局に用意されており、請求に応じて配布される。
- (3) 降格承認後は、MFJ審査委員会が「定めた日よりその



## 付録

シーズンの終了まで、〔Ⅲ〕再昇格規定が適用される。

### Ⅱ. 申請期間

- (1) 前年度の11月から年を明けての3月までを申請期間とする。
- (2) この期間以外の降格申請はいつい受付けない。

### Ⅲ. 再昇格規定

#### モトクロス

- (1) 国際B級からジュニア部門に降格した場合は、全日本選手権シリーズで、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- (2) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、原則として1回優勝した時点で再昇格するものとする。
- (3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

#### ロードレース

- (1) 全日本選手権シリーズにおいて、原則として2回優勝した時点で再昇格するものとする。
- (2) 公式記録によるラップタイム等により再昇格する。

#### トライアル

- (1) ジュニア部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて、原則として1回優勝（ベストパフォーマンス）した時点で再昇格する。
- (2) ノービス部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において出場者の上位10%以内に入賞した時点で再昇格する。
- (3) その他、地方スポーツ委員会の判断により再昇格するものとする。

## 保 険 制 度

| 種 目                                                                  | ライダー掛金<br>(1名1大会)                                         | ピット要員掛金<br>(1名1大会)                                                          | 支 払 条 件                                              |                                                                          |                                                | 保険適用                                        |
|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------|
|                                                                      |                                                           |                                                                             | 最高限度額<br>(死亡、不具廃疾)                                   | 傷害保険支払額                                                                  | 支払期間<br>適用期間                                   |                                             |
| ロードレース                                                               | 2000円<br>(1口目)<br>(但し10口まで<br>掛けられる<br>2口目より<br>1口 1350円) | 300円<br>(支払い条件は<br>モトクロスと<br>同じ)                                            | 150万円<br>(1口目)<br>(但し2口以上<br>10口まで<br>1口につき<br>50万円) | ①1日1,250円×全<br>治日数(1口目)<br>但し2口以上10口ま<br>で1口につき500円<br>②診断書作成料<br>5,000円 | 6ヵ月(180日)<br>大会当日のレー<br>ス中<br>(公式練習含む<br>公式予選) | MFJ指<br>定保険及<br>びMFJ<br>役員・選<br>手共済組<br>合併用 |
|                                                                      | 保険金請求に<br>ついでの<br>必要書類事項                                  | ① 傷害保険金請求書(指定)<br>② 全治したときの医師の治療証明書(指定)<br>③ サーキットの事故証明書                    |                                                      |                                                                          |                                                |                                             |
| B<br>ライ<br>セン<br>ス<br>対<br>象<br>種<br>目                               | サーキットにおけ<br>るプロダクション<br>ミニバイクレース                          | 300円                                                                        | 150万円                                                | ①1日750円×全治<br>日数<br>②診断書作成料<br>5,000円                                    | 6ヵ月(180日)<br>大会当日のレー<br>ス中<br>(公式練習含む<br>公式予選) | MFJ役<br>員・選手<br>共済組合                        |
|                                                                      | ミニモトクロス、<br>雪上車、エンデュ<br>ロその他オンロ<br>ード車による競技会              | 300円                                                                        | 300万円                                                |                                                                          |                                                |                                             |
|                                                                      | モトクロス                                                     | 600円                                                                        | 300万円                                                |                                                                          |                                                |                                             |
|                                                                      | トライアル                                                     | 200円                                                                        | 300万円                                                |                                                                          |                                                |                                             |
| B<br>ライ<br>セン<br>ス<br>モ<br>ト<br>ク<br>ロ<br>ス<br>ト<br>ラ<br>イ<br>ア<br>ル | 傷害保険金請求に<br>ついでの必要書類                                      | ① MFJ指定請求書でMFJ事務局へ請求すること<br>② MFJ指定請求書 { 1. 傷害の程度を証明する医師の診断書<br>2. 主催者の事故証明 |                                                      |                                                                          |                                                |                                             |

注 1: ロードレースライダー以外は保険料は1口に限られます。

2: 同一大会で2種目以上出場する場合は保険料の高い種目が適用されます。

3: 上記保険は治療費は支払われませんので各自の健康保険証で治療を受けてください。





## タイヤの差がタイムの差。

勝つために。ブリヂストンから、3つのモトクロス専用タイヤ。新発売。



### **M17**

フロント専用

**MOTOCROSS-M17**  
バンキング時のコーナリング性能に優れたフロント専用タイヤ。

| 発売サイズ   | 備考                |
|---------|-------------------|
| 3.00-21 | 125cc<br>250cc 兼用 |



### **M18**

リヤ専用

**MOTOCROSS-M18**  
硬質路面が主体のコースでの加速、ブレーキ性能を発揮するリヤ専用タイヤ。

| 発売サイズ   | 備考     |
|---------|--------|
| 4.00-18 | 125cc用 |
| 5.10-18 | 250cc用 |



### **M20**

リヤ専用

**MOTOCROSS-M20**  
オールラウンド用として優れた操縦安定性を発揮するリヤ専用タイヤ。とくに軟弱路面に威力を発揮します。

| 発売サイズ   | 備考     |
|---------|--------|
| 4.00-18 | 125cc用 |
| 5.10-18 | 250cc用 |

**MOTOCROSS**  
TUNED by BRIDGESTONE



**ブリヂストン**

ブリヂストンタイヤ株式会社 東京都中央区京橋1-10-1 (03)567-0111 (F)



飛ばない  
チェーンオイル

PJチェーンオイルは、最も経験あるアメリカで研究・開発されたスプレー式の飛ばないチェーンオイル。あらゆるレースの苛酷な条件の中で競争の美談をのこしています。



\*お買い求めは近くのサイクル店、オートバイ専門店どうぞ。



極限の世界に生きる。

特長  
①PJチェーンオイルはスプレー式でその操作性が優れ、手も汚さずに簡単にでも使用できます。  
②PJチェーンオイルは強力なワックス、セッケンとして粘りも非常に強いため、チェーンの最も大切な部分、ピン、チェーンリンク、ブッシング等前後にまで潤やかに浸透します。  
③PJチェーンオイルは各部分に浸透したあと、モノアブレン化剤とスパームオイルで塗られた特別な特殊塗膜を形成し、チェーンをいつでも保護します。

NET 1000ml

DISTRIBUTED BY

三井物産株式会社エナジーサービス部

〒145 東京都大田区田原町南町4-5-6  
TEL(03)3732-4471 FAX(03)3732-4472



## 皮革製品専門メーカー

### 主要商品

- 革製ウェア類
- 革製手袋
- 革製ブーツ
- 皮革カート用品
- セーム皮
- 皮カバン
- その他革製品

# バギー

● 皮革製品に関する事なら、なんでも御相談下さい。(担当者・五辻直之)



バギー 印皮製品発売元

## 玉井本店

〒577 大阪市西成区千本南1-22-11 ☎06(659)5192



# RX 700



RX 700 RACING OIL

RX 700 SHOCK OIL

RX 700 CHAIN OIL

RX 700 PENTOR

RX 700 MIGHTY OIL

## PENTA LUBE OIL INC.

|        |                          |                        |
|--------|--------------------------|------------------------|
| 本社     | 大阪府茨木市鮎川5丁目15-3          | ☎ (0726)34-1615-20     |
| 茨木工場   | 大阪府茨木市鮎川5丁目15-3          | ☎ (0726)33-2677        |
| 大阪営業所  | 大阪府茨木市鮎川5丁目15-3          | ☎ (0726)34-2528-9・2920 |
| 東京営業所  | 東京都千代田区有楽町8-1(日比谷パークビル)  | ☎ (03)281-2281-3       |
| 名古屋営業所 | 名古屋市中村区広井町3丁目88(大名古屋ビル)  | ☎ (052)571-7466-8      |
| 福岡出張所  | 福岡市中央区天神1丁目10-24(福岡三和ビル) | ☎ (092)761-4737-9      |
| 広島出張所  | 広島市宇品海岸3丁目8番             | ☎ (0822)55-0010        |
| 松山出張所  | 松山市山越町2丁目1-28(井上ビル)      | ☎ (0899)25-6802-3      |
| 仙台出張所  | 仙台市中央2丁目1-7(仙台三和ビル)      | ☎ (0222)23-4608-9      |
| 札幌出張所  | 札幌市中央区南一条西4丁目13(日之出ビル)   | ☎ (011)241-2251-2      |



# M F J 会員割引制度実施店



MXR グローブ  
MXR-09-001 黒地/黄パット  
MXR-09-002 赤地/白パット  
MXR-09-003 青地/緑パット  
サイズ=M・L  
¥ 5,500



①スズキメッシュ  
色=イエロー  
サイズ=M・L  
¥5,000



MK07ワーレバー(ショート)  
MK-05MK ヤマハ、スズキ用  
¥2,000 (I SET)



SIDI  
プロフェッショナル  
¥35,000



レンサルハンドル(英国製)  
6 $\frac{1}{2}$ 、6、5 $\frac{1}{2}$ 、5 ¥6,000

CZハンドル(モトクロス)  
クロモリ ¥3,000



X-101 ¥17,000  
X-100クロス(最軽量)  
白・赤・青・黄 ¥26,000



②カワサキメッシュ  
色=ライムグリーン  
サイズ=M・L  
¥5,000



ニューカラレゴグル  
(オーストリア)  
¥5,500(マスク付)



ロベールブーツ  
¥32,000



マグナムハイスロトル 国際A選手使用  
(西ドイツ製)  
転回のさいワイヤーがおれません  
マグネシウム材  
¥6,500(グリップ、ワイヤー付)



X-15スーパージョニー  
白・赤・青・黄 ¥18,000



③ホンダメッシュ  
色=レッド&ブルー  
サイズ=M・L  
¥5,000



スコットゴーグル  
(U.S.A製)  
¥7,200(マスク付)



アルパインスター  
¥34,000



MK-067F ワンタッチベルト・フック  
マシンの運搬にフックを使用すればワ  
ンタッチでOK。ワンタッチベルト  
(MK-067A・MK-067B)と併用してご  
使用ください。 ¥2,000(2ヶ)



X-70レマン  
白・赤・銀 ¥14,000  
バイザー ¥1,000



④ヤマハメッシュ  
色=イエロー  
サイズ=M・L  
¥5,000



714MX ゴーグル(ベトロイド)  
¥2,500



アルパインスター  
スミス  
¥30,000



ワンタッチベルト  
MK-067A 50%巾  
I SET 3,500  
MK-067B 25%巾  
I SET 2,500



ogv トライアルヘルメット  
¥6,000



フアクトリータイプ(パット入り)  
ヤマハトレーナー ¥5,500  
(丈が長くできておきます)



フアクトリータイプ(パット入り)  
ホンダトレーナー ¥5,500  
(丈が長くできておきます)



MYG-3型  
¥22,000



トライアルブーツ  
サイズ25.5/26/27 ¥10,000

世界のブランド **Kijima** の総発売元  
**木島シヨールーム**

〒114 東京都北区田端新町1丁目24番地 北進ビル TEL 03-893-7521  
●製造元 木島ゴム工業株式会社 〒116 東京都荒川区西日暮里1丁目57番7号

通販でお買上げの方、  
7,000円以上送料サービス  
7,000円以下400円加算  
電話番号、鉄道駅名を  
記入してください。





# 確実な火花… NGK

●これが高性能なプラグの第一条件です







スカットとさわやか コカ・コーラ

Drink  
**Coca-Cola**

TRADE MARK REGD.

**Come on in. <sup>Drink</sup> Coke**